フィリピン共和国
ミンダナオ北部貧困削減
（バランガイガバナンス）プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成 23 年 1 月
（2011 年）

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所

フピ事
ＪＲ
11-005

フィリピン共和国
ミンダナオ北部貧困削減
（バランガイガバナンス）プロジェクト
終了時評価調査報告書

平成 23 年 1 月
（2011 年）

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所

序　　文

独立行政法人国際協力機構はフィリピン共和国政府関係機関との討議議事録（R/D）に基づき、2008 年 1 月から 2011 年 1 月まで技術協力プロジェクト「ミンダナオ北部貧困削減（バランガイガバナンス）プロジェクト」を実施しております。

今般、本件プロジェクトの協力期間終了を控え、これまでの実績と計画達成度をプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）等に基づいて、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から日本・フィリピン国側双方で確認するとともに、プロジェクト終了までの活動に関する提言や得られた教訓を取りまとめることを目的として、2010 年 8 月 10 日から 8 月 27 日の日程で当機構フィリピン事務所次長 永石雅史を総括とする終了時評価調査を実施しました。

本調査においては、フィリピン共和国側評価委員と合同評価を実施し、評価結果を合同評価報告書に取りまとめ、合同調整委員会（JCC）に提出するとともに、JCC 協議結果をミニッツ（M/M）として署名を取り交わしました。

本報告書は、これらの協議結果及び評価結果を取りまとめたものであり、今後の協力実施にあたって広く関係者に活用されることを願うものです。

おわりに、本調査にご協力とご支援をいただいた関係者各位に心より感謝申し上げます。

平成 23 年 1 月

独立行政法人国際協力機構
フィリピン事務所所長　松田　教男

目　　次

序　文
目　次
略語表
終了時評価調査結果要約表

第１章　評価調査の概要 …… 1
　１－１　調査団派遣の経緯と目的 …… 1
　１－２　対象プロジェクトの概要 …… 1
　１－３　調査団の構成と調査期間 …… 3

第２章　評価の方法 …… 4
　２－１　評価手法 …… 4
　２－２　データ収集・分析方法 …… 4

第３章　プロジェクトの実績 …… 6
　３－１　投入実績 …… 6
　３－２　活動とアウトプットの実績 …… 7
　　３－２－１　活動実績 …… 7
　　３－２－２　アウトプットの実績 …… 8
　３－３　プロジェクト目標の達成状況 …… 15
　３－４　上位目標の達成見込み …… 16
　３－５　実施プロセスにおける特記事項 …… 17

第４章　評価結果 …… 20
　４－１　５項目評価 …… 20
　　４－１－１　妥当性 …… 20
　　４－１－２　有効性 …… 21
　　４－１－３　効率性 …… 22
　　４－１－４　インパクト …… 24
　　４－１－５　自立発展性 …… 25
　４－２　結　論 …… 27

第５章　提言と教訓 …… 29
　５－１　提　言 …… 29
　５－２　教　訓 …… 29
　５－３　今後の支援の方向性 …… 29

付属資料

１．調査日程 …… 33
２．主要面談者 …… 34
３．ミニッツ及び合同評価報告書 …… 36
４．評価グリッド …… 102
５．質問票 …… 106

略　語　表

略　語	英　語	日本語
ABC	Association of Barangay Captains	バランガイ・キャプテン協会
AIP	Annual Investment Plan	年間投資計画
BDP	Barangay Development Plan	バランガイ開発計画
BMFI	Balay Mindanaw Foundation, Inc.	バライミンダナオ財団
CAE	Caprine Arthritis Encephalitis	ヤギ関節炎脳炎ウイルス
CBFM	Community Based Forestry Management	地域住民による森林管理
DRR-CCA	Disaster Risk Reduction － Climate Change Adaptation	災害リスク削減－気候変動への適応
DILG	Department of Interior & Local Government	内務自治省
ENRO	Provincial Environmental and Natural Resources Office	州政府環境自然資源局
GIS	Geographic Information System	地理情報システム
IEC	Information, Education, Communication	情報・教育・コミュニケーション
JCC	Joint Coordinating Committee	合同調整委員会
JICA	Japan International Cooperation Agency	独立行政法人国際協力機構
LGU	Local Government Unit	地方自治体
MANCOM	Project Management Committee	プロジェクト管理委員会
MMAP	Micro-watershed Management Action Plan	小流域管理アクションプラン
NEDA	National Economic and Development Authority	国家経済開発庁
NGO	Non-Governmental Organization	非政府組織
ODA	Official Development Assistance	政府開発援助
PDM	Project Design Matrix	プロジェクト・デザイン・マトリックス
PCM	Project Cycle Management	プロジェクト・サイクル・マネジメント
PO	People’s Organization	住民組織
PPDO	Provincial Planning and Development Office	州政府計画開発局
R/D	Record of Discussions	実施協議議事録
REPRAP	Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project	アルビヒッド川復旧保全プロジェクト

終了時評価調査結果要約表

<table>
<tr><td colspan="3">１　案件の概要</td></tr>
<tr><td colspan="2">国名：フィリピン共和国</td><td>案件名：ミンダナオ北部貧困削減（バランガイガバナンス）プロジェクト</td></tr>
<tr><td colspan="2">分野：ミンダナオにおける平和と開発</td><td>援助形態：技術協力プロジェクト</td></tr>
<tr><td colspan="2">所轄部署：フィリピン事務所</td><td>協力金額：約 2 億 4,000 万円（2010 年度当初）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">協力期間</td><td rowspan="2">2008 年 1 月 16 日～
2011 年 1 月 15 日（3 年間）</td><td>相手国実施機関：ミサミス・オリエンタル州及びバライミンダナオ財団</td></tr>
<tr><td>日本側協力機関：なし</td></tr>
</table>

１－１　協力の背景と概要

ミンダナオ島北部に位置するミサミス・オリエンタル州は、地域経済の中核都市であるカガヤンデオロ市を中心に、産業（鉱工業、農産加工）、交通、物流の中心を担っている。同州の山間地域は、多くが森林地に指定され、同地域の生活用水、農・工業用水の水源を担っているが、森林の減少や土壌浸食の進行等のため、将来生活用水や農・工業用水の水質の悪化や減少が危惧されている。また、山間部の住民の多くは農業等自然資源に依存して生計を営んでおり貧困ライン以下の家庭が 50%近くを占めている。代替生計手段のない状況下での過度の資源依存と人口の増加は資源の収奪的な利用の危険を伴っており、先住民族を含む山間部地域の住民にとって自然資源の枯渇は農地の生産性低下、災害の多発等、生命と生計を脅かし、貧困問題を深刻化する要因となっている。

土地、森林等の資源を保全しながら持続的に利用するためには、流域管理の概念に基づいた土地利用計画の策定や資源の計画的利用と保全が必要である。フィリピン共和国（以下、「フィリピン」と記す）では 1991 年に策定された地方自治法により、基本的な公共サービスの提供義務が地方自治体（Local Government Unit：LGU）に移管されており、流域面積 1 万 ha 以下の小規模な流域の管理についても自治体が主体的に実施することが定められている。しかし、責任を移管された地方自治体（州、町）では、適切な計画の策定と住民を巻き込んだ資源保全を実施する人材・能力が十分でない状況にある。

このような状況の下で、ミサミス・オリエンタル州政府は、同州内において「持続的統合地域開発」の手法で、土地なし農民への法的支援やバランガイ（最小行政単位）単位での参加型開発計画策定等のノウハウと経験を有する NGO のバライミンダナオ財団と連携して小流域管理計画の策定・実施を推進することとして、フィリピン政府を通じ、わが国に技術協力プロジェクトの実施を要請した。この要請に基づき、日本・フィリピン国側双方で実施内容等について議論した結果、2007 年 7 月 2 日に「ミンダナオ北部貧困削減（バランガイガバナンス）プロジェクト」を実施するための実施協議議事録（R/D）が JICA 及び、ミサミス・オリエンタル州知事の間で署名、2008 年 1 月に協力を開始した。今般 2011 年 1 月のプロジェクト期間終了を前に、終了時評価が実施された。

１－２　協力内容

対象地域における流域管理の改善を目的にパイロットバランガイにおける資源管理計画・自然保護計画を統合したバランガイ開発計画の策定、同計画に基づく地域社会や住民組織単位での資源保全活動、持続的農業導入、代替生計手段の導入等の実施と、バランガイや住民組織を支援する地方自治体職員の能力向上を実施する。

（１）上位目標：地方自治体と住民の連携により、ミサミス・オリエンタル州の小流域管理が向上する。

（２）プロジェクト目標：地方自治体と住民の連携により、パイロットバランガイにおける小流域管理が向上する。

（３）アウトプット

① 住民参加により、小流域管理計画を盛り込んだバランガイ開発計画が策定される。

② バランガイ住民が持続的な小流域管理の知識と技術を習得する。

③ 州、町、NGO スタッフの小流域管理のテクニカルな知識や住民参加型計画作成の技術が向上する。

④ プロジェクトの経験が、パイロットバランガイ間並びに同じ小規模流域に属する隣接したバランガイに共有され、それと同様に、パイロット市町で作成される。

⑤ 流域管理にかかる活動が、ミサミス・オリエンタル州内の選ばれた地方自治体政府に導入される。

（４）投入（2010 年 7 月末時点）

日本側：総投入額　約 2 億 4,000 万円

・長期専門家派遣　4 名（総括/村落開発/地方行政、副総括/自然資源管理/情報管理、生計向上/小規模事業、業務調整/地方行政 2）

・機材供与　総額約 981 万円[1]相当（車両・バイク、オフィス機材など）

・プロジェクト活動費　総額 4,656 万円

相手国側：

・カウンターパート配置　州政府計画開発局（PPDO）から 5 名、州政府環境自然資源局（ENRO）から 4 名、バライミンダナオ財団から 6 名の計 15 名。

・プロジェクト運営費　総額約 188 万円[2]

・その他、専門家執務室など

[1] 該当年・月（2008 年 1 月～2010 年 7 月）の JICA 統制レートの平均（1 フィリピンペソ＝1.981 円）を用いて日本円に換算した。

[2] 該当年・月（2008 年 1 月～2010 年 7 月）の JICA 統制レートの平均（1 フィリピンペソ＝1.981 円）を用いて日本円に換算した。

２　評価調査団の概要			
調査者	フィリピン側評価者との合同評価が実施された。		
	担当分野	氏　名	所　属
	総　　括	永石　雅史	JICA フィリピン事務所　次長
	協力企画	嶋影　繭子	JICA フィリピン事務所　企画調査員
	協力企画 2	Martha Parrenas	JICA フィリピン事務所　現地職員
	評価分析	大橋　由紀	合同会社 適材適所　コンサルタント
	フィリピン側評価者	Elsa M. Maquiling	国家経済開発庁（NEDA） 第 10 地域　経済・開発シニア専門員
調査期間	2010 年 8 月 10 日～2010 年 8 月 27 日		評価の種類：終了時評価

３ 評価結果の概要

３－１　実績の確認

（1）アウトプットの達成状況

アウトプット 1：住民参加により、持続的な小流域管理活動を組み込んだバランガイ開発計画が策定される。

パイロットバランガイ 8 村全部で該当するバランガイ開発計画及び小流域管理アクションプランが策定され、指標が達成された。

アウトプット 2：バランガイ住民が持続的な小流域管理活動のための知識と技術を習得する。

自然資源管理については、92～100％の参加者が終了時テストに合格しており、技術習得が進んだ。自然資源管理に基づく小規模事業については、6 種類中 2 種類の研修でテストの結果が到達目標に達しておらず、フォローアップが必要となっている。

アウトプット 3：州・町・NGO 職員の小流域管理に関する専門的な知識や参加型計画に関する技術が向上する。

11 名中 10 名のカウンターパートが自己評価の結果が向上した。小流域管理研修の終了時テストは GIS、コンピューター、写真撮影の 3 研修で実施されたのみであったが、各スタッフがそれぞれの役割を果たすうえで必要とされる基本的な技術が習得されたことが専門家や各スタッフ自身から確認された。

アウトプット 4：プロジェクトの経験がパイロットバランガイ間や周辺の同じ小規模流域内のバランガイで共有され、同様に対象市町の経験がミサミス・オリエンタル州の他の市町に共有される。

パイロットバランガイ間の経験共有ワークショップが進められており、アルビヒッド町では 11 バランガイが参加する小規模流域管理計画が作成された。ヒンゴーグ市では複数のバランガイが参加する計画はまだ策定されていない。州内の他市町との経験共有も既に開始されており、作成中のマニュアルは終了時までに全体に配布される計画である。

アウトプット５:流域管理にかかる活動が、ミサミス・オリエンタル州内の選択された地方自治体政府に導入される。

新たに選択された 36 市・町・バランガイのうち、現時点では 67%が活動を導入しており、終了時までに 81%程度が達成される予定である。

（2）プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：地方自治体、NGO、住民の連携により、パイロットバランガイにおける小流域管理が向上する。

パイロットバランガイ 8 村全部で LGU や NGO との連携により小流域管理アクションプランが実行されており、指標が達成された。

（3）上位目標の達成状況

上位目標：地方自治体、NGO、住民の連携により、ミサミス・オリエンタル州の小流域・小規模流域管理が改善する。

本プロジェクトの活動と類似する活動は各地で行われているが、小流域・小規模流域管理という概念の下で実施されているのは現時点ではプロジェクト対象市町・バランガイのみとなっている。

３－２　評価結果の要約

（1）妥当性

対象地域のニーズ、フィリピン側開発計画、日本側援助計画、手段としての適切性（流域管理に自治体能力強化や生計向上を組み合わせたアプローチ）の面から、妥当性は引き続き高い。

（2）有効性

プロジェクト目標の達成状況から、有効性は高い。プロジェクト目標達成のためには、バランガイでの適切な計画の策定（アウトプット 1)、関連する活動の実施に必要な技術のバランガイ住民に対する研修（アウトプット 2)、バランガイに効果的な支援を提供するための自治体や NGO の能力強化（アウトプット 3）が必要であり、プロジェクト目標はアウトプット 1、2、3 の結果として達成された。なお、アウトプット 4 や 5 はプロジェクト目標と直接的な因果関係はないが、間接的にプロジェクト目標の達成に貢献しているといえる。

（3）効率性

実施プロセスでは効率的な活動実施に影響を与える課題がいくつか確認されたものの、多岐にわたり業務量の多い活動のなかで限られた投入がおおむね効率的に活用された。アウトプットの達成度については、特にアウトプット 4、5 の達成をめざし、残りのプロジェクト期間に活動を強化する必要がある。

（4）インパクト

上位目標については、カウンターパート各機関が本プロジェクトのコンポーネントをそ

れぞれの職務や予算の下で普及していく予定であり、ある程度の達成可能性が確認された。一方、小規模流域管理については、十分な実施体制や活動内容などの枠組みが整理されるまでには至っていない。パイロットバランガイでは生計の向上、意識の向上、伐採の減少等の正のインパクトが確認された。

（５）自立発展性

政策面での支援体制は整ってきている。パイロット市町･バランガイでは人材が育成されたことから活動の継続が期待できる。パイロット以外への普及においては、州政府計画開発局（Provincial Planning and Development Office：PPDO）及び州政府環境自然資源局（Provincial Environment and Natural Resources Office：ENRO）が各市町に対してアドボカシー活動を実施していく予定である。財政面では、パイロット市町･バランガイにおいて限られた予算ではあるものの、技術支援を継続すべく予算を確保していく予定である。

３－３　効果発現に貢献した要因

（１）計画内容に関すること

特になし

（２）実施プロセスに関すること

- ヒンゴーグ市、アルビヒッド町の両市町政府はプロジェクト期間をとおしてプロジェクト活動に協力的であった。
- 近年、対象地域で自然災害や気候変動が観察されていることから、関係者の流域管理に対する意識が向上した。
- 各バランガイで投入された限られた資金を、返済システムを活用することで資金が効果的に活用され、コミュニティの活動に対するオーナーシップが醸成された。
- アルビヒッド町では、政府のイニシアティブで 3 つのパイロットバランガイ以外の 11 のバランガイにおけるバランガイ開発計画の策定や、小規模流域アクションプランの作成が行われ、プロジェクトのインパクト及び上位目標の達成に貢献した。

３－４　問題点及び問題を惹起した要因

（１）計画内容に関すること

- キャパシティ・ディベロップメントにおける達成目標や達成度のアセスメントの方法が当初から明確に決められておらず、アセスメントの結果はフォローアップの活動に十分に活用されなかった。
- 自然資源管理に基づく小規模事業への投入について返済システムを取り入れたが、プロジェクト開始当初にはそれが決定されていなかった。活動が開始された後に返済システムを導入したため、バランガイの住民の間で混乱が生じた。そのため、プロジェクトでは返済率を上げるよう住民組織を説得するよう努めた。

（２）実施プロセスに関すること

- 社会的弱者を含めたバランガイの全住民へのプロジェクトの周知という社会的準備

の期間が十分に確保されていなかったため、一部の住民の間でプロジェクト理解に混乱を招いた。プロジェクトでは後発的に社会的準備を実施した。

・短期間に各バランガイで多くの研修/セミナーやプロジェクト活動が実施されたため、住民のなかには時間を調整して多くの活動に参加することが困難なケースもあったため、ワークショップの期間を短縮するなど効率的な実施に努めた。

・市町職員カウンターパートは、パイロットバランガイへのアクセスや交通手段に問題があり、特に個別の訪問が必要な自然資源管理に基づく小規模事業のモニタリングの実施は困難だった。そのため、プロジェクトではカウンターパートによるモニタリングに加え、バランガイ住民によるモニタリングを併せて実施した。

３－５　結　論

本プロジェクトでは、関係者の尽力により多くの分量や種類にわたる活動が実施された。自治体、NGO、コミュニティの連携によりパイロットバランガイの小流域管理を改善するというプロジェクト目標は、アクションプランの各活動の達成状況はバランガイによっても異なっているものの、8 つすべてのパイロットバランガイで小流域管理アクションプランが実行されていることから、達成されたことが確認された。妥当性は、終了時評価時点にも引き続き高く、プロジェクト目標の達成から有効性も高いことが確認された。効率性については、実施過程においては効率性に影響を及ぼす課題もあったが、プロジェクトは限られた投入をおおむね効率的に活用した。インパクトについては、プロジェクトの小流域管理のコンポーネントがそれぞれ普及されていくことから、ある程度の達成が期待できる。また、パイロットバランガイでは、正のインパクトが確認された。最後に自立発展性では、各ステークホルダーがそれぞれの職務範囲や予算の下で流域管理に関連する活動が継続されることが期待できる。小規模流域レベルの管理については、本プロジェクトが小流域レベルに焦点をあてたプロジェクトであり、アルビヒッド町での一例では枠組みや管理体制の整理が十分ではないことから、今後明確な展望を検討することが必要となっている。以上の調査結果を総合的に判断し、本プロジェクトは予定どおり終了することができると考えられる。

３－６　提　言（当該プロジェクトに関する具体的な措置、提案、助言）

【プロジェクト期間内】プロジェクトにて対応

・既に実施した研修のなかで、成果 2 においてテスト結果が良好でなかったトピックや支援ニーズの高いトピックについてはフォローアップを実施すること。

・成果 4 や 5 でまだ達成されていない課題については、市との協力の下、できる限り達成できるように努めること。

・各パイロットバランガイやカウンターパート市町での経験を整理し、関係者間で共有すること。

・作成された IEC 教材やマニュアルを戦略的に配布し、活用方法の指導を行うこと。

【プロジェクト期間終了後】

・PPDO：各関係者は職務の下でプロジェクト活動を継続する一方で、各機関が連携して効率的な活動を行うことも重要である。

・ PPDO 及びパイロット市町・バランガイ：活動の継続性を担保するために、職員が活動に必要な経費（交通費、旅費等を含む）を確保すること。

３－７　教　訓

・ キャパシティ・ディベロップメントの計画においては、達成目標や達成度の測定方法を明確にしておく必要がある。また、測定の結果はその後のフォローアップに活用されるべきである。
・ バランガイレベルの活動に入る前には、活動のポリシーを明確にし、住民の混乱を防ぐべきである。
・ バランガイレベルでの技術や知識の普及において、実地研修、農民から農民への研修（Farmers to Farmers Training）、展示圃場などが有効であった。
・ 対象となるグループの成熟度を高め、社会的弱者を巻き込むためには、社会的準備（Social Preparation）、組織強化、意識向上などがコミュニティレベルでの活動においては重要である。十分な準備が整っていない場合には、コミュニティレベルでは試行錯誤の活動とならざるを得ない。
・ 活動の自立発展性を確保するためには、各人材の強化に併せて、組織強化を考慮する必要がある。

３－８　今後の方向性

PPDO から「小規模流域管理」に焦点を拡大した第 2 フェーズのプロポーザルが提出されている。終了時評価の結果、以下の事項が確認された。

・ 次の段階の活動の方向性として「小流域」から「小規模流域」へとフォーカスを拡大することの妥当性が確認された。
・ アルビヒッド町で小規模流域管理の一例となる活動が開始された。しかし、小規模流域レベルでの管理体制や活動内容などの枠組みについては検討すべき課題が多く残っている。
・ JICA の支援として効果的な内容としては、小規模流域管理の制度・枠組み設立の支援、小規模流域管理に係る技術的支援が考えられる。
・ そのような支援は単に今までの活動の継続のための資金的な支援とは異なる。

これらに配慮したうえで、今後もミサミス・オリエンタル州政府側 JICA 側双方でプロジェクトのコンセプトや枠組みについて検討し、適切なプロジェクトデザインを形成する必要がある。

第１章　評価調査の概要

１－１　調査団派遣の経緯と目的

「ミンダナオ北部貧困削減（バランガイガバナンス）プロジェクト」は国際協力機構（JICA）の技術協力プロジェクトとして、地方自治体・非政府組織（NGO）・住民の連携によるバランガイでの小流域管理の向上を目的に 2008 年 1 月に開始した。プロジェクト期間は 3 年間であり、ミサミス・オリエンタル州の計画開発局（Provincial Planning and Development Office：PPDO）と環境自然資源局（Provincial Environmental and Natural Resources Office：ENRO）、バライミンダナオ財団及び JICA による共同事業である。2011 年 1 月のプロジェクト終了を控え、JICA 評価ガイドラインに基づいた終了時評価が、日本・フィリピン国側双方の合同評価で実施された。

終了時評価の目的は以下のとおりである。

① プロジェクト開始からこれまでの実績と計画達成度をプロジェクト・デザイン・マトリックス（PDM）等に基づき把握し、その情報に基づいて、評価 5 項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）の観点から日本・フィリピン国側双方で確認する。

② プロジェクト終了まで、及び終了後に取るべき対応事項について確認・協議し、その結果を日本・フィリピン両国政府及び関係機関に報告・提言する。

③ 今後類似のプロジェクトが実施された場合に、その案件を効果的に立案・実施するため、本協力の実施による教訓を取りまとめる。

１－２　対象プロジェクトの概要

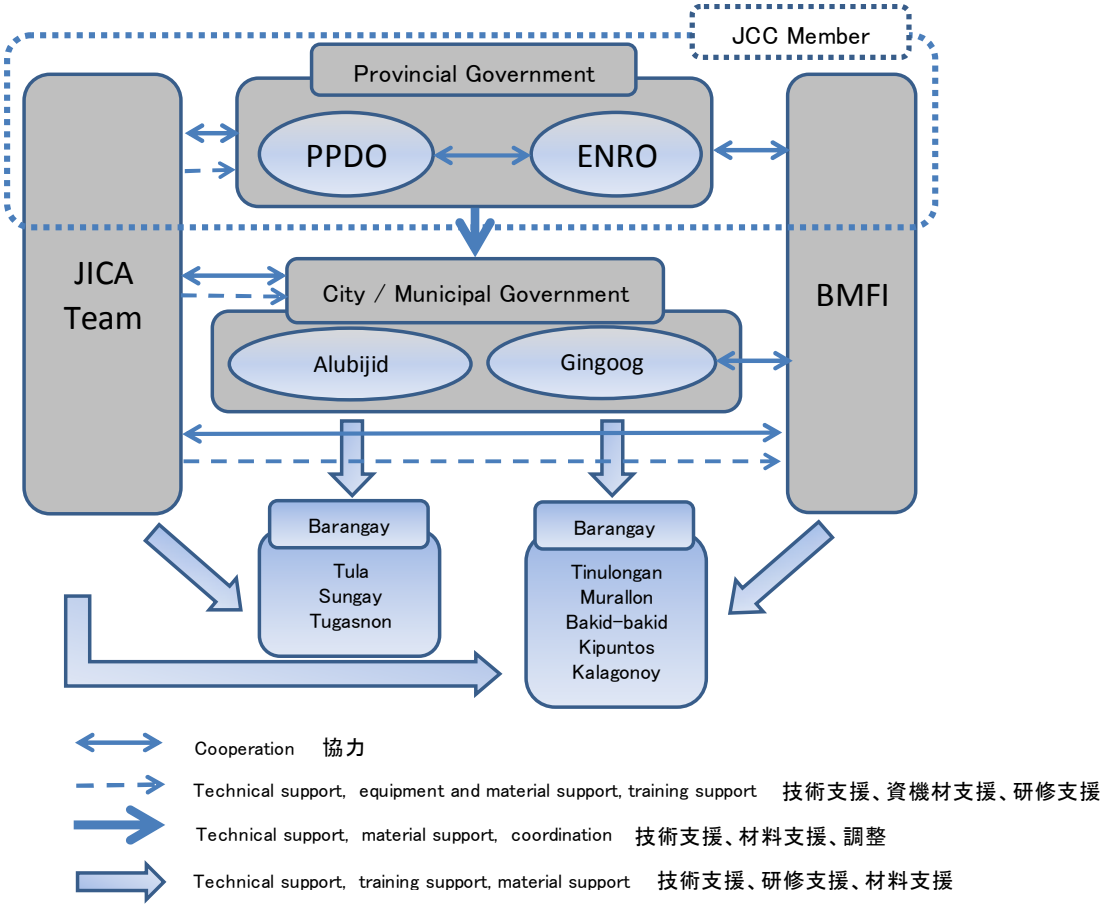
(1) プロジェクトの背景

ミンダナオ島北部に位置するミサミス・オリエンタル州は、地域経済の中核都市であるカガヤンデオロ市を中心に、産業（鉱工業、農産加工）、交通、物流の中心を担っている。同州の山間地域は、多くが森林地に指定され、同地域の生活用水、農・工業用水の水源を担っているが、森林の減少や土壌浸食の進行等のため、生活用水や農・工業用水の水質の悪化や減少が将来的に危惧されている。また、山間部の住民の多くは自然資源に依存して生計を営んでいるが、貧困ライン以下の家庭が 50%近くを占めている。代替生計手段のない状況下での過度の資源依存と人口の増加は資源の収奪的な利用の危険を伴っており、先住民族を含む山間部地域の住民にとって自然資源の枯渇は農地の生産性低下、災害の多発等生命と生計を脅かし、貧困問題を深刻化する要因となっている。

土地、森林等の資源を保全しながら持続的に利用するためには、流域管理の概念に基づいた土地利用計画の策定や資源の計画的利用と保全が必要である。フィリピンでは 1991 年に策定された地方自治法により、基本的な公共サービスの提供義務が地方自治体に移管されており、流域面積 1 万 ha 以下の小規模な流域の管理についても自治体が主体的に実施することが定められている。しかし、責任を移管された地方自治体（州、市町）では、適切な計画の策定と住民を巻き込んだ資源保全を実施する人材・能力が十分でない状況にある。

このような状況の下で、ミサミス・オリエンタル州政府は、同州内において「持続的統合

地域開発」の手法で、土地なし農民への法的支援やバランガイ（最小行政単位）単位での参加型開発計画策定等のノウハウと経験を有する NGO のバライミンダナオ財団と連携し、小流域管理計画の策定・実施を推進することとして、フィリピン政府を通じわが国に技術協力プロジェクトの実施を要請した。この要請に基づき、日本・フィリピン国側双方で実施内容等について議論した結果、2007 年 7 月 2 日に「ミンダナオ北部貧困削減（バランガイガバナンス）プロジェクト」を実施するための実施協議議事録（R/D）が JICA 及び、ミサミス・オリエンタル州知事の間で署名され、2008 年 1 月に協力を開始した。



図－１　プロジェクト実施体制

(2) 協力期間

本プロジェクトの実施期間は、2008 年 1 月から 2011 年 1 月までの 3 年間である。

(3) 実施機関

本プロジェクトは、ミサミス・オリエンタル州政府の計画開発局（PPDO）及び環境自然資源局（ENRO）、バライミンダナオ財団が実施機関となっている。

(4) プロジェクト対象地域

プロジェクト対象地域はミサミス・オリエンタル州であるが、5 つのパイロットバランガ

イ（ムラリオン、バキ・バキ、ティヌロンガン、キプントス、カラグノイ）が位置するヒンゴーグ市と、3 つのパイロットバランガイ（トゥガスノン、スンガイ、トゥラ）が位置するアルビヒッド町を中心に主な活動が展開されている。

(5) プロジェクトの要約

本プロジェクトの PDM 第 3 版に基づくプロジェクトの要約は以下のとおり（以下は英文 PDM の仮和訳）。

上位目標：地方自治体、NGO、住民の連携により、ミサミス・オリエンタル州の小流域・小規模流域管理が改善する。

プロジェクト目標：地方自治体政府（Local Government Unit：LGU）、NGOと住民の連携によりパイロット地域における小流域管理が向上する。

アウトプット：

① 住民参加により、小流域管理計画を盛り込んだバランガイ開発計画が策定される。
② バランガイ住民が持続的な小流域管理の知識と技術を習得する。
③ 州、町、NGO スタッフの小流域管理のテクニカルな知識や住民参加型計画作成の技術が向上する。
④ プロジェクトの経験が、パイロットバランガイ間並びに同じ小規模流域に属する隣接したバランガイに共有され、それと同様に、パイロット市町で作成される。
⑤ 流域管理にかかる活動が、ミサミス・オリエンタル州内の選ばれた地方自治体政府に導入される。

１－３　調査団の構成と調査期間

(1) 調査団員の構成

下記の団員構成により、日本･フィリピン国側双方による合同評価が実施された。

担当分野	氏　名	所　属
【日本側】		
総括	永石　雅史	JICA フィリピン事務所　次長
協力企画	嶋影　繭子	JICA フィリピン事務所　企画調査員
評価分析	大橋　由紀	合同会社 適材適所　コンサルタント
協力企画 2	Martha Parrenas	JICA フィリピン事務所　職員
【フィリピン側】		
Representative	Elsa M. Maquiling	国家経済開発庁（NEDA）第 10 地域 経済・開発シニア専門員

(2) 調査期間

2010 年 8 月 10 日～8 月 27 日の期間で付属資料 1. に示すとおりの日程で調査を行った。

第２章　評価の方法

２－１　評価手法

本終了時評価はプロジェクト・サイクル・マネジメント（PCM）の評価手法を用いて実施した。PCM による評価は、①プロジェクトの諸要素を論理的に配置した PDM に基づいた評価のデザイン、②プロジェクトの実績を中心とした必要情報の収集、③「妥当性」「有効性」「効率性」「インパクト」「自立発展性」の 5 つの評価の観点（評価 5 項目）からの収集データの分析、④分析結果からの提言・教訓の導出、という流れからなる。なお、本プロジェクトの PDM は現時点までに 2 度改訂されており、本終了時評価においては 2009 年 8 月 19 日に承認された現行の PDM 第 3 版に基づいて評価を行った。

２－２　データ収集・分析方法

(1) データ収集

本評価調査のためにデータ収集は以下の方法で行われた。収集した情報・データ、入手先、入手方法の詳細は付属資料 4. 評価グリッドに示すとおりである。

1) 文献資料調査

現地調査前及び現地調査時に既存の文献・報告書等（事前評価・中間レビュー報告書、業務進捗報告書、業務完了報告書、その他プロジェクト作成資料等）から必要な情報を収集した。

2) 質問票による調査

事前に質問票を作成のうえ、日本人専門家、カウンターパート（PPDO、ENRO、バライミンダナオ財団の各スタッフ）に配布・回収し、情報収集を行った。

3) インタビュー調査

プロジェクト関係者（日本人専門家、カウンターパート、対象市町の職員、受益者）に対してインタビュー調査を行い、必要な情報を収集した。

4) フォーカス・グループ・ディスカッション

パイロットバランガイ 5 村において、バランガイ評議会メンバー及びプロジェクト活動に携わる住民 15～20 名程度を対象に実施し、情報収集を行った。

(2) 分析方法

収集した情報は表－1 に示す評価の視点に基づいて分析した。

表－１　評価の視点

<table>
<tr><td colspan="2">実績の検証</td><td>以下の点について達成状況を検証する。
・ 投入は計画どおりか（計画値との比較）
・ アウトプットは計画どおり産出されているか（目標値との比較）
・ プロジェクト目標の達成の見込みはあるか（目標値との比較）</td></tr>
<tr><td colspan="2">実施プロセスの検証</td><td>今までのプロジェクト期間で実施された活動の検証。活動は計画どおりに実施されているか、技術移転の方法に問題はないか、プロジェクトのマネジメント体制に問題はないか、実施機関やカウンターパートのプロジェクトに対する認識は高いか、適切なカウンターパートが配置されているか、ターゲット・グループや関係組織のプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか、などを含む。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評価
５項目</td><td>妥当性</td><td>プロジェクトのめざしている効果（プロジェクト目標や上位目標）が受益者のニーズに合致しているか、問題や課題の解決策として適切か、被援助国及び日本側の政策との整合性はあるか、プロジェクトの戦略・アプローチは妥当か、公的資金である ODA で実施する必要があるかなどといった「援助プロジェクトの正当性・必要性」を問う視点。</td></tr>
<tr><td>有効性</td><td>プロジェクトの実施により本当に受益者もしくは社会への便益がもたらされているのか（あるいは、もたらされるのか）を問う視点。</td></tr>
<tr><td>効率性</td><td>主にプロジェクトのコストと効果の関係に着目し、資源が有効に活用されているか（あるいはされるか）を問う視点。</td></tr>
<tr><td>インパクト</td><td>プロジェクト実施によりもたらされる、より長期的、間接的効果や波及効果を見る視点。予期していなかった正・負の効果・影響を含む。</td></tr>
<tr><td>自立発展性</td><td>援助が終了してもプロジェクトで発現した効果が持続しているか（あるいは持続の見込みはあるか）を問う視点。</td></tr>
</table>

出所：「プロジェクト評価の手引き―改訂版 JICA 事業評価ガイドライン」（2004 年 2 月）

第３章　プロジェクトの実績

３－１　投入実績

プロジェクト開始から終了時評価時点までに、以下の投入が日本側及びフィリピン側から実施された。各項目の投入の詳細は、付属資料 3. 「合同評価報告書」の Annex に示すとおり。

(1) 日本側の投入

1) 専門家派遣

4 名の専門家（総括/村落開発/地方行政、副総括/自然資源管理/情報管理、生計向上/小規模事業、業務調整/地方行政 2）が、各年度開始前の調整に基づき、ほぼ計画どおりに派遣された。

2) 機材供与

総額約 981 万円[1]（約 495 万フィリピンペソ）相当の機材が JICA から投入された。プロジェクターやノートパソコンなど使用頻度が高い機材については、故障が生じ修理を要するケースも発生しているが、大部分の機材は良好な状態でプロジェクト活動に活用されている。

3) ローカル経費

プロジェクトの当初予算に加え、第 3 年次には約 830 万円（約 420 万フィリピンペソ[2]）の追加予算投入があり、主にアウトプット 4、5 の活動実施に使用された。2010 年 7 月までの JICA 側のローカル経費の総額は、4,656 万 4,893 円（約 2,276 万フィリピンペソ[3]）である。

4) 本邦研修

プロジェクトの投入外ではあるが、JICA の既存の本邦研修コースである、「持続可能な森林資源管理政策」に 4 名のカウンターパート、「参加型コミュニティ開発」に 2 名のカウンターパートが参加した。

(2) フィリピン側の投入

1) カウンターパートの配置

2010 年 7 月時点では PPDO から 5 名、ENRO から 4 名、バライミンダナオ財団から 6 名の、合計 15 名がカウンターパートとして配置されている。さらに、対象市町のカウンターパートとして、ヒンゴーグ市とアルビヒッド町からも職員がプロジェクト活動に従事している。これらのすべてのカウンターパート人材は各々の通常業務とプロジェクト活動を兼務しており、プロジェクトへの貢献度もそれぞれ異なる。

---

[1] 該当年・月（2008 年 1 月～2010 年 7 月）の JICA 統制レートの平均（1 フィリピンペソ＝1.981 円）を用いて日本円に換算した。

[2] 第 3 年次の JICA 統制レートの平均（1 フィリピンペソ＝1.988 円）を用いてフィリピンペソに換算した。

[3] 4,656 万 4,893 円を該当する年月の JICA 統制レートを活用してフィリピンペソに換算した。

2) 執務スペース

PPDO はプロジェクト開始時に事務所の一部を改修し、専門家のための執務スペースを提供しており、プロジェクト期間をとおして専門家及び現地雇用のプロジェクト要員の執務スペースとして使用されている。

3) プロジェクト経費

2010 年 7 月までに、フィリピン側から約 188 万円[4]（約 95 万フィリピンペソ）の経費がプロジェクト活動のために支出されている。

３－２　活動とアウトプットの実績

３－２－１　活動実績

本プロジェクトの活動計画と実績は付属資料 3. 「合同評価報告書」の Annex2：PO に示すとおりである。2009 年 8 月に改訂された PDM にはアウトプット 4、5 及びそれらの活動が追加されたが、現時点ではヒンゴーグ市で複数のバランガイによるアクションプランの作成、新たに選択されたバランガイでの流域管理活動の実施の活動に遅れが生じている。各活動の主な達成状況は表－２に示すとおり。

表－２　プロジェクト活動の達成状況（2010 年 7 月現在）

活　動	達成状況
アウトプット 1：住民参加により、持続的な小流域管理活動を組み込んだバランガイ開発計画が策定される。	
1-1. プロジェクト環境を整え、住民を組織化する。	8 つのパイロットバランガイで完了した。
1-2. 住民参加によるベースライン調査を実施し、小流域の現状における問題点・原因を把握する。	8 つのパイロットバランガイで完了した。
1-3. 住民参加によりバランガイ開発計画を策定する。	8 つのパイロットバランガイで完了した。
1-4. 住民参加により小流域管理アクションプランを策定する。	8 つのパイロットバランガイで完了した。ヒンゴーグ市の 5 つのパイロットバランガイでは小流域管理の 4 つのコンポーネント[5]が十分に組み込まれていなかったが、見直し・改訂が行われた。
アウトプット 2：バランガイ住民が持続的な小流域管理活動のための知識と技術を習得する。	
2-1. 研修ニーズアセスメントを行い、住民向け研修・ワークショップの計画を作成する。	研修ニーズアセスメントに基づき研修が実施されたが、自然資源管理に関する第 1 回目の研修は十分に整理されておらず、ヒンゴーグ市で行われた自然資源管理に基づく小規模事業の研修においても終了時テストは計画されていなかった。しかし、アルビヒッド町で実施された研修では、研修内容が整理され、終了時テストも行われた。
2-2. 保全型農業やアグロフォレストリー、グループ/個人事業（代替生計手段）に関する住民向け研修をニーズに基づいて実施する。	付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex10 に示すとおりの研修・ワークショップが実施された。
2-3. 保全型農業やアグロフォレストリー、グループ/個人事業（代替生計手段）に関する住民のアクションプランを実施する。	付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex11 に示すとおりの自然資源管理活動と自然資源管理に基づく小規模事業が各パイロットバランガイで実施された。

[4] 該当年・月（2008 年 1 月～2010 年 7 月）の JICA 統制レートの平均（1 フィリピンペソ＝1.981 円）を用いて日本円に換算した。

[5] 「農地」「森林」「川岸」「居住地」の 4 つの視点からなる。

活　動	達成状況
2-4. パイロットバランガイ間で活動経験共有のためのワークショップを開催する。	ヒンゴーグ市では、近隣の 16 のバランガイの参加による経験共有のためのワークショップが 2 度実施された。アルビヒッド町では、町内のバランガイ全体が参加するバランガイ・キャプテン協会（ABC）で経験が共有された。
アウトプット 3：州・町・NGO 職員の小流域管理に関する専門的な知識や参加型計画に関する技術が向上する。	
3-1. 小流域管理に関する基礎知識や方法を支援機関が共通理解するための研修やワークショップを開催する。	付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex10 に示すとおりの研修・ワークショップが実施された。
3-2. 支援機関職員向けの参加型計画、保全型農業、小流域管理に関する研修を実施する。	付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex10 に示すとおりの研修・ワークショップが実施された。
アウトプット 4：プロジェクトの経験がパイロットバランガイ間や周辺の同じ小規模流域内のバランガイで共有され、同様に対象市町の経験がミサミス・オリエンタル州の他の市町に共有される。	
4-1. バランガイ間の小規模流域活動計画のワークショップが実施される。	小規模流域の管理方法は関係者間でまだ十分に整理されていないものの、アルビヒッド町では、町職員とともに REPRAP[6]プロジェクトが検討され、11 の関係バランガイとの協議により同プロジェクトの実施が合意に至り、実施方法が議論された。
4-2. 小規模流域管理や住民参加型バランガイ開発計画策定についてのマニュアルを作成する。	自然資源管理、参加型バランガイ開発計画策定のマニュアルのドラフトが作成された。プロジェクト終了までに完成する予定である。
4-3. プロジェクトの経験を他の地方自治体と共有するためのワークショップ・セミナーを開催し、参加者にマニュアルを紹介する。	プロジェクトによるバランガイ開発計画策定の経験を他の市町に発表するためのセミナーが実施された。プロジェクト終了までに同様のセミナーが再度実施され、マニュアルが配布される予定である。
アウトプット 5：流域管理に関連する活動がミサミス・オリエンタル州内の選択された市町に導入される。	
5-1. ミサミス・オリエンタル州内の州政府、地方自治体、NGO、住民の支援の下、選択された地方自治体において流域管理に関連する活動を実施する。	付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex12 に示す活動が、アルビヒッド町、ヒンゴーグ市、ラディンギンガン町の選択されたバランガイで実施された。

３－２－２　アウトプットの実績

アウトプット 1：住民参加により、持続的な小流域管理活動を組み込んだバランガイ開発計画が策定される。
指標： 1.1 小流域管理計画を組み込んだ 8 つのバランガイ開発計画が住民参加型で策定される。 1.2 8 つの小流域管理アクションプランが住民参加型で策定される。

指標 1.1 については、住民参加型によりバランガイ開発計画（BDP）や年間投資計画(AIP)[7]が 8 つのパイロットバランガイで策定された。8 つのバランガイ開発計画は印刷され、関係者機関に提出された。ヒンゴーグ市の 5 つのパイロットバランガイで作成されたバランガイ開発計画・年間投資計画については、当初小流域管理の概念が十分に定義されていなかったことから、

[6] アルビヒッド川復旧保護プロジェクト（REPRAP）は、アルビヒッド側流域のすべてのバランガイを対象としており、川岸の保護のための植林を促進している。また、アルビヒッド流域の土壌と水の保全の促進も目的としている。

[7] 年間投資計画（AIP）はバランガイ開発計画（BDP）に基づき、バランガイ開発評議会によって毎年作成される予算計画である。

小流域管理の概念が十分に組み込まれなかった。バランガイ開発計画は 5 年間の計画であるため 2013 年まで改訂の予定はないが、プロジェクトは該当する 5 つのパイロットバランガイやアルビヒッド町の 3 つのパイロットバランガイでバランガイ開発計画・年間投資計画のレビューを実施した。その結果、パイロットバランガイの年間投資計画に小規模流域管理に関連する活動が含まれた。

指標 1.2 については、8 つのパイロットバランガイで住民参加型により小流域管理アクションプラン（Micro-watershed Management Action Plan：MMAP）が策定された。ヒンゴーグ市の 5 つのパイロットバランガイでは小流域ウォーク（Micro-watershed walk）の活動によってレビューが行われ、森林などの植生保全、住居周辺の植生保全、農地保全、河畔の保護の 4 つの視点から現状と問題点の確認がなされた。アルビヒッド町の 3 つのパイロットバランガイでは、2010 年 8 月にバランガイ開発計画・年間投資計画のレビューをとおして、小流域管理アクションプランの見直しも行われた。

一方、バランガイ開発計画に小流域管理の概念を組み込むためのより良い方法として、プロジェクトはバランガイ開発計画策定のプロセスをより簡素化した新たなプロセスを開発し、アルビヒッド町で新たに 11 のバランガイでのバランガイ開発計画が策定された際にはその新プロセスが活用された。バランガイ開発計画策定マニュアルは、州内の他のバランガイでの普及を促進するために、簡素化された新プロセスに基づいて作成された。

アウトプット 2：バランガイ住民が持続的な小流域管理活動のための知識と技術を習得する。
指標： 2.1 パイロットバランガイにおける小流域管理研修の参加者のうち 80%以上が、終了時のテストに合格する。

プロジェクトは小流域管理に関するさまざまな研修コースをバランガイ住民に対して実施しており、2010 年 8 月までの参加者の合計は約 8,200 名/日に及んだ。実施した研修の実績は付属資料 3. 「合同評価報告書」の Annex10 に示すとおりである。

主な研修内容の 1 つは、自然資源管理である。第 1 回目の自然資源管理研修コースは、2008 年 7 月から 2009 年 3 月までに 8 つのすべてのパイロットバランガイで実施された。しかし、研修全体が十分に整理されておらず、終了時テストは受講者の理解度を十分に反映できる内容ではなかった。中間レビューでもその点の指摘を受け、その後プロジェクトは、自然資源管理研修の第 2 回目を「土壌・水資源保全研修」として整理し、新たな受講者に対して実施した。研修の内容は、第 1 回目の経験を生かして修正され、終了時テストも受講者の理解度を適切に測定できる内容に改訂された。第 2 回目の土壌・水資源保全研修の終了時テスト結果は、表－３に示すとおりすべてのバランガイにおいて指標 2-1 が達成される結果となった。

表－３　土壌・水資源保全研修（第 2 回目）最終テストの結果

バランガイ	参加者数	平均点	7 点以上
ティヌロンガン	-	-	-
キプントス	27	9.75	100%
ムラリオン	24	9.58	100%
カラグノイ	28	9.86	100%
バキ・バキ	23	9.76	100%
トゥラ	83	9.35	95%
トゥガスノン	73	9.30	96%
スンガイ	75	9.53	92%

注：Tinulongan においても研修は実施されたが、データが収集されていない。10 点満点で、7 点以上が合格とされた。

小流域管理活動のもう 1 つの研修テーマは、自然資源管理に基づく小規模事業活動である。ヒンゴーグ市、アルビヒッド町のパイロットバランガイでは、自然資源管理に基づく小規模事業活動の実施能力を強化するために、さまざまな研修が実施された。ヒンゴーグ市のパイロットバランガイでは、これらのほとんどの研修が中間レビュー前に終了していたが、これらの研修で終了時テストは実施していなかった。アウトプット 2 を十分に達成するために、知識・技術の習得状況を分析し必要な対策をとることが中間レビューで提言されたことから、プロジェクトではアルビヒッド町のパイロットバランガイで実施する研修では終了時テストを実施することにした。そのテストの結果は、表－４に示すとおりである。17 の研修のうち、13 の研修で指標 2-1 が達成された。

表－４　アルビヒッド町自然資源管理に基づく小規模事業活動研修の終了時テスト結果

研修トピック	スンガイ			トゥラ			トゥガスノン		
	テスト受験者数	平均点	7 点以上	テスト受験者数	平均点	7 点以上	テスト受験者数	平均点	7 点以上
ミミズ養殖・肥料	28	7.89	75%	16	8.81	94%	18	8.33	94%
切り花	20	7.2	80%	17	6.33	53%	3	6	33%
自然農法技術システム（Natural Farming Technique System）	22	8.36	91%	15	8.93	93%	24	9.33	100%
種子と苗床	22	6.9	41%	10	6.36	50%	20	7.75	85%
バナナ生産	25	8.64	100%	21	8.95	100%	-	-	-
土壌・水資源保全	25	9.12	100％	18	9.89	100%	40	9.9	100%

注：テストは 10 問からなり、イエス、ノーの 2 択問題である。10 点満点で、7 点以上を合格点としている。「土壌・水資源保全」研修は主に自然資源管理研修の第 1 回目を受講した参加者を対象に、知識の強化のために実施したものである。

アルビヒッド町では、終了時テストの結果が指標を十分に達成できなかった「切り花」を含む研修内容について、理解度を深めるためにフォローアップの活動が実施された。「種と苗床」については、テスト結果の分析が十分になされなかったことから、フォローアップは行われて

いない。ヒンゴーグ市では、プロジェクトが提供した研修内容について、その後の技術支援を市の農業事務所（CAO）がパイロットバランガイの住民の必要に応じて提供している。

終了時評価の調査では、自然資源管理に基づく小規模事業に従事している住民の多くが自分たちの生産活動を継続するために必要な技術を習得したと考えており、また、もし支援が必要な場合は、市町の職員が頻繁に行っているモニタリングをとおして技術支援を受けることができると考えていることが確認された。しかし、切り花の生産者のなかには、生産を改善するために更なる技術支援が必要と考えている者もいることがわかった。さらに、住民組織（People's Organization：PO）や各事業従事者が今後更に支援を希望する研修としては、病虫害対策、簿記、リーダーシップ研修などが挙げられた。

アウトプット 3：州・町・NGO 職員の小流域管理に関する専門的な知識や参加型計画に関する技術が向上する。
指標： 3.1 自己評価の結果、80%以上のカウンターパートの小流域管理に関する能力がベースライン時と比較して向上する。 3.2 自治体職員・NGO 向けの小流域管理研修で、終了時テストの合格率が 80%以上となる。

プロジェクトはカウンターパートと市町職員カウンターパートに対して、さまざまな研修を実施しており、2010 年 8 月 15 日までの参加者は合計 374 人/日である。実施した研修の実績は付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex10 に示すとおりである。

指標 3.1 について、自己評価によるキャパシティ・アセスメントは州職員とバライミンダナオ財団のカウンターパートに対して、プロジェクト期間中に 3 回実施された。各回のアセスメント結果の比較は表－５に示すとおりである。バライミンダナオ財団のカウンターパートはヒンゴーグ市での彼らの活動内容を基にコア・コンピテンシーを設定した。州職員のカウンターパートについては、キャパシティ・ディベロップメントの分野を、指導を行う日本人専門家の分野に応じて分類した。プロジェクト当初と現在のアセスメントの結果を比較すると、11 名中 10 名のカウンターパートが能力は向上していると自己評価した。能力向上が認められなかった 1 名のカウンターパートは、プロジェクト活動への関与が少なかった。

指標 3.2 については、終了時テストは GIS、コンピュータ技術、ビデオ・写真撮影といった一般技術の研修でのみ実施された。それぞれのテスト結果は表－６、７、８に示すとおり、GIS では達成に近い結果であり、コンピュータ、ビデオ・写真撮影では 100％の達成度であった。

表－５　キャパシティ・アセスメント結果

所属先	職員	第 1 回目（平均点）	第 2 回目（平均点）	第 1 回目と第 2 回目比較結果	第 3 回目（平均点）	第 2 回目と第 3 回目比較結果	第 1 回目と第 3 回目比較結果
バライミンダナオ財団	A	3.60	4.20	↗	4.70	↗	↗
	B	4.00	4.00	→	4.60	↗	↗
	C	2.60	4.00	↗	N/A	N/A	↗
	D	N/A	N/A	N/A	2.80	N/A	N/A
	E	N/A	3.50	N/A	4.40	↗	↗
	F	3.20	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
ENRO	A	5.00	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	B	3.00	4.00	↗	4.00	→	↗
	C	2.17	3.33	↗	3.80	↗	↗
	D	2.67	3.33	↗	3.50	↗	↗
PPDO	A	3.17	1.00	↘	0.80	↘	↘
	B	2.50	3.00	↗	4.40	↗	↗
	C	2.00	3.00	↗	N/A	N/A	↗
	D	1.40	2.90	↗	3.90	↗	↗

表－６　GIS 研修終了時テスト結果

コース	受講者数	平均点	7 点以上/14 点以上	特記事項
GIS 基礎	25	7.14	76%	研修前に受講者は GIS の知識は全くなかった。また、マイクロソフトのワードなどの基礎的なソフトの知識もない参加者が多かった。それを考慮すると、結果は良好であったと考えられる。
GIS アドバンスド	16	15.56	75%	基礎よりも発展した内容が指導された。

注：テストは 10 問（アドバンスドでは 20 問）からなり、イエス、ノーの 2 択問題である。10 点（アドバンスドでは 20 点）満点で、7 点（アドバンスドでは 14 点）を合格点とした。

表－７　コンピュータ研修終了時テスト結果

コース	受講者数	平均点	25 点以上
ヒンゴーグ市関係者用コース	19	33.06	100%
アルビヒッド町関係者用コース	16	29.86	100%

注：1）終了時テストは知識と技術のアセスメントからなる。
　　2）終了時テストは 50 問のイエス、ノーの 2 択問題である。50 点満点で、25 点を合格点とした。.

表－８　ビデオ・スチルカメラ研修終了時テスト結果

受講者数	平均点	7 点以上	特記事項
16	9.19	100 %	すべての参加者がカメラの基本的な機能を理解し、使用できるようになった。すべてのカウンターパート機関がデジタルスチルカメラを所有していることから、本研修で習得した技術が活動の記録に役立つことが期待される。

注：テストは 10 問からなり、イエス、ノーの 2 択問題である。10 点満点で、7 点以上を合格としている。

小流域管理に関する専門的な知識や参加型計画に関する技術については、研修形式ではなく、ワークショップやセミナーで技術移転が行われており、習得度のアセスメントは行われなかった。技術の習得度は各カウンターパートによって異なるが、カウンターパートや市町職員カウンターパートそれぞれの達成度は、専門家及びカウンターパート自身によって次のように評価されている。

1) PPDO

バランガイ開発計画の策定について、市町自治体の計画担当職員に指導する役割を果たすために必要な能力を十分に習得したと評価されている。

2) ENRO

プロジェクトの IEC 教材を活用して小流域管理の情報を普及させるために必要な基礎的な知識や経験を習得した。しかし、専門家は、市町自治体の環境・自然資源や関連する分野を担当する職員に対して小流域管理や自然資源管理の手法を指導するためには、プロジェクト終了まで実施中のマニュアル作成をとおして更に能力強化していく必要があると考えている。

3) バライミンダナオ財団

各カウンターパートは、当初からバランガイ開発計画策定やファシリテーション、コミュニティ/組織強化、自然資源管理に基づく小規模事業の研修やファシリテーションについての基礎的な技術をもっていたが、プロジェクトでの経験をとおしてそれらの能力が強化された。

4) アルビヒッド町職員

プロジェクト活動の実施のために、パイロットバランガイを密に支援してきたため、バランガイへの小流域管理に関する情報の普及、バランガイ開発計画の策定やその他のワークショップのファシリテーションの実施、バランガイでの活動のモニタリング、バランガイでの活動の支援等を実施していくための、十分な知識や経験を習得することができた。

5) ヒンゴーグ市職員

プロジェクトに中心的に関ってきた環境自然資源ユニット（ENRU）の職員は、バランガイに小流域管理に関する情報を提供・普及し、その他の市の専門事務所と連携してバランガイで必要とする支援を提供するために必要な知識や経験を習得することができた。

アウトプット 4 : プロジェクトの経験がパイロットバランガイ間や周辺の同じ小規模流域内のバランガイで共有され、同様に対象市町の経験がミサミス・オリエンタル州の他の市町に共有される。
指標： 4.1 対象市町において、バランガイ間の小規模流域活動計画が作成される。 4.2 小流域管理や住民参加型バランガイ開発の計画策定のマニュアルをミサミス・オリエンタル州のすべての市町に配布する。

指標 4.1 については、アルビヒッド町では 2 つのパイロットバランガイ（トゥラ及びスンガイ）を含む 11 のバランガイで「アルビヒッド川復旧保全プロジェクト（REPRAP）」により小規模流域活動計画の作成が開始されている。一方、ヒンゴーグ市ではまだバランガイ間の小規

模流域活動計画は作成されていない。その理由としては、①自然資源管理に基づく小規模事業など他の活動で多忙だったこと、②プロジェクト側からヒンゴーグ市内のバランガイの連携を促進するような具体的な指導がなされていなかったこと、の 2 点が挙げられている。しかし、ヒンゴーグ市ではパイロットバランガイやその他のバランガイのバランガイ開発評議会や住民組織に対し、流域管理の重要性についての意識を高めるために 16 の近隣バランガイの間で経験を共有するワークショップを開催するなど、啓発活動に努めている。プロジェクトは市とともにプロジェクト終了時まで啓発活動を継続する予定である。

指標 4.2 については、①自然資源管理マニュアル及びケース・スタディと実施報告、②バランガイ開発計画策定マニュアル、の 2 つの小流域管理に関する印刷物が作成され、州内すべての市町自治体を対象としたバランガイ開発計画策定セミナーや、プロジェクトの普及を目的とした最終セミナーで配布される予定である。さらに、DVD などの IEC 教材が作成され、アドボカシー活動に利用されている。作成された教材リストについては、付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex13 を参照のこと。

アウトプット 5 : 流域管理に関連する活動がミサミス・オリエンタル州内の選択された市町に導入される。
指標： 5.1 新たに選択された市町及びバランガイの 80%以上が流域管理に関連する活動を適用し、維持する。

2009 年 8 月に JICA の追加予算を利用し、パイロット以外の選択された市町・バランガイで流域管理に関連する活動を実施することが決定された。市町レベルでは、新たな活動に取り組んだ 3 つの市町（ヒンゴーグ市、アルビヒッド町、ラディンギンガン町）すべてで流域管理に関連する活動が適用され、今後も継続していく意思が確認されている。新たに選択されたバランガイについては、市町によって達成度は異なっている。現在までの選択された市町・バランガイでの達成度を指標のパーセンテージで表すと約 67%であるが、プロジェクト終了までに活動を継続し、81%程度まで達成することが期待されている。各市町・バランガイの達成状況は以下に示すとおり。

【アルビヒッド町】

アルビヒッド町では、町政府のイニシアティブにより流域管理の概念を組み込んだバランガイ開発計画の策定が新たに 12 のバランガイで実施された。また、2 つのパイロットバランガイを含む 11 バランガイによる REPRAP プロジェクトが開始されている。新たに活動が開始されたすべてのバランガイで継続的な活動が開始されていることから、アルビヒッド町での指標の達成率は 100%といえる。

【ラディンギンガン町】

ラディンギンガン町では、町政府がマルチングなどの土壌保全方法を含む展示圃場を 11 の協力農家に設置する活動を開始した。協力農家はプロジェクトが追加予算で同時に供与した雨

水タンクの設置バランガイに 1 農家ずつ配置されている。11 農家中、個人的な事情で継続が困難となった 1 農家を除く 10 の農家で展示圃場を良好な状態で維持管理しており、各農家が周辺農家への普及に努めている。よって、ラディンギンガン町では、約 91%が各バランガイにおいて流域管理に関連する活動を適用し、維持しているといえる。さらに、プロジェクトは町に対して、果樹の苗を生産する施設の設置を支援しており、今後苗が各バランガイに配布される予定である。

【ヒンゴーグ市】

ヒンゴーグ市では 11 の新たに選択されたバランガイと 5 つのパイロットバランガイに合計 18 の雨水タンクを設置した。これらのバランガイのバランガイ・キャプテンや代表者に対して小流域管理に関する講義を実施し、小規模流域管理のポスターや野菜の種を受益者に配布し、流域管理に関する活動を促進している。しかし、新たに選択された 11 バランガイに対するその後のフォローアップはまだ実施されていない。一方、市政府は、流域管理活動の重要なコンポーネントである、アグロフォレストリーや森林保全活動を促進するために果樹の種苗生産施設を拡張している。また、ヤギの生産、ヤギの糞尿を利用したミミズ肥料に生産、ミミズ肥料を使用した野菜栽培、等高線栽培や河畔保全方法を使用した飼料の生産、といった総合的な農業システムに焦点をあて、ヤギの配布プログラムの設立を強化している。プロジェクトでは、これらの計画されている活動が選択されたバランガイで適用・継続されるようヒンゴーグ市と協力して、支援を行う予定である。9 月に活動計画を策定し 10 月 11 月に苗を配布することで、11 バランガイ中少なくとも 4、5 のバランガイでプロジェクト終了までに活動が適用・維持されることが期待されている。

３－３　プロジェクト目標の達成状況

プロジェクト目標：地方自治体、NGO、住民の連携により、パイロットバランガイにおける小流域管理が向上する。
指標： 小流域管理アクションプランが支援機関（LGU、NGO）との連携により、6 つ以上のパイロットバランガイにおいて実行される。

8 つのすべてのパイロットバランガイにおいて、バランガイ開発計画・年間投資計画・小流域管理アクションプランに記載されている小流域管理に関連する大部分の活動が、地方自治体や NGO の協力によって実行されている。よって、指標が達成されているといえる。

付属資料 3. 「合同評価報告書」の Annex11 に示すとおり、各バランガイで実施している活動の内容は各地の自然資源、地理、住民の趣向、住民組織の存在やその組織の成熟度などの状況によって異なる。また、それらの各活動の達成度についてもそれぞれのバランガイや活動によって異なっている。

プロジェクトでは、各パイロットバランガイで小流域管理アクションプランの計画立案と実施を推進し、実施のために必要な研修やセミナーを提供し、各バランガイに 30 万フィリピンペソ相当の材料を提供することで、バランガイレベルの流域管理活動の改善に取り組んできた。

活動は多岐にわたり短期間に多くの活動が実施されてきたが、各バランガイでの活動はまだ進展中である。

特に、自然資源管理に基づく小規模事業では、資金に限りがあるなかで、各バランガイでの資金の効果的な使途が大きな課題となった。検討の結果、資金は各受益者が返済するシステムを採用し、より多くの住民が事業を開始できるようにすることが決定された。しかし、パイロットバランガイでの小規模事業は開始してからまだ1年半またはそれ以下しか経っておらず、表－9に示すとおり受益者数はまだ限られている。自然資源管理活動については、植林などの活動がバランガイの大多数の住民の参加によって開始されたパイロットバランガイもあれば、活動への参加者は小規模事業の受益者に限られているパイロットバランガイもある。

表－9　受益者数・貸付及び返済金額

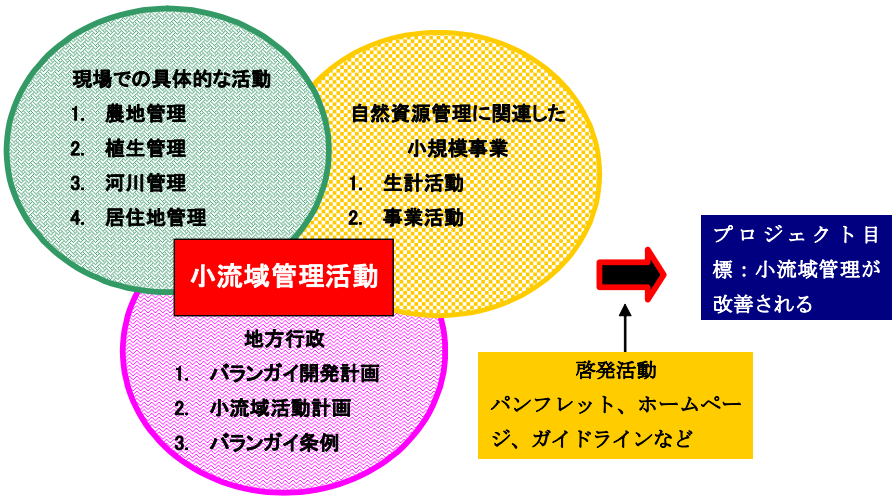
バランガイ（世帯数）	第1グループ		第2グループ	
	受益者数	返済額/貸付額	受益者数	返済額/貸付額
ティヌロンガン(83)	12	P33,000 / P289,900	0	
ムラリオン(217)	58	P 1,000 / P229,353.65	0	
バキ・バキ(115)	30	なし / P208,450.18	14	なし/ P82,605.38
キプントス(84)	30	P500 /P 136,500	(12)	第2グループ参加者は確定済
カラグノイ(122)	38	P1,000 / P129,220	(17)	第2グループ参加者は確定済
トゥラ(n.a.)	17	P15,600 / P72,643	27	なし/ P212,793
トゥガスノン(551)	29	P35,103.50 / P142,617.50	31	P1,000 / P198,606
スンガイ(464)	13	P11,900 / P93,927	19	なし/ P108,975

注：　返済額のなかには物による返済（苗、子豚、ミミズなど）は含まれていない。
出所：世帯数（各バランガイのバランガイ開発計画）、その他のデータ（2010 年 8 月までにプロジェクトが収集した情報）

３－４　上位目標の達成見込み

上位目標：地方自治体、NGO、住民の連携により、ミサミス・オリエンタル州の小流域・小規模流域管理が改善する。
指標： 小流域・小規模流域管理の活動がバランガイで継続され、小規模流域レベルにおいては地方自治体・NGO の支援が維持される。

小流域・小規模流域管理の活動は、図－2に示される概念を組み込んだ各種の活動であると考えられている。州内には地域住民による森林管理活動、自然資源保全、生計向上活動など、さまざまな類似した活動が実施されているものの、流域管理の概念の下で実施されている活動は、現時点ではプロジェクトのパイロットバランガイやアウトプット5の活動を開始した選択された市町・バランガイに限られている。



図－２　小流域管理活動概念図

３－５　実施プロセスにおける特記事項

(1)　管理・実施体制

中間レビュー以前は PPDO、ENRO、バライミンダナオ財団、日本人専門家が協議・意思決定を行うプロジェクト管理体制が十分に機能していない状況も見られたが、プロジェクト管理委員会（Project Management Committee：MANCOM）を毎月 1 回定期的に行うことで改善された。また、ヒンゴーグ市及びアルビヒッド町では実施者会合が 2 カ月に 1 度実施され、活動のスケジュールや実施レベルでの課題が協議された。

(2)　モニタリング

プロジェクト期間の後半では、活動量や種類が増えたことから、各パイロットバランガイでの達成状況のモニタリングが強化されてきた。プロジェクトでは、1）カウンターパートや市町職員カウンターパートが実施する「プロジェクト・モニタリング」、2）パイロットバランガイの住民による「小流域管理活動モニタリング」、の 2 種類のモニタリングが行われている。

1）については、プロジェクト活動の 3 つの主要分野であるガバナンス、自然資源管理、生計向上・小規模事業のそれぞれについて指標を設置し、達成度のモニタリングを行っている。2008 年 10 月から 2009 年 2 月にヒンゴーグ市で、2009 年 7 月にアルビヒッド町でベースラインとなるモニタリングが行われ、結果は分析され、各バランガイの達成状況を改善するための活動が計画された。エンドラインとなるモニタリングも既に実施され、現在結果を取りまとめている最中である。

2）については、パイロットバランガイの住民が自分達で活動の進捗状況を把握することを目的として開始された。モニタリングをとおして特定された課題を解決するためには、バランガイの住民に適切な指導を提供するために、市町職員の能力を強化することが必要となった。よって、プロジェクトはワークショップをとおして、市町職員のモニタリングにおけるバランガイの支援や、ミミズ肥料、切り花生産などの技術についてアドバイスや指導のためのツールを作成した。バランガイレベルでのモニタリングにはまだ脆弱な部分があり、

住民の参加を強化していく必要がある。

(3) コミュニケーション

プロジェクト実施者の間のコミュニケーションは良好に保たれている。特にプロジェクト期間の後半では、MANCOM や実施者会合が定期的に行われ、必要な情報が適切に関係者間（ヒンゴーグ市、アルビヒッド町の職員を含む）で共有された。

(4) 技術移転

本プロジェクトでは、1）バランガイの受益者に対する研修、2）市町職員への研修・セミナー、3）カウンターパートへの研修・セミナー、といった 3 種類の技術移転が実施された。

1）については、セミナーやワークショップ、現場での実地研修によって行われた。特に展示・実地研修が効果的であると参加者からの評判が高かった。2）と 3）については、プロジェクト期間後半からはカウンターパートの各グループ（市町職員を含む）の期待される役割や機能に応じて、主に OJT で能力強化が行われた。コンピュータや写真撮影などの一般的な業務能力の研修はカウンターパート全体に対して研修・セミナーが実施された。

(5) PDM の改訂

本プロジェクトの PDM 第 1 版は 2007 年 7 月の R/D の締結の際に策定され、この第 1 版を基にプロジェクトが開始された。第 2 年次の開始時にプロジェクトは PDM の見直しを行い、当時のプロジェクト環境に適切な数値目標を組み込むために指標が改訂され、2008 年 6 月に第 2 版が合意された。中間レビュー後、プロジェクト終了後の上位目標達成と自立発展性を考慮し、同時に 2009 年 8 月に支給された追加予算を活用する目的で、アウトプットと活動のスコープを拡大することが合意された。アウトプット 4 に「小規模流域」の視点が追加され、アウトプット 5 の「流域管理に関連する活動がミサミス・オリエンタル州内の選択された市町に導入される」が追加され、PDM は現行の第 3 版に改訂された。

(6) 中間レビューの提言へのフォローアップ

本プロジェクトの中間レビューでは、9 つの提言が提示された。プロジェクトは表－１０に示すフォローアップを実施した。

表－10　中間レビューの提言へのフォローアップ状況

提　言	フォローアップ活動の実施状況
1. プロジェクトのステークホルダーの間で共通の理解を形成するために、「小流域管理」の概念を再確認すると同時に、ポスター、紹介 DVD などの研修やアドボカシーのためのツールを作成し、概念を広く普及させる。	関係者間で概念の再確認が行われ、研修の内容や、付属資料 3.「合同評価報告書」の Annex13 に示すアドボカシー教材に反映された。教材は研修、会合、ワークショップ、セミナー等でバランガイの住民や市町職員、その他の関係者に発表されている。
2. パイロットバランガイ内において、弱い立場の住民も含めより多くの住民にプロジェクト活動を普及させるためのメカニズムを検討する必要がある。	受益者の人数を増やすために、以下のような取り組みが行われた。 1) アルビヒッド町では、既存の「農民から農民への研修」が活用され、土壌水資源保全研修が繰り返し行われたことで受益者が増加した。 2) 各バランガイでは限られた資金を活用するために、キャッシュもしくは物での返済のシステムが強化されてきた。野菜栽培、ミミズ肥料などの活動ではいくつかのバランガイでは既に返済が活用され第 2 グループの受益者の活動が開始している。
3. 成果 2 の指標について、成果を十分に達成するために、アセスメントの結果が期待よりも低かった原因を十分に分析し、必要な対処を行う。	能力強化の結果が適切に表せるように、研修や終了時テストの内容の見直しや分析が行われた。その後は、この改訂に基づいて研修が実施された。
4. プロジェクトはプロジェクト期間の後半に、カウンターパートに対し各役割や責任を実行するために必要な技術の研修を行う。	各関係者の期待される役割と能力強化の分野が明確にされ、2009 年 8 月に合意された。プロジェクト期間後半では、この役割・機能に基づいた能力強化が行われた。
5. 州政府は ENRO のカウンターパートに対して必要な予算の配置を保障し、ENRO はカウンターパートがプロジェクト活動に十分に従事するために必要な時間を確保することが望まれる。	プロジェクト期間の後半では、ENRO の職員はプロジェクトのその他の関係者とスケジュールの調整を良好に行い、より積極的にプロジェクト活動に参加するようになった。
6. プロジェクト・マネジメント会合（MANCOM）は定期的に実施し、メンバーの間でより多くの情報を共有することが望まれる。	プロジェクト期間後半は MANCOM の会合が毎月 1 回定期的に行われた。
7. プロジェクトの自立発展性を確保するために、州政府の主導によりミサミス・オリエンタル州の流域管理に関する方向性が関係者間で明確にされる必要がある。同時に、持続可能な小規模流域管理のためには、州政府から市・町へ、そしてバランガイへの支援体制を構築することが望まれる。	州政府の「5 カ年開発計画（2009～2013 年）」に流域管理の重要性が明確に記載された。また、複数のバランガイ間（市町レベル）の流域管理がアルビヒッド町で開始され、小規模流域管理の好例となった。しかし、小規模流域管理を他の地域に普及していくためには、管理体制や具体的な活動内容をより深く議論する必要がある。
8. 上述の支援体制が機能するためには、流域管理のために必要な運営･実施予算を配分することが望まれる。	「自立発展性」の項を参照のこと。
9. 本中間レビューの提言について検討し、必要に応じて現行の PDM、特に指標について見直すことを提言する。	アウトプット 2 の達成状況の測定を改善するために、指標 2.1 に見直しがなされた。また、アウトプット 4 が改訂され、アウトプット 5 が追加された。

第４章　評価結果

４－１　５項目評価

４－１－１　妥当性

本プロジェクトの妥当性は、対象地域のニーズ、フィリピンの開発計画、日本の援助計画の点から終了時評価時点でも維持されていることが確認された。また、本プロジェクトのアプローチの適切性も確認された。各視点の詳細は以下のとおりである。

(1) 対象地域や住民のニーズとの整合性

ミサミス・オリエンタル州では、山間地の住民における貧困や、小流域管理の知識・技術の不足から生じる環境破壊の問題は継続しており、土壌浸食や水資源の不足、水質の悪化などの原因となっている。近年、洪水や土砂崩れなどの自然災害が発生し、州や市町政府は流域管理への関心を高めている一方で、上流の破壊的な活動を削減するための代替手段としての生計向上策も重要となっている。また、パイロットバランガイでは自然資源管理に基づいた適切な農法で生産活動が行える傾斜地も、必要な知識・技術・資金の不足により活用されていない状況がみられている。

(2) 対象国政府の政策

適切な環境マネジメントと持続的開発、地域差と貧困の緩和、地方自治体（州・市・町・バランガイ）との連携による自然資源の保護などの観点から、プロジェクトはフィリピン政府の 2004～2010 年中期開発計画、第 10 地域の 2004～2010 年中期開発計画と整合している。流域管理については、既述のとおり、1991 年に制定された地方自治法により 1 万 ha 以下の流域は地方自治体の責任下にあることから、地方自治体の能力強化が重要となっている。一方、フィリピン政府は 2009 年から国家経済開発庁（National Economic and Development Authority : NEDA）をとおして、「災害リスク削減－気候変動への適応（Disaster Risk Reduction-Climate Change Adaptation : DRR-CCA）」の分野で地方自治体の計画立案や意思決定プロセスへの技術支援を開始している。災害リスク削減や気候変動対策の活動は、流域管理における活動との関連性が高い。

また、現在のミサミス・オリエンタル州政府は 2009 年～2013 年の 5 カ年開発計画〔five-year Development and Physical Framework Plan（2009～2013）〕を策定し、地理的なコンテクストで長期の自然資源管理を促進していくアプローチとして、流域管理を優先課題として扱っている。

(3) 日本の ODA 政策

2008 年に更新された対フィリピンの国別支援計画では、貧困削減は重点開発課題の 1 つとされており、貧困率が高い地域では、地方自治体の能力向上や、農業、教育、保健、自然災害からの生命の保護等、複数の分野を統合的に支援するセクター横断的な対応を試みることが必要であり、特に最貧困地域であり不安定な情勢が続くミンダナオ地域については、貧困削減や平和構築をめざした一層の支援が必要であると述べている。また、同計画は、地方自治体への支援及び地方自治体との連携強化、市民組織・NGO との連携強化は重

点開発課題へ貢献するアプローチであると述べている。これらのアプローチはプロジェクトのデザインと整合している。

(4) 手段としての適切性

持続的な小流域管理には、自然資源管理、生計向上の代替手段、開発計画に組み込まれた適切な流域管理活動アクションプランの策定など、複数のコンポーネントから構成されている。一般的にこれらのコンポーネントは別々に扱われることが多いが、プロジェクトでは流域管理の枠組みの下、小流域管理のモデルとしてこれらのコンポーネントを組み合わせて実施している。違法伐採などの自然資源の搾取は、生計向上のための代替手段の不足から生じており、また、流域は地方政府によって持続的に管理されていく必要があることから、プロジェクトのアプローチは妥当な取り組みであると考えられている。

４－１－２　有効性

プロジェクト目標の達成状況から、本プロジェクトの有効性は高いことが確認された。一方、小流域管理アクションプランの各活動は各パイロットバランガイでまだ実施途中であり、バランガイレベルでの活動には課題も残されていることから、今後も継続的な支援が必要となっている。

(1) プロジェクト目標の達成度

「３－３ プロジェクト目標の達成状況」で示したとおり、小流域管理アクションプランは自治体や NGO の協力により 8 つのパイロットバランガイすべてにおいて実施されていることから、プロジェクト目標は達成されているといえる。

一方、小流域管理アクションプランの各活動の達成度はそれぞれ異なっており、活動によっては最近開始したものや、まだ準備中の活動も含まれていることから、達成度を評価するのは時期尚早であるといえる。小流域管理アクションプランに記載されている各活動の持続性を強化するためには、市町職員による継続的な支援が必要となっている。

小流域管理の各活動の達成に貢献する要因として、以下の点が確認された。

- 計画策定段階のバランガイ開発評議会の参加は、プロジェクトのアプローチに正式な承認を与えるプロセスとして重要であった。
- 小流域管理の主要アクターとして、特に自然資源管理に基づく小規模事業において住民組織が活用・強化されてきたが、このことはバランガイでの活動において有効な出発点となった。プロジェクトによる支援を受け、住民組織は小規模事業の管理組織として成長した。住民組織は、小規模事業の計画・管理に従事することで、会員の利益につながり、同時に彼ら自身が小規模流域管理の下で持続的に地域の経済開発に貢献する媒体となった。
- アルビヒッド町では、農夫トレーナーチーム（Farmers Training Team：FTT）が土壌水資源保全研修において活用され、受講者の増加や等高線栽培の促進に役立った。

各活動実施において生じた課題として、以下の点が確認された。

・ 植林や等高線栽培などの自然資源管理活動には多くの一般住民の参加を得ているバランガイがある一方で、自然資源管理に基づく小規模事業に従事していない一般住民を植林などの非営利活動に参加するように促すことが困難なパイロットバランガイもある。
・ 小規模事業のための資金（物資）支援を受ける条件として、住民組織の会員となることが求められるバランガイでは、会費や組織の共有資金の負担が困難なため会員になれない住民がいるケースもある。
・ 小規模事業のなかには、切り花生産のように住民が事業実施において技術的な問題を訴えるケースがあり、更なる技術支援が求められている。プロジェクトでは、将来の計画策定に活用するために、それぞれの小規模事業のケース・スタディや教訓を取りまとめている。
・ プロジェクトは、返済率を上げるよう住民組織を説得することにかなりの労力を費やしている。住民組織が策定した方針に従って返済するように説得を続けるとともに、方針の修正なども指導しているが、返済を困難とする住民が多く存在している。一方、終了時評価調査の聞き取り調査では、返済システムは受益者拡大のための有効な方法であり、生産物から利益を得ることができるため返済は思っていたほど困難ではなかったという意見も受益者のなかから確認された。
・ 土地を所有していない住民や雇われ農業労働に従事する住民にとっては、自然資源管理活動を取り入れることが困難となっている。
・ ヤギ関節炎脳炎ウイルス（Caprine Arthritis Encephalitis：CAE）やエルニーニョなどの予期しなかった出来事によって実施の遅れが生じた。
・ 意思決定のプロセスへの住民参加がまだ限られているバランガイがある。
・ 小規模事業や住民組織の意思決定への女性の参加が少ないバランガイがある。

(2) アウトプットとプロジェクト目標の因果関係

バランガイレベルで適切な小流域管理を実施するためには、適切な計画の策定（アウトプット 1）、関連する活動の実施に必要な技術のバランガイ住民に対する研修（アウトプット 2）、バランガイに効果的な支援を提供するための自治体や NGO の能力強化（アウトプット 3）がそれぞれ必要であり、プロジェクト目標は PDM に示された 3 つのアウトプット（アウトプット 1、2、3）の結果として達成されたといえる。PDM にも示されているように、アウトプット 4 や 5 はプロジェクト目標と直接的な因果関係はないが、アルビヒッド町で実施されているように小流域管理は小規模流域管理との調整の下で協調して行われることが理想であることから、間接的にプロジェクト目標の達成に貢献しているといえる。

プロジェクト目標の達成のための外部要因として PDM に挙げられている「研修を受けた地方政府やバライミンダナオ財団の職員が同じ事務所/部署で継続して勤務する」については、バライミンダナオ財団では職員の配置転換によるカウンターパートの変更があったものの、今まで職員の退職は発生していない。

４－１－３　効率性

プロジェクトは限られた投入をおおむね効率的に活用し、短期間でさまざまな活動を実施してきた。一方、以下に詳細を述べるように、効率的な活動実施に影響を与える課題がいくつか

確認された。アウトプットの達成度については、特にアウトプット 4、5 の達成をめざして残りのプロジェクト期間に活動を強化する必要がある。

(1) アウトプットの達成度

アウトプット 1 は期待された成果を達成している。アウトプット 2 は、自然資源管理活動についての達成度は高いものの、いくつかの自然資源管理に基づいた小規模事業の知識については十分でないケースがあった。アウトプット 3 は、PDM の指標に基づいた各アクターの達成度のアセスメントに問題があったが、一般的にカウンターパートは小流域管理や参加型計画に関する経験や知識を習得したことが確認された。アウトプット 4 は、アルビヒッド町では達成されたものの、ヒンゴーグ市では小規模流域アクションプランの作成のための啓発にまだ時間が必要な状況であった。アウトプット 5 についても、プロジェクト期間中に達成されるよう活動が継続されることが期待されている。

(2) アウトプットの達成に影響を与えた要因

【貢献要因】

- 近年、対象地域で自然災害や気候変動が観察されていることから、関係者の流域管理に対する意識が向上している。
- 各バランガイで投入された限られた資金を、返済システムを活用することで効果的に活用している。
- ヒンゴーグ市、アルビヒッド町の両市町政府はプロジェクト期間をとおしてプロジェクト活動に協力的であった。
- アルビヒッド町では、政府のイニシアティブで 3 つのパイロットバランガイ以外の 11 のバランガイにおけるバランガイ開発計画の策定や、小規模流域アクションプランの作成が行われた。

【活動の実施における課題や実施を阻害した要因】

- キャパシティ・ディベロップメントにおける達成目標や達成度のアセスメントの方法が当初から明確に決められておらず、アセスメントの結果はフォローアップの活動に十分に活用されなかった。
- 自然資源管理に基づく小規模事業への投入について返済システムを取り入れたが、プロジェクト開始当初にはそれが決定されていなかった。活動が開始された後に返済システムを導入したため、バランガイの住民の間で混乱が生じた。
- 短期間に各バランガイで多くの研修/セミナーやプロジェクト活動が実施されたため、住民のなかには時間を調整して多くの活動に参加することが困難なケースもあった。
- 市町職員カウンターパートは、パイロットバランガイへのアクセスや交通手段に問題があり、特に個別の訪問が必要な自然資源管理に基づく小規模事業のモニタリングの実施は困難だった。

(3) アウトプットと活動の因果関係

プロジェクトは多種多様なプロジェクト活動を実施しており、これらの活動の結果が直接アウトプットの達成度に貢献している。

アウトプットの達成のための外部要因として PDM に示されている「パイロットバランガイのバランガイ政府や住民がプロジェクトに対して反対を示さない」については、パイロットバランガイでの反対は観察されていない。

(4) 投入のタイミング、質、量

中間レビュー時には、プロジェクト車両の登録の遅れ、バランガイの管理責任体制の変更による自然資源管理に基づく小規模事業への投入の遅れ、ヤギ関節炎脳炎ウイルス(CAE)の蔓延による投入の遅れなどが指摘された。中間レビュー後は大部分の投入が効率的にプロジェクト活動で活用されてきたが、下記のような困難も生じた。

- プロジェクトが購入した苗について、購入のタイミングが若干ずれたこと、エルニーニョの影響で天候が植林に適さなかったこと、苗の質が長い期間の保存に耐えうるものではなかったこと、といった複数の理由が重なったことで無駄になったケースがあった。
- 選択されたバランガイに設置された雨水タンクのなかには水漏れの問題が生じているものがある。まだ供給業者の担保期間内であるため、業者による確認・修理が実施されている。
- 2009 年 8 月の PDM 改定後、活動の種類や量が大幅に増加した。それにより専門家の投入量の見直しも行われたが、専門家の配置は業務量に対応するためには不十分であったと専門家自身から指摘されている。

４－１－４　インパクト

プロジェクトによって発展した小流域管理の各コンポーネントが普及されることにより、上位目標はある程度の達成可能性が確認された。また、パイロットバランガイでは下記のようなさまざまな正のインパクトが確認されている。

(1) 上位目標の達成見込み

「３－４　上位目標の達成見込み」で述べたとおり、プロジェクトが活動を行ってきた地域以外では、流域管理の概念による活動はまだ普及されていないと考えられる。しかし、次のことを考慮すると、上位目標のある程度の達成を期待することができる。

- 州の 5 カ年開発計画には流域管理の重要性が明確に述べられている。
- PPDO と ENRO は、それぞれの業務範囲に基づき、年間投資計画のなかに流域管理に関する活動を含めており、2011 年の予算として州内で保全農法の条例執行を促進するための活動予算が申請されている。
- PPDO はバランガイ開発計画策定（プロジェクトの推進している改訂版のプロセス）の普及ワークショップやアドボカシーを、市町の計画担当職員に対して実施しており、講師育成のための研修も計画している。
- ヒンゴーグ市やアルビヒッド町の政府では既に政府のイニシアティブで流域管理活動を実施している。今後も継続していく意思があり、予算確保を試みている。

(2) プロジェクト目標と上位目標の因果関係

プロジェクトがアルビヒッド町やヒンゴーグ市で発展させた小流域管理のパッケージ

（モデル）は、市町自治体の予算に限りがあることや縦割り体制のなかでの調整能力を考慮すると、そのままの形で普及していくことは困難であると考えられる。しかし、上述のように、土壌水資源保全農法の州条例の執行や、バランガイ開発計画策定の普及・アドボカシーワークショップなど、各コンポーネントが異なるアプローチで促進される計画である。小規模流域管理については、アルビヒッド町の REPRAP が好例となったものの、管理体制や必要な活動内容などは今後十分に検討していく必要があると考えられている。

上位目標の達成に向けた外部要因として PDM に記載されている「州や市町の流域管理に関連する開発計画や年間投資計画がその他のセクターや課題に振り分けられない」については、現在はそのような動向は確認されていない。実際は、流域管理のための予算はまだ十分に確保されていないケースがほとんどであり、各自治体が予算を割り当てるように啓発していくことが必要とされている。

(3) プロジェクトの波及効果

【正のインパクト】

- 自然資源管理に基づく小規模事業に従事する住民のなかには既に生計を向上している住民が増加してきている。特にミミズ肥料により野菜を栽培することによる利益と市販の肥料購入の必要がなくなったことによる支出の減少、養鶏や養豚からの収益による生計向上が確認された。
- 等高線栽培や自然植生帯（natural vegetative strip）を活用した農法など、土壌や水資源の保全を実施する農家が増加している。
- 住民組織の非会員についてはまだ意識が低いパイロットバランガイもあるものの、パイロットバランガイのより多くの住民が自然資源や流域の保全に対する意識を高めている。
- 個人の自然資源に基づく小規模事業を開始するための資金（物資）が提供されることに刺激され、パイロットバランガイの住民（いくつかのバランガイでは特に女性）が積極的に活動に参加するようになった。
- パイロットバランガイのなかには、活動開始当初に植林を行った土地で侵食が軽減された状況が既に住民により確認されているケースがある。
- 等高線栽培が利用されるようになり、使われていなかった土地が生産活動に利用されるようになった。
- パイロットバランガイでは樹木の伐採が減少していることが観察されている。

【負のインパクト】

終了時評価調査では負のインパクトは確認されなかった。

４－１－５　自立発展性

政策面での支援体制は整ってきている。また、各ステークホルダーはそれぞれの業務範囲や予算に基づいて流域管理に関連する活動を継続していくことが期待できる。

(1) 政策・制度面

【州政府】

既述のとおり、州政府は 5 カ年開発計画に流域管理と環境問題について重要性を明確に示している。また、条例第 1148-2009 号「ミサミス・オリエンタル州の丘陵地・傾斜地で農業活動を行う農家、農業労働者、土地・プランテーション所有者の保全農法の適用」が 2009 年 8 月に策定された。

【市町政府】

プロジェクトの対象の 2 市町は流域管理の実施に協力的である。

- アルビヒッド町では、政府のイニシアティブにより 12 のパイロット以外のバランガイでバランガイ開発計画が策定され、流域管理は複数のバランガイ間の活動に拡大されている。またプロジェクトへの支援以外でも、植林のための苗の生産を行っている。
- ヒンゴーグ市では、政府は流域管理の意識が高く、プロジェクト以外にも流域管理を促進する活動が実施されている。

さらに、州・市町・バランガイの各レベルでプロジェクトの活動を促進するような条例が可決されており、自立発展性の向上に貢献している。

(2) 組織・財政面

【パイロットバランガイや対象市町での活動の継続について】

- アルビヒッド町では現行政府の下、農業サービス事務所（OAS）が流域管理関連の活動を担当している。町の農業担当官によると、パイロットバランガイや REPRAP の活動に対する技術支援を継続していくことに問題はない。しかし、主な予算はバランガイ全体に配布するには足らない程度の苗の生産に限られているとのことである。
- ヒンゴーグ市では、環境・自然資源ユニット（ENRU）が農業事務所、獣医事務所、計画開発事務所などとの調整役を果たし、パイロットバランガイへの支援を提供している。プロジェクト活動をとおして事務所間の連携は改善された。プロジェクト終了後もそれぞれの事務所やユニットの職務範囲に基づき、割り当てられた予算を活用し、技術支援を継続する予定である。さらに、自然資源管理に基づくいくつかの活動の予算が承認され、実施が予定されている。これらの活動には、ヤギ配布プロジェクトの拡大も含まれている。ヤギの配布が増加することで、土壌保全技術を効果的に活用した飼料の栽培活動も促進することとなる。新たに選択されたバランガイでは、アウトプット 4、5 の達成度で示したとおり、将来的な活動展開はまだ明確になっていない。
- ラディンギンガン町では、農業事務所をとおしてプロジェクトが設置した展示農場への技術支援を継続する一方で、2011 年には新たな展示農場の設置を計画している。
- バライミンダナオ財団は、プロジェクト終了後も同じバランガイでの支援を継続する方針を明示しているが、その方針に変更はなく、ヒンゴーグ市の 5 つのパイロットバランガイでの支援は、特に財団の主な活動分野であるコミュニティ・エンパワメントや生計向上において、今後も継続されることが期待できる。

【市町自治体に対する州レベルの支援】

市町での小流域・小規模流域管理の導入は各自治体のイニシアティブに大きく左右されるものの、PPDO や ENRO では市町自治体に対するアドボカシーを次のようなアプローチで実施していく予定である。

- PPDO のカウンターパートは、バランガイ開発計画策定について市町レベルの計画担当職員に対する研修を実施するための能力を習得している。既に全市町を対象としたバランガイ開発計画策定の情報共有ワークショップが実施され、プロジェクト終了前にもう一度、セミナー・研修を実施する予定である。さらに、バランガイレベルのガバナンス強化を支援する内務自治省（Department of Interior & Local Government : DILG）と調整を行い、小流域管理の概念が組み込まれたバランガイ開発計画策定のプロセスが州内で広く活用されるように努めている。また、PPDO は、世界銀行が実施するミンダナオ農村開発プログラムの実施機関である州農業事務所など、その他の協力者との連携を模索している。同プログラムに参加するバランガイの条件として、バランガイ開発計画を策定することが挙げられているため、PPDO はプロジェクトで活用している策定方法をその際に活用するように促進している。
- ENRO は上述の州条例第 1148-2009 号の施行担当事務所の 1 つであり、①土壌・水資源保全の IEC アドボカシー、②等高線栽培の技術研修、③等高線栽培の資材の提供、といった活動を 2011 年に 24 のバランガイで実施することを計画しており、予算計画を提出している。さらに、ENRO の職員は各市町自治体が条例の施行のための予算を確保するように、州内 24 の市町の協議会を訪問し、プロジェクトの IEC 教材を活用したアドボカシー活動を実施する計画である。
- これらの活動を困難にする要因として、州政府の旅費・交通費の制限がある。州政府の規定では 1 日 150 フィリンピペソ、1 カ月 600 フィリピンペソまでが上限であり、カウンターパートもその条件下で活動せざるを得ない状況である。

(3) 技術面

【カウンターパート】

各カウンターパートはアウトプット 3 の達成状況で示したとおり、各役割を果たすための能力強化がおおむね完了している。カウンターパートの業務を補助するために、プロジェクト期間の後半では活動に利用する IEC 教材が整備された。

【バランガイの住民】

いくつかの技術については支援がさらに必要とされているものの、プロジェクトが導入した大部分の技術や知識はバランガイの住民に受け入れられている。アルビヒッド町のパイロットバランガイにおける農夫トレーナーチームによる研修の実施は、技術普及の自立発展性に貢献したといえる。また、ラディンギンガン町で行われた展示圃場の設置は、周辺の農家への自然資源管理に基づく農法の普及における好例となっている。

４－２　結　論

本プロジェクトでは、関係者の尽力により多くの分量や種類にわたる活動が実施された。自治

体、NGO、コミュニティの連携によりパイロットバランガイの小流域管理を改善するというプロジェクト目標は、アクションプランの各活動の達成状況はバランガイによって異なっているものの、8 つすべてのパイロットバランガイで小流域管理アクションプランが実行されていることから、達成されたことが確認された。妥当性は、終了時評価時点においても引き続き高く、プロジェクト目標の達成から有効性も高いことが確認された。効率性については、実施過程においては効率性に影響を及ぼす課題もあったが、プロジェクトは限られた投入をおおむね効率的に活用した。インパクトについては、プロジェクトの小流域管理のコンポーネントがそれぞれ普及されていくことから、ある程度の達成が期待できる。また、パイロットバランガイでは生計の向上、意識の向上、伐採の減少等の正のインパクトが確認された。最後に自立発展性では、各ステークホルダーがそれぞれの職務範囲や予算の下で流域管理に関連する活動が継続されることが期待できる。小規模流域レベルの管理については、本プロジェクトが小流域レベルに焦点をあてたプロジェクトであり、アルビヒッド町での一例では枠組みや管理体制の整理が十分ではないことから、今後明確な展望を検討することが必要となっている。

以上の調査結果を総合的に判断し、本プロジェクトは予定どおり終了することができると考えられる。

以下の提言を考慮しつつ、プロジェクトは残りのプロジェクト期間でまだ達成されていないアウトプットの達成に向けて活動に取り組むこと、また対象自治体は上位目標の達成に向けてプロジェクト終了後も活動を継続することが期待される。

第５章　提言と教訓

５－１　提　言

【プロジェクト期間内】

・ 既に実施した研修のなかで、成果 2 においてテスト結果が良好でなかったトピックや支援ニーズの高いトピックについてはフォローアップを実施することが望まれる。
・ 成果 4 や 5 でまだ達成されていない課題については、ヒンゴーグ市との協力の下、できる限り達成できるように努める必要がある。
・ これまでの各パイロットバランガイや対象市町での経験を整理し、関係者間で共有することで、今後の計画立案に活用することができる。
・ 作成された IEC 教材やマニュアルは戦略的に配布し、同時に活用方法の指導を行うことで、効果的な活用をめざすことが肝要である。

【プロジェクト期間終了後】

・ 各関係者は職務範囲の下でプロジェクト活動を継続する一方で、各機関が連携して効率的な活動を行うことも重要である。
・ 活動の継続性を担保するために、職員の活動に必要な経費（交通費、旅費等を含む）を確保することが望まれる。

５－２　教　訓

・ キャパシティ・ディベロップメントの計画においては、達成目標や達成度の測定方法を明確にしておく必要がある。また、測定の結果はその後のフォローアップに活用されるべきである。
・ バランガイレベルの活動に入る前には、活動のポリシーを明確にし、住民の混乱を防ぐことが望まれる。
・ バランガイレベルでの技術や知識の普及において、実地研修、農民から農民への研修（Farmers to Farmers Training）、展示圃場などが有効であった。
・ 対象となるグループの成熟度を高め、社会的弱者を巻き込むためには、社会的準備（Social Preparation）、組織強化、意識向上などがコミュニティ・レベルでの活動においては重要である。十分な準備が整っていない場合には、コミュニティ・レベルの活動展開においては試行錯誤とならざるを得ない。
・ 活動の自立発展性を確保するためには、各人材の強化に併せて、組織強化を考慮する必要がある。

５－３　今後の支援の方向性

PPDO から「小規模流域管理」に焦点を拡大した第 2 フェーズのプロポーザルが提出されている。終了時評価の結果、以下の事項が確認された。

・ 次のステップとして「小流域」から「小規模流域」へとフォーカスを拡大することは妥当である。
・ アルビヒッド町で小流域管理の一例となる活動が開始された。しかし、小流域レベルでの管理体制や活動内容などの枠組みについては検討すべき課題が多く残っている。

・ JICA の支援として効果的な内容としては、小規模流域管理の制度・枠組み設立の支援、小規模流域管理に係る技術的支援が考えられる。
・ そのような支援は単に今までの活動の継続のための資金的な支援とは異なる。これらに配慮したうえで、今後もミサミス・オリエンタル州政府側 JICA 側双方でプロジェクトのコンセプトや枠組みについて検討し、適切なプロジェクト・デザインを形成する必要がある。

付　属　資　料

１．調査日程

２．主要面談者

３．ミニッツ及び合同評価報告書

４．評価グリッド

５．質問票

１．調査日程

No.	日付		活動日程			
			永石	大橋	嶋影／Parrenas	Maquiling
1	8/10	火		大橋マニラ到着(JL 741：ETA 13:05) (PM) JICA 打合せ、在フィリピン日本国大使館表敬		
2	8/11	水		(AM) カガヤンデオロへ移動 (PM) 専門家聞き取り調査		
3	8/12	木		(AM) ENRO Sescon 氏聞き取り調査 合同評価打合せ (PM) PPDO カウンターパート聞き取り調査 嶋影マニラへ移動		
4	8/13	金		(AM) ENRO カウンターパート聞き取り調査 (PM) バライミンダナオ財団カウンターパート聞き取り調査		(AM) ENRO カウンターパート聞き取り調査 (PM) バライミンダナオ財団カウンターパート聞き取り調査
5	8/14	土		報告書作成		
6	8/15	日		(AM) 報告書作成 (PM) ヒンゴーグ市へ移動		(PM) ヒンゴーグ市へ移動
7	8/16	月		(AM) ムラリオン FGD (PM) ティヌロンガン FGD		(AM) ムラリオン FGD (PM) ティヌロンガン FGD
8	8/17	火		(AM) ヒンゴーグ市長表敬 キプントス FDG (PM) ヒンゴーグ市職員聞き取り調査（環境自然資源ユニット、農業事務所、計画開発事務所、獣医事務所）		(AM) ヒンゴーグ市長表敬 キプントス FDG (PM) ヒンゴーグ市職員聞き取り調査（環境自然資源ユニット、農業事務所、計画開発事務所、獣医事務所）
9	8/18	水		(AM) アルビヒッド町へ移動(PM) トゥガスノン FGD		(AM) アルビヒッド町へ移動 (PM) トゥガスノン FGD
10	8/19	木		(AM) スンガイ FGD (PM) アルビヒッド町職員聞き取り調査		
11	8/20	金		(AM) ラディンギンガン町協力農家聞き取り調査（シナイ、ラパッド村） (PM) ラディンギンガン町職員聞き取り調査		
12	8/21	土		報告書作成		
13	8/22	日		報告書作成		
14	8/23	月		報告書作成		
15	8/24	火	専門家・プロジェクト関係者・評価委員協議 永石/嶋影カガヤンデオロへ移動(PR 183: ETD 9:45)			
16	8/25	水	合同調整委員会準備			
17	8/26	木	(AM) 合同調整委員会 10:00-13:00 (PM) 日本側評価委員マニラへ移動(PR 284: 17:10-18:35)			
18	8/27	金	(AM) JICA フィリピン事務所、在フィリピン日本国大使館報告 (PM) 大橋日本へ移動 (JL 742: ESD 14:25)			

２．主要面談者

【PPDO カウンターパート】

Cynthia S. Viajar-Abanil	Project Manager, Officer in charge
Judith N. Casińo	Project Development officer I
Melitona A. Abrea	Technical Assistant, Economic/Environment

【ENRO カウンターパート】

Conrado T. Sescon	Officer in charge
Arlene S. Porticos	Community Development Officer I
Arnold D. Cotapte	Agricultural Technician II
Erma R. Mabelin	Community Development Assistant I

【バライミンダナオ財団カウンターパート】

Richard Rejas	Team Leader/Supervisor
Beny Cumatang	Community Organizer
Susano Balais III	Community Organizer
Fleurabelle Torres	Community Organizer
George Castillon	Community Organizer
Jenette Hayahay	Community Organizer

【ヒンゴーグ市職員】

Ruth L. Guingona	City Mayor
Richard Miraflores	Environment and Natural Resource Unit
Marlene Fuentes	Environment and Natural Resource Unit
Vesing Nanay	Environment and Natural Resource Unit
Levie Gabia	Environment and Natural Resource Unit
Avelino Sepnio	Environment and Natural Resource Unit
Eddie Sanchez	City Agricultural Office
Merlina Berdilao	City Agricultural Office
Chito Jao	City Planning and Development Office
Stella King	City Planning and Development Office
Engr. Lemuel Remegoso	City Planning and Development Office
Al Gonzales	City Veterinary Office
Cris Cruz	City Veterinary Office

【アルビヒッド町職員】

Gerardo Uy	Municipal Agriculture Officer, Office of Agricultural Service
Wilfredo Uy	Agricultural Technician, Office of Agricultural Service
Nellie Dapanas	Agricultural Technician, Office of Agricultural Service
Lonie Marikit	Agricultural Technician, Office of Agricultural Service
Gecil Macalaguing	Staff, Municipal Planning and Development Office
Elna Cabrera	Staff, Municipal Planning and Development Office

【ラディンギンガン町職員】

Samuel Ramos	Municipal Agriculture Office
Jennie Amay	Municipal Agriculture Office

MINUTES OF MEETING BETWEEN THE TERMINAL EVALUATION TEAM AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT FOR PROJECT ON ENHANCEMENT OF LOCAL GOVERNANCE AND COMMUNITY EMPOWERMENT IN MICRO-WATERSHEDS IN MISAMIS ORIENTAL

The Japanese Terminal Evaluation Team (hereinafter referred to as "the Team"), organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") headed by Mr. Masafumi Nagaishi, visited the Republic of the Philippines (hereinafter referred to as "the Philippines") from ~~April 19~~ August 10 to ~~May 5,~~ August 26 2010, for the purpose of conducting the evaluation concerning the Japanese Technical Cooperation Project for "Project on Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Micro-Watersheds in Misamis Oriental" (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Philippines, the Team had a series of discussions with the Provincial Planning and Development Office, Environment and Natural Resources Office, and Balay Mindanao Foundation Incorporated and exchanged views on the achievement of the Project to fulfill the Record of Discussions signed on July 2, 2007.

Based on these discussions, the evaluation was jointly conducted and recommendations were made by the Philippine and Japanese sides. The evaluation report was developed as attached hereto. The result of the evaluation was presented to the Joint Coordination Committee (hereinafter referred to as "JCC") on August 26, 2010.

Cagayan de Oro City, August 26, 2010

Mr. Masafumi Nagaishi Senior Representative Japan International Cooperation Agency Philippine Office	Hon. Oscar S. Moreno Governor Province of Misamis Oriental Republic of the Philippines

JOINT EVALUATION REPORT
(TERMINAL EVALUATION)

PROJECT ON ENHANCEMENT OF LOCAL GOVERNANCE AND COMMUNITY EMPOWERMENT IN MICRO-WATERSHEDS IN MISAMIS ORIENTAL

Cagayan de Oro City, August 26, 2010

Mr. Masafumi Nagaishi
Team Leader (Japanese Team)
Senior Representative
Japan International Cooperation Agency
Philippines Office

Ms. Elsa M. Maquiling
Representative (Philippines Side)
Senior Economic Development Specialist
Project Monitoring and Evaluation Division
National Economic and Development Authority, Region 10

Contents

Abbreviations 3
1. Outline of the Terminal Evaluation 4
1-1. Background of the Terminal Evaluation 4
1-2. Objectives of the Terminal Evaluation 4
1-3. Methodology of the Terminal Evaluation 4
1-4. Members of the Joint Evaluation 6
1-5. Schedule of the Evaluation Study 6
2. Outline of the Project 7
2-1. Background of the Project 7
2-2. Summary of the Project 8
3. Achievement and Implementation Process 10
3-1. Achievement of the Project 10
3-1-1. Inputs 10
3-1-2. Activities 11
3-1-3. Outputs 13
3-1-4. Project Purpose 21
3-1-5. Overall Goal 22
3-2. Implementation Process 23
4. Results of the Evaluation 26
4-1. Evaluation by Five Criteria 26
4-1-1. Relevance 26
4-1-2. Effectiveness 28
4-1-3. Efficiency 30
4-1-4. Impact 32
4-1-5. Sustainability 33
4-2. Conclusion 36
5. Recommendations 37
5-1. Recommendations 37
5-2. Lessons Learned 37
5-3. Future Directions 38

Annex

1. PDM version 3
2. Plan of Operation

3. Evaluation Grid
4. List of Japanese Experts
5. List of Procured Equipment
6. List of Project Local Cost Born by Japanese Side
7. List of Counterpart Trainings in Japan
8. List of Counterpart Personnel
9. List of Project Cost Born by Philippine Side
10. Trainings, Seminars and Workshops Provided by the Project
11. NRM Activities and NRM-based Enterprises in Pilot Barangays
12. Micro-watershed Management Activities in the Other Selected Barangays, Cities and Municipalities
13. Reports and Outputs prepared by the Project

Abbreviations

ABC	Association of Barangay Captains
AIP	Annual Investment Plan
BDP	Barangay Development Plan
BMFI	Balay Mindanaw Foundation, Inc.
CAE	Caprine Arthritis Encephalitis
CBFM	Community Based Forestry Management
DRR-CCA	Disaster Risk Reduction – Climate Change Adaptation
DILG	Department of Interior & Local Government
ENRO	Provincial Environmental and Natural Resources Office
GIS	Geographic Information System
IEC	Information, Education, Communication
JCC	Joint Coordinating Committee
JFY	Japanese Fiscal Year
JICA	Japan International Cooperation Agency
LGU	Local Government Unit
MANCOM	Project Management Committee
MMAP	Micro-watershed Management Action Plan
MTPDP	Medium-Term Philippine Development Plan
NEDA	National Economic and Development Authority
NGO	Non-Governmental Organization
NRM	Natural Resource Management
NVS	Natural Vegetative Strip
OAS	Office of Agricultural Services
ODA	Official Development Assistance
OVI	Objectively Verifiable Indicators
PDM	Project Design Matrix
Php	Philippine Peso
PO	People's Organization
PPDO	Provincial Planning and Development Office
R/D	Record of Discussions
REPRAP	Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project
SWC	Soil and Water Conservation

1. Outline of the Terminal Evaluation

1-1. Background of the Terminal Evaluation

The technical cooperation project of the Japan International Cooperation Agency (hereafter referred to as "JICA") entitled as The Project on Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Micro-Watersheds in Misamis Oriental (hereafter referred to as "the Project") was started in January 2008, with a purpose of improving the micro-watershed management at barangay level with collaboration of Local Government Units (LGUs), Non-Government Organizations (NGOs) and communities in the Province of Misamis Oriental. The Project has been implemented with the period of three years, under the coordination of the Province of Misamis Oriental, through the Provincial Planning and Development Office (PPDO) and the Provincial Environmental and Natural Resources Office (ENRO), Balay Mindanaw Foundation, Inc. (BMFI) and JICA.

As it is approaching toward the end of the project implementation period, the Terminal Evaluation Team, which consists of both Japanese and Philippine sides, was formed in accordance with the JICA Evaluation Guideline, for the purpose of reviewing the level of achievements and analyzing the Project as a whole based on the five criteria of the Evaluation.

1-2. Objectives of the Terminal Evaluation

The objectives of the Terminal Evaluation are;

1) To assess the achievements of the Project;
2) To evaluate the Project using the five evaluation criteria, namely relevance, effectiveness, efficiency, impact and sustainability;
3) To identify remaining issues which are required to be accomplished both in the rest of project period and after the project period, discuss the issues among stakeholders, and make the recommendations;
4) To extract lessons learnt which can be utilized for similar project in the future; and
5) To report results of the Evaluation to both Japanese and Philippine Governments and people.

1-3. Methodology of the Terminal Evaluation

In the Terminal Evaluation, the aspects shown in the Table 1 were examined based on the current Project Design Matrix (PDM) version 3 which was revised in August 2009.

Table 1: Aspects of the Review

Verification of Performance (achievement)		The verification of level of achievement in terms of following points; • Is input implemented as planned? (compare with planned values) • Is output produced as planned? (compare with targets) • Are there prospects that the project objective will be achieved? (compare with targets)
Verification of Implementation Process		The verification of realized activities during the project period so far, if the project activities have been implemented as planned, as well as other aspects regarding the implementation process, such as; the method for technology transfer, the project management system, the recognition in the implementing agency and counterpart toward the Project, the participation of target groups, and so on.
Five (5) Criteria	**Relevance**	A criterion for considering the validity and necessity of a project regarding whether the expected effects of a project (or project purpose and overall goal) meet with the needs of target beneficiaries; whether a project intervention is appropriate as a solution for problems concerned; whether the contents of a project is consistent with policies; whether project strategies and approaches are relevant, and whether a project is justified to be implemented with public funds of Official Development Assistance (ODA).
	Effectiveness	A criterion for considering whether the implementation of project has benefited (or will benefit) the intended beneficiaries or the target society.
	Efficiency	A criterion for considering how economic resource/inputs are converted to results. The main focus is on the relationship between project cost and effects.
	Impact	A criterion for considering the effects of the project with an eye on the longer term effects including direct or indirect, positive or negative, intended or unintended.
	Sustainability	A criterion for considering whether produced effects continue after the termination of the assistance.

Source: JICA Guideline for Project Evaluation (September 2004)

The Evaluation Study was conducted following the process shown below:

Step 1: Prepare the Evaluation Grid and agree on the design of the Review.

Step 2: Collect information necessary for the Evaluation through the document review, questionnaires and interview to the stakeholders involved in the Project.

Step 3: Assess the Project's achievement in reference to the PDM version 3, and compare the actual status of inputs with those specified in the Record of Discussions (R/D).

Step 4: Analyze the factors that promoted or inhibited the achievement of the Project, including factors relating to both the project design and the project implementation process.

Step 5: Analyze the Project as a whole based on the five evaluation criteria.

Step 6: Extract recommendations and lessons learned from the analysis.

Step 7: Share the preliminary results with stakeholders. Contents of the discussions are reflected in the recommendations.

Step 8: Agree on the results of the Evaluation by both Philippine and Japanese stakeholders.

1-4. Members of the Joint Evaluation

The Terminal Evaluation was jointly conducted by Japanese side and Philippine authorities concerned.

Japanese Side

Name	Title	Position, Organization
Mr. Masafumi Nagaishi	Team Leader	Senior Representative, JICA Philippine Office
Ms. Mayuko Shimakage	Cooperation Planning	Project Formulation Adviser, JICA Philippine Office
Ms Yuki Ohashi	Evaluation Analysis	Consultant, Tekizaitekisho LLC
Ms. Martha Parrenas	Cooperation Planning 2	Project Assistant, JICA Philippines Office

Philippine Side

Name	Title	Position, Organization
Ms. Elsa M. Maquiling	Representative	Senior Economic and Development Specialist, NEDA 10

1-5. Schedule of the Evaluation Study

The Evaluation Study was conducted in the schedule shown below.

Day	Date		Activities			
			Nagaishi	Ohashi	Shimakage/ Parrenas	Maquiling
1	8/10	tue		Ohashi Arrive to Manila (JL 741 : ETA 13:05) (PM) Meeting with JICA, EOJ		
2	8/11	wed		(AM) Travel to Cagayan de Oro (PM) Interview with Experts		
3	8/12	thu		(AM) Interview with Mr. Sescon (ENRO) Joint Evaluation Meeting (PM) Interview with PPDO Counterparts Shimakage Travel to Manila		
4	8/13	fri		(AM) Interview with ENRO counterparts (PM) Interview with BMFI counterparts		(AM) Interview with ENRO counterparts (PM) Interview with BMFI counterparts
5	8/14	sat		Report Preparation		
6	8/15	sun		(AM) Report Preparation (PM) Travel to Gingoog		(PM) Travel to Gingoog
7	8/16	mon		(AM) FGD and field visit in Murallon, Gingoog (PM) FGD and field visit in Tinulongan, Gingoog		(AM) FGD and field visit in Murallon, Gingoog (PM) FGD and field visit in Tinulongan, Gingoog
8	8/17	tue		(AM) Courtesy visit to Mayor of Gingoog City		(AM) Courtesy visit to Mayor of Gingoog City

				FGD and field visit in Kipuntos, Gingoog (PM) Interview with Gingoog staff (ENRU, CAO, CPDO, City Vet.)		FGD and field visit in Kipuntos, Gingoog (PM) Interview with Gingoog staff (ENRU, CAO, CPDO, City Vet.)
9	8/18	wed		(AM) Travel to Alubijid (PM) FGD and field visit in Tugasnon, Alubijid		(AM) Travel to Alubijid (PM) FGD and field visit in Tugasnon, Alubijid
10	8/19	thu		(AM) FGD and field visit in Sungay, Alubijid (PM) Interview with Alubijid Staff		
11	8/20	fri		(AM) Interview with farmer cooperators in Laguindingan (Barangay Sinai & Lapad) (PM) Interview with Laguindingan staff		
12	8/21	sat		Report Preparation		
13	8/22	sun		Report Preparation		
14	8/23	mon		Report Preparation		
15	8/24	tue	Discussion with the Experts, Project, Preparation for JCC Nagaishi/Shimakage Travel to Cagayan de Oro (PR 183: ETD 9:45)			
16	8/25	wed	Discussion with the Experts, Project, Preparation for JCC			
17	8/26	thu	(AM) JCC Meeting 10:00-13:00 (PM) Japanese Team Travel to MNL (PR 284: 17:10-18:35)			
18	8/27	fri	(AM) Report to JICA, EOJ (PM) Ohashi Travel to Japan (JL 742: ESD 14:25)			

2. Outline of the Project

2-1. Background of the Project

The Province of Misamis Oriental is located in the northern part of Mindanao Island. Most of the people in mountainous areas in the Province, where the poverty condition is more predominant, earn livelihoods through activities that exploit natural resources, such as small-scale agriculture in sloping farmlands. Due to lack of alternative measures to generate income, an increasing population accelerates excessive dependence on natural resources to sustain livelihoods. It also raises risks of degradation of natural resources, which should be utilized sustainably.

For sustainable use of natural resources, it is necessary to formulate land utilization plans based on the concept of watershed management. To decentralize the implementing and management body of the bureaucracy, the obligations for providing some public services such as watershed management were transferred from the Central Government to LGUs due to enactment of the Local Government Code in 1991. The Code stipulates that LGUs are responsible for management of watershed under 10,000ha. However, due to the limited knowledge of the LGUs, there was a need to improve micro-watershed management in the province on formulating plans for watershed management and

implementing conservation activities through active involvement of resident.

Under such conditions, the Provincial Government of Misamis Oriental requested technical cooperation to the Japanese Government to promote formulation and implementation of Micro-watershed Management Plans in collaboration with BMFI. BMFI is a NGO working in the Province of Misamis Oriental and has sufficient know-how and experiences on sustainable integrated area development and participatory planning methodology for barangay development. In addition, the Project seeks to reduce poverty in the target areas by introducing livelihood opportunities through the conduct of Natural Resource Management (NRM) Activities, hence encouraging the people to practice NRM in their locality. The Record of Discussions (R/D) was signed between JICA and the Provincial Government of Misamis Oriental in 2007, to implement the Project on Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Micro-Watersheds in Misamis Oriental.

2-2. Summary of the Project

The Project which aims to improve micro-watershed management in the pilot barangays in the Province of Misamis Oriental is a collaborative effort among PPDO, ENRO, BMFI and JICA.

Other counterparts and at the same time beneficiaries of the Project are the Municipality of Alubijid and City of Gingoog. Among the eight pilot barangays, three barangays belong to Alubijid Municipality namely; Tugasnon, Sungay and Tula. They are located 50 kilometers west of Cagayan de Oro City. The five barangays, namely Bakid-bakid, Murallon, Tinulongan, Kipuntos and Kalagunoy, are found in Gingoog City which lies 120 km east from Cagayan de Oro.

The following are the Project's Description based on the PDM version 3.

Overall Goal

Management of micro and small-watersheds is improved in Misamis Oriental by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.

Project Purpose

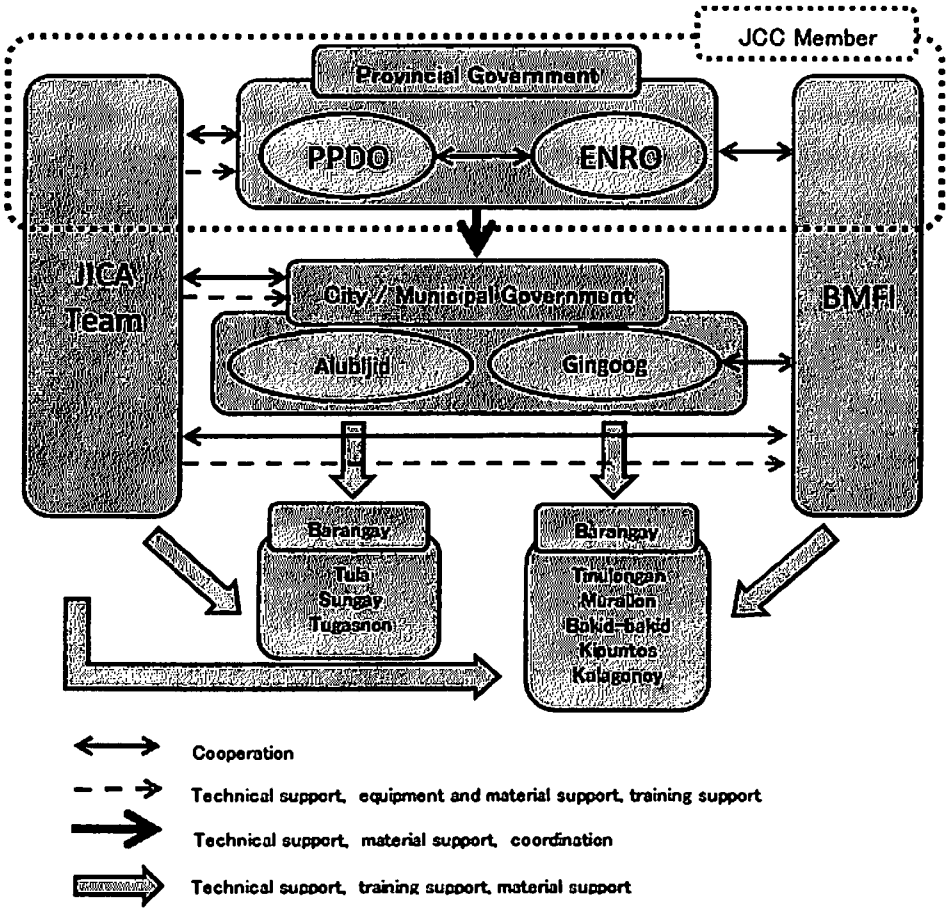
Management of micro-watersheds is improved in the pilot barangays by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.

Project Outputs

1. Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed

management practices are formulated.

2. Barangay beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.
3. Technical knowledge on micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.
4. Experiences of the project are shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed; likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental.
5. Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental



Source: Report of the Project

Figure 1: Project Organizational Structure- Collaboration and Relationship model of the Project

3. Achievement and Implementation Process

3-1. Achievement of the Project

3-1-1. Inputs

(1) Input from Japanese side

a) Dispatch of Experts

Four Japanese experts (Community Development/Local Governance, Natural Resources Management/ Information Management, Livelihood/Small Enterprise, and Local Governance 2/Project Coordinator) have been dispatched, based on the plan with some modification after the revision of annual input plan by JICA. The details of plan and actual allocation of the experts are shown in the Annex 4.

b) Provision of Equipment

Equipment listed in the Annex 5, which is worth a total of 4,945,036 Philippine Peso (Php), was provided by JICA. Although some of the equipment, such as projector and lap-top computer, need to be repaired after the intensive use during the implementation, most of them have been used effectively while still in good condition.

c) Project Local Cost

In addition to the original budget of the Project, a total of approximately 4,200,000 Php supplemental budget was disbursed in the 3rd year of the project period, and it was used for the activities of Output 4 and 5. The total amount disbursed by JICA for local expense of the Project as of July 2010 is 22,756,819 Php[1]. The details of expenses for each item and article are shown in the Annex 6.

d) Counterpart Trainings in Japan

As shown in the Annex 7, six counterpart members of the Project have participated in two kinds of training courses in Japan, using the existing training schemes of JICA, apart from the input of the Project. One of the two courses which four counterpart members participated in was "Sustainable Forest Management Policy", and the other one which two counterpart members participated in was "Participatory Community Development".

(2) Input from Philippine side

a) Counterpart Personnel

As of July 2010, there are 15 persons allocated to the Project, as counterpart personnel to implement

[1] 46,564,893 Japanese Yen was converted to Php using the average rate of JICA's monthly exchange rate for concerned month and year.

the project activities, including five from PPDO, four from ENRO, and six from BMFI. In addition, City/Municipal LGU counterpart members are allocated in Gingoog City and Alubijid Municipality. All members of counterpart participate in the project activities on part-time basis, while they have other tasks mandated by each agency, and their degree of contribution to the Project differs depending on individuals. The details of counterpart members are shown in the Annex 8.

b) Office Space

PPDO renovated part of its office space at the beginning of the project period to provide an office for Japanese experts, which has been utilized as the project office during the whole period.

c) Project Cost

The total expense born by the Philippine side as of July 2010 is 951,857.00 Php. The details of items and amount are shown in the Annex 9.

3-1-2. Activities

The Annex 2 shows the plan and actual implementation of activities of the Project. In August 2009, the Output 4 and 5 and their activities were added, as a result of the revision of PDM. There is some delay in activities in Gingoog City on these Outputs 4 and 5, such as the formulation of inter-barangay action plan, and the implementation of watershed management related activities in newly selected barangays. The main progresses of each activity are described in the Table 2 below.

Table 2: Activities of the Project and Achievement (as of July 2010)

Activities	Achievement
Output 1: Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices are formulated.	
1-1. Conduct social preparation and organize communities.	Completed in the 8 pilot barangays.
1-2. Conduct participatory baseline survey and identify problems and causes on current situation of micro-watershed.	Completed in the 8 pilot barangays.
1-3. Formulate barangay development plans through (with) participation of community members.	Completed in the 8 pilot barangays.
1-4. Formulate micro-watershed management action plans through (with) participation of community members.	Completed in the 8 pilot barangays. Those MMAPs of 5 pilot barangays in Gingoog, which all 4 aspects of micro-watershed management[2] were sufficiently incorporated, were reviewed.
Output 2: Barangay beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.	
2-1. Conduct a training needs assessment and plan trainings and workshops for communities.	Although the trainings were provided based on the assessed needs of communities, the training sessions on NRM were not well organized and no post-test was conducted for the trainings on the NRM-based enterprises in Gingoog City. However, training sessions in Alubijid were organized better

[2] The 4 aspects include the protection of farmland, forest, riverine, and residential areas.

	and post-test was conducted.
2-2. Conduct trainings for communities on conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative livelihoods) based on training needs.	Trainings shown in the Annex 10 "Trainings, Seminars and Workshops Provided by the Project" were conducted.
2-3. Implement community action plans related to conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative livelihoods).	The NRM activities and NRM-based enterprises described in the Annex 11 were implemented in each pilot barangay.
2-4. Conduct experience – sharing workshops among pilot barangays.	In Gingoog 2 workshops to share experience was realized among neighboring 16 barangays. In Alubijid the experiences was shared in Association of Barangay Captains (ABC) Meetings.
Output 3: Technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.	
3-1. Conduct trainings and workshops on basic knowledge and methods for micro-watershed management for mutual understanding among support agencies.	Trainings shown in the Annex 10 "Trainings, Seminars and Workshops Provided by the Project" were conducted.
3-2. Conduct support agency's staff training on participatory planning and conservation farming, micro-watershed management.	Trainings shown in the Annex 10 "Trainings, Seminars and Workshops Provided by the Project" were conducted.
Output 4: Experiences of the project are shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed, likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental.	
4-1. Conduct inter-barangay small-watershed action planning workshop.	In Alubijid, the details of REPRAP[3] were discussed with the LGU staff members, and the meetings were held in 11 relevant barangays to reach consensus on REPRAP and discussed how to implement it. A methodology to manage a small watershed with local people is under development.
4-2. Develop manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation.	Manuals on NRM training, NRM trainings, and Participatory Barangay Development Plan Formulation were drafted. They will be finalized by the end of the Project.
4-3. Conduct experience – sharing workshop and seminar with other LGUs and introduce manuals to participants.	Seminars to present the experience of the Project on BDP formulation for officials of other cities and municipalities in the province were conducted. The activity will be continued until the end of the Project, and the manual will be distributed in the final presentation of the experiences of the Project.
Output 5: Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental	
5-1. Conduct watershed management related activities in selected LGUs in collaboration with the Provincial Government, LGUs, NGOs and communities in Misamis Oriental.	The activities shown in the Annex 12 were implemented in the additional barangays in Alubijid and Gingoog, as well as some barangays in Lagindingan Municipality.

[3] Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project (REPRAP) is a project targeting all barangays along the Alubijid River to promote tree planting along the river to protect river banks. It also aims to promote soil and water conservation in the Alubijid watershed.

3-1-3. Outputs

Output 1: Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices are formulated.
Indicators: 1.1 Eight (8) Barangay Development Plans incorporating micro-watershed management are formulated through (by) community participation. 1.2 Eight (8) Micro-watershed Management Action Plans are formulated through community participation.

Regarding the *Indicator 1.1*, the Barangay Development Plans (BDPs) and Annual Investment Plan (AIPs)[4] for the eight pilot barangays were formulated through community participation. The eight BDPs were printed and submitted to respective organizations including the pilot barangays. The concept of micro-watershed management, however, was not well-incorporated into the BDPs/AIPs prepared by five pilot barangays in Gingoog, because the concept of the micro-watershed management was not clearly defined yet. Since the BDPs are five year plan, they will not be revised until 2013. However, the Project has developed a new process of BDP/AIP review, and realized the workshops in those five pilot barangays, as well as the three pilot barangays in Alubijid. As a result, the AIPs of the pilot barangays, which are annually prepared by Barangay Development Councils, included more micro-watershed management related activities.

Regarding the *Indicator 1.2*, the Micro-watershed Management Action Plans (MMAPs) for the eight barangays were formulated through community participation. The 5 pilot barangays in Gingoog City reviewed their MMAPs through "Micro-watershed walk", which is a monitoring activity to check the real progresses and issues on four focused areas, such as forest, residence, farmland, and riverine, through site visits and direct observations. In three pilot barangays in Alubijid Municipality, the MMAPs have been reviewed during the review of BDP/AIPs workshops in August 2010.

Meanwhile, to incorporate micro-watershed concept into BDP in an improved manner, the Project developed a new and simplified process of BDP planning, and it has been utilized in the BDP planning in 11 barangays in Alubijid. The manual on the BDP planning is also prepared based on this new simplified approach to facilitate replication in other barangays in the Province.

[4] AIP is a budget plan which is prepared annually based on the BDP.

Output 2: Barangay beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.
Indicators: 2.1 More than 80% of participants in micro-watershed management trainings in the pilot barangays pass the post-test of those trainings.

The Project conducted large variety of training courses on micro-watershed management practices for barangay inhabitants, which sums up to approximately 8,200 Man/Day of the training participants in total as of August 15, 2010. The details of trainings are described in Annex 10.

One of the main trainings was on NRM. The first round of the NRM training courses was conducted from July 2008 to March 2009 for all eight pilot barangays. However, in the first round training courses, the entire exercises were not well organized and the results of the post-test did not appropriately show the understanding of the participants on the contents, as the issue was raised in the Mid-term Review. The Project has conducted the NRM second round training, namely Soil and Water Conservation (SWC) training, for new participants. The contents of the training were polished based on experiences of the first round training and the post-test was also refined to measure the understandings of participants properly. The results of the SWC training are shown in the Table 3. All the pilot barangays achieved the *Indicator 2-1*.

Table 3: Results of Post-test on Second Round NRM trainings

Barangay	No. of post-test examinees	Average score	Score above 7
Tinulongan	-	-	-
Kipuntos	27	9.75	100%
Murallon	24	9.58	100%
Kalagonoy	28	9.86	100%
Bakid-Bakid	23	9.76	100%
Tula	83	9.35	95%
Tugasnon	73	9.30	96%
Sungay	75	9.53	92%

Note: Training was also conducted in Tinulongan but data are not compiled so far. The highest possible score is 10.

Another important topic of the trainings was on the NRM-based enterprise activities. Various kinds of training courses were conducted both in the Gingoog and Alubijid pilot barangays, in order to strengthen their capacity to engage in the NRM-based enterprise activities. In the Gingoog pilot barangays, the majority of trainings in the NRM-based enterprise activities were finished before the Mid-term Review. However, the post-tests were not conducted for those enterprise training courses.

Receiving the recommendation of the Mid-term Review which addressed the necessity of analyzing the results of assessment and taking measures to achieve the Output 2 sufficiently, the Project conducted post-tests also for the NRM-based enterprise trainings in the Alubijid pilot barangays. The results of post-test of the enterprise training courses are shown in the Table 4. 17 training courses were conducted and 13 training courses out of 17 achieved the *Indicator 2-1*.

Table 4: Results of Post-Tests for NRM-based Enterprise Trainings in Alubijid Municipality

Training topics	Sungay			Tula			Tugasnon		
	No. of examinees	Ave. score	Score ≧7	No. of examinees	Ave. score	Score ≧7	No. of examinees	Ave. score	Score ≧7
Vermi culture	28	7.89	75%	16	8.81	94%	18	8.33	94%
Cut flower	20	7.2	80%	17	6.33	53%	3	6	33%
Natural Farming Technique System	22	8.36	91%	15	8.93	93%	24	9.33	100%
Seeds and nursery	22	6.9	41%	10	6.36	50%	20	7.75	85%
Banana production	25	8.64	100%	21	8.95	100%	-	-	-
Soil and water conservation	25	9.12	100%	18	9.89	100%	40	9.9	100%

Note: The post-test asks 10 questions to the training participants. The participants are to answer each question with a yes or no. The highest possible score is 10. "Score above 7 (≧7)" shows the percentages of the participants who had a score of 7 or higher. Soil and water conservation training was conducted mainly for the participants of the first round NRM training to gain more knowledge on SWC.

In Alubijid, some follow-up activities of the training courses were made to deepen the understandings of lecture contents, including the "Cut Flower" which the results of post-test was not achieved sufficiently. In the case of "Seeds and Nursery", the Project has not been able to provide follow-up activities because the results of the post-test were not analyzed sufficiently to find out the comparatively low level of achievement.

In Gingoog, City Agriculture Office (CAO) has been providing technical assistance of the trainings provided by the Project, based on the needs of people in the pilot barangays.

It was identified through the Evaluation Study that most of the NRM-based enterprise activities practitioners consider that they gained enough skills to continue their activities, and when it is necessary, they have been able to receive assistance form City/Municipal LGU staff members who often visit them for monitoring. However, some practitioners of cut flower production commented that they need more technical support to improve their production.

In addition, the other technical assistance demanded by Peoples Organizations (POs) and individual NRM-based enterprise activities practitioners include, pest and disease control, book keeping and leadership training.

Output 3: Technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.
Indicators: 3.1 According to self evaluation, more than 80% of the counterparts improve their capacity of micro-watershed management compared to the baseline assessment. 3.2 More than 80% of participants in micro-watershed management trainings for LGUs and NGO staff pass the post-test of those trainings.

The Project conducted a series of training courses for counterpart members and City/Municipal LGU counterpart members, and the total Man/Day of training participants has became 374 as of August 15, 2010. The details of trainings are described in Annex 10.

Regarding the *Indicator 3.1*, the Capacity Assessments were conducted for the provincial and BMFI counterpart members for three times during the Project period. The comparison of the results between the first and second assessments, second and third ones, and beginning and present are made, as they are shown in the Table 5.

For the BMFI counterpart members, the Project set up core competency based on their activities in Gingoog. For the provincial counterpart members, their field of capacity development was categorized based on the field of Japanese Experts who provide technical assistance. In the comparison between the beginning and the present, 10 counterparts out of 11 recognized their capacities have been improved. One counterpart member did not feel any improvement in his capacity because he did not participate much in the Project.

Regarding the *Indicator 3.2*, the Post-tests were conducted only for Geographic Information System (GIS), computer skills, and video and still camera trainings, which are general skills to help their daily activities. The results are shown in the Table 6, 7 and 8. For the GIS, the results almost met the expected level of achievement, while the computer skills and video and still camera trainings resulted in 100% achievement.

Table 5: Results of Capacity Assessments

Organization	Staff	First Assessment (Average point)	Second Assessment (Average point)	Comparison	Third Assessment (Average point)	Comparison	Comparison (Beginning and End)
BMFI	A	3.60	4.20	↗	4.70	↗	↗
	B	4.00	4.00	→	4.60	↗	↗
	C	2.60	4.00	↗			↗
	D				2.80	N/A	N/A
	E	N/A	3.50	N/A	4.40	↗	↗
	F	3.20	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
ENRO	A	5.00					N/A
	B	3.00	4.00	↗	4.00	→	↗
	C	2.17	3.33	↗	3.80	↗	↗
	D	2.67	3.33	↗	3.50	↗	↗
PPDO	A	3.17	1.00	↘	0.80	↘	↘
	B	2.50	3.00	↗	4.40	↗	↗
	C	2.00	3.00	↗	N/A	N/A	↗
	D	1.40	2.90	↗	3.90	↗	↗

Table 6: Results of Post-Tests for GIS Training

Training course	No. of examinees	Average score	Scored ≧7 or 14	Remarks
Basic GIS	25	7.14	76%	The idea (GIS) which was introduced to the participants was completely new to them. Many of them do not know how to use basic software such as Micro-Soft Word. Considering this fact, the score were relatively high.
Advanced GIS	16	15.56	75%	More advanced idea and software of GIS than the previous session was introduced tot the participants.

Note: The post-test asks 10 (or 20) questions to the training participants. The participants are to answer each question with a yes or no. The highest possible score is 10 or 20. "Score above 7 or 14" shows the percentages of the participants who had a score of 7 (or 14) or higher, while the experts consider that above 7 or 14 is the pass mark for this test.

Table 7: Results of Post-Tests for Computer Training

Training course	No. of examinees	Average score	Score above 25
Training for Gingoog stakeholders	19	33.06	100%
Training for CDO and Alubijid stakeholders	16	29.86	100%

Note: 1. The post-test includes assessment on the knowledge and skills.

2. The post-test asks 50 questions to the training participants. The participants are to answer each question with a yes or no. The highest possible score is 50. "Score above 25" shows the percentages of the participants who had a score of 25 or higher, while the experts consider that above 25 is the pass mark for this test.

Table 8: Results of Post-Tests of Video and Still Camera Training

No. of examinees	Ave. score	Score above 7	Remarks
16	9.19	100 %	All the participants understood the basic functions of the cameras and were able to use them. Since all counterpart and implementers' organizations are equipped with still digital cameras, the acquired skills are expected to enhance recording activities by the participants.

Note: The post-test asks 10 questions to the training participants. The participants are to answer each question with a yes or no. The highest possible score is 10. "Score above 7" shows the percentages of the participants who had a score of 7 or higher, while the experts considers that above 7 is the pass mark for this test.

In terms of the trainings on the technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills, the Project did not conduct tests to measure the achievement of each counterpart member and City/Municipal LGU staff, since the capacity development was conducted through workshops and seminars. Although the level of capacity gained through the project activities differs depending on each person involved, the achievement of each group of counterpart members and City/Municipal LGU staff is generally evaluated as followings;

1) **PPDO**: The experts and staff members themselves consider that they gained enough capacity to play their role and functions in conducting training for planning officers at City and Municipal level on BDP formulation.
2) **ENRO**: They have attained experiences and basic knowledge to disseminate information on micro-watershed management, utilizing the prepared Information Education Communication (IEC) materials of the Project. However, the experts consider that it is necessary to continue strengthening the capacity to conduct training for ENRU and relevant officers at City and Municipal level on micro-watershed management and NRM methodology, through the formulation of manuals, until the end of the project period.
3) **BMFI**: The members of BMFI already had basic skills on the BDP formulation and facilitation, community/organization strengthening, as well as the trainings and facilitation on NRM-based enterprises. They strengthened their capacities through the experiences of the Project.
4) **LGU Staff of Alubijid Municipality**: They worked closely and deeply with the pilot barangays in order to implement project activities. As a result, the experts and staff members themselves consider that they have gained enough knowledge and experience to disseminate information on micro-watershed management to barangay, facilitate BDP formulation and other workshops, monitor their activities in barangays, and assist barangays in their activities.
5) **LGU Staff of Gingoog City**: It is considered by the experts and staff member themselves that the staff members of ENRU, who worked closely with the Project throughout the implementation process, have gained enough knowledge and experience to disseminate information on micro-watershed management to barangays, and coordinate with other offices of city government to arrange necessary assistance to barangays.

Output 4: Experiences of the project are shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed, likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental.
Indicators: 4.1 Inter-barangay small-watershed action plans are prepared in the pilot City and Municipality. 4.2 Project manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation are provided for all City and Municipal Governments in Misamis Oriental.

Regarding the *Indicator 4.1*, Alubijid Municipality has prepared "Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project (REPRAP)" which involves 11 barangays including the two pilot barangays in Alubijid, Tula and Sungay, and has been implementing some activities.

In Gingoog City, there is no inter-barangay small watershed action plan prepared yet. It is analyzed that the reasons why it has not achieved were, because 1) the schedule of other activities such as NRM-based enterprise activities was tight, 2) concrete orientation was not given by the Project to accelerate the coordination among barangays in Gingoog. However, the City has been raising the awareness of BDC and PO of pilot and other barangays on the importance of micro-watershed management activities, and two workshops to share experience were realized among neighboring 16 barangays. The efforts to sensitize them will be continued by the Project and Gingoog City until the end of the project period.

As to the *Indicator 4.2*, two publications on micro-watershed management, the NRM manual and Case Study and Implementation Report, and facilitators' manual for BDP formulation will be distributed in the BDP formulation seminar for all city/municipal LGUs in the Province, as well as in a final dissemination seminar. In addition, other IEC materials including DVD were prepared and being used for the advocacy. The list of these materials is shown in the Annex 13.

Output 5: Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental.
Indicators: 5.1 More than 80% of the additionally selected Municipal Governments and Barangays adopt and maintain the watershed management related activities.

In August 2009, the Project decided to implement some watershed management related activities in selected LGUs, using the supplemental budget provided by JICA. Regarding the City/Municipal

LGUs, all three LGUs have adopted the watershed management related activities, and intend to maintain them. As to the selected barangays, the achievement so far differs in each LGU. Although the percentage of achievement among all selected City/Municipality and barangays is approximately 67% so far, the Project will continue its effort, expecting that the percentage will be raised up to 81% by the end of the project period. The situations in each selected City/Municipalty and barangay are as described below.

[Alubijid Municipality]

In Alubijid Municipality, the municipal government formulated BDPs which include the concept of watershed management in the 12 additionally selected barngays. Also, REPRAP has been initiated in 11 barangays including two pilot barangays. It may be stated here then, that 100% of these barangays are adopting the watershed management related activities.

[Laguindingan Municipality]

In Laguindingan Municipality, the municipal government started the demonstration farming activities, which include soil conservation methodology such as mulching, with 11 farmer co-operators. Those co-operators are living in the barangays where communal rainwater tanks were also installed. Ten co-operators out of eleven farm household beneficiaries are maintaining their farm in good conditions, although one is not well maintained due to his/her personal reason. The co-operators are actively participating in the monthly meeting to discuss the issues of demonstration farming activities, and each of them is making efforts to invite neighboring farmers to apply the faming skills in their farming activities. It is considered that approximately 91% of the demonstration farming activities has been adopted in each barangay. Additionally the Project also assisted the Municipality to install new nursery for fruit seedlings to distribute to the selected barangays.

[Gingoog City]

Gingoog City had installed 18 rainwater tanks in 11 selected barangays, and also in the 5 pilot barangays. Those barangay captains and representatives received a lecture on micro-watershed management, and posters on micro-watershed management and vegetable seeds were distributed to beneficiaries to promote watershed-related activities. However, the follow-up of the activities has not been made in the 11 selected barangays so far. Meanwhile, the city government expanded its nursery for reinforcing fruit tree production to promote agro-forestry and forest protection activities, which are two important components of micro-watershed management. The goat production is also reinforced to establish a goat dispersal program, emphasizing an integrated farming system with goat production, vermi culture by using goat dung, vegetable production by using vermi-compost, and

fodder production by adopting contour farming or riverine protection methodology. The Project will continue working with Gingoog City so that these up-coming activities will be adopted and maintained in the selected barangays. It plans to prepare action plan in September, and start training and distribution of seedlings in October and November, expecting that the watershed management related activities will be adopted and maintained at least in four to five barangays out of 11 during the project period.

3-1-4. Project Purpose

Project Purpose: Management of micro-watersheds is improved in the pilot barangays by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.
Indicators: Micro-watershed management action plans are implemented in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGO) at more than six pilot barangays.

In all eight pilot barangays, most of the micro-watershed related activities mentioned in BDPs/AIPs/MMAPs are being implemented, with intensive interventions of LGUs and NGO staff through the Project. Therefore, it can be considered that MMAPs are implemented in collaboration with LGUs and NGO in all eight pilot barangays.

As the details of activities shown in the "Annex 11: NRM Activities and NRM-based Enterprises in Pilot Barangays", the activities conducted in each pilot barangay differ depending on the local situations, such as existing natural resources, topography, preference and priority of people, and existing Peoples' Organization (PO) and its maturity. Also, the level of achievement of the activities is quite different in each activity, and each barangay.

Throughout the project activities, the Project encouraged them to plan and implement their own MMAP and provided necessary trainings/seminars, and materials equivalent to 300,000 Php per barangay, in order to improve their management of micro-watersheds. Although the Project conducted large numbers and varieties of activities in the short period of time, the achievement in each activity at barangay level is still in progress.

For example, especially in the NRM-based enterprise activities, the effective usage of funds in each barangay was a big issue for them, since the amount of input for the activities was limited. It was decided that the fund is used in repayment system so that more people can start their NRM-based enterprise activities. However, it is only one and half year or less since the NRM-based enterprise activities were initiated in the pilot barangays, and the beneficiaries are a limited number of

inhabitants yet as it shows in Table 9. Also as to the NRM activities, some pilot barangays achieved to start activities such as tree planting with majority of inhabitants, but in other pilot barangays the implementers of such activities are still limited.

Table 9: Number of Beneficiaries, and Loaned and Repaid Amount

Barangay (number of household)	1st group		2nd group	
	Number of beneficiaries	Repaid amount/ Total amount loaned	Number of beneficiaries	Repaid amount / Total amount loaned
Tinulongan (83)	12	P33,000 / P289,900	0	
Murallon (217)	58	P 1,000 / P229,353.65	0	
Bakid-Bakid (115)	30	None / P208,450.18	14	None / P82,605.38
Kipuntos (84)	30	P500 /P 136,500	(12)	2nd group was identified
Kalagonoy (122)	38	P1,000 / P129,220	(17)	2nd group was identified
Tula (n.a.)	17	P15,600 / P72,643	27	None / P212,793
Tugasnon (551)	29	P35,103.50 / P142,617.50	31	P1,000 / P198,606
Sungay (464)	13	P11,900 / P93,927	19	None / P108,975

Data source: Number of household (BDP of each barangay), other information (data collected by the Project as of August 2010.)

Note: The repaid amount dose not include the repayment in-kind (seedlings, piglets, vermi, etc.).

3-1-5. Overall Goal

Overall Goal: Management of micro and small-watersheds is improved in Misamis Oriental by collaboration of Local Government Units, NGOs and Communities.

Indicators:

Micro and small-watershed management practices are sustained at barangay and small-watershed levels in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGOs) in Misamis Oriental.

It is considered that micro and small-watershed management practices are any activities which incorporate the concept described in the Figure 2 below. Although similar activities are implemented in some areas of the Province under different concepts, such as Community-Based Forestry Management (CBFM), conservation of natural resources, and livelihood improvement, so far the pilot barangays of the Project and selected LGUs and barangays of the Output 5 are the only cases working under the concept of Micro-watershed Management Activities in the Province.

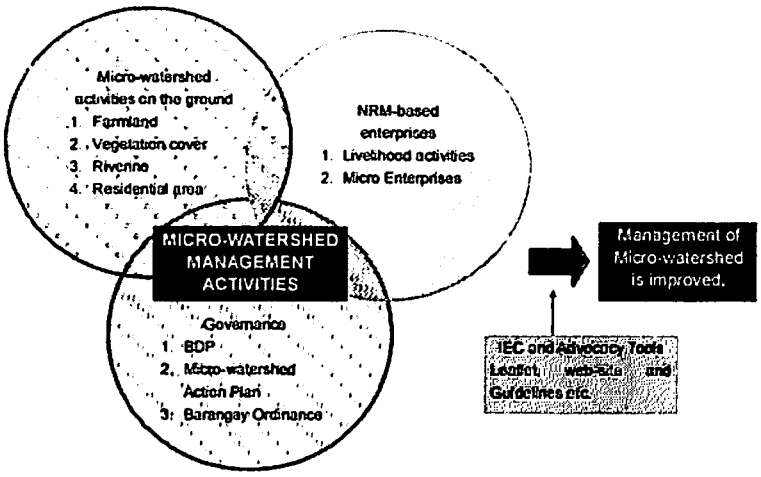


Figure 2: Concept of Micro-watershed Management Activities (MMA)

3-2. Implementation Process

(1) Management and Implementation Structure

Although the management structure, where representatives of PPDO, ENRO, BMFI and Japanese experts discuss about issues and make decision, was not sufficiently functioning during some period before the Mid-term Review, it has been improved by holding the Project Management Committee (MANCOM) meeting periodically at least once a month. Also, the implementers' meetings, both in Gingoog and Alubijid, have been held bimonthly, to discuss the schedule of activities and related issues at implementers' level.

(2) Monitoring

In the latter half of the project period, the activities to monitor the level of achievement in each pilot barangay have been strengthened to deal with the larger number of activities. The Project has conducted monitoring in 2 different level, 1) "Project Monitoring" which is the periodical monitoring realized by counterpart members and City/Municipal LGU staff, and 2) "Micro-watershed Management Activity Monitoring" which is conducted by the people of the pilot barangays.

Regarding the 1), it focused on the achievement of common indicators on the outputs of three main fields of project activities, i.e., local governance, natural resource management, and livelihood and enterprises. The baseline monitoring was conducted from October 2008 to February 2009 in Gingoog, and in July 2009 in Alubijid, and the results were analyzed to plan the activities to improve the performance in each pilot barangays. The end-line monitoring was also conducted, and the results are under processing.

As to the 2), it was started with a purpose of confirming the progress of activities by the people of the pilot barangays themselves. In order to solve issues found through the monitoring, it was necessary to strengthen the capacity of City/Municipal LGU staff to provide adequate advice to the people of the barangays. Therefore, the Project realized a workshop to prepare some tools to be utilized by LGU staff to assist barangays in monitoring and to provide orientation/advice in some techniques (vermi composting and cut-flower production). However, the monitoring at barangay level is still weak, and it needs to be strengthened with the participation of people.

(3) Communication

Communication among the implementers of the Project has been maintained in good manner. Especially in the latter half of the project period, by holding periodical MANCOM and implementers' meetings, necessary information has been shared adequately among actors involved, including the staff members of Gingoog City and Alubijid Municipality.

(4) Technical Transfer

There are three types of technical trainings in the Project: a) trainings for barangay beneficiaries, b) trainings/seminars for officers of municipality/city governments, and c) trainings/seminars for the counterpart members.

Regarding the above mentioned a), the trainings were conducted through the seminars/workshops and field demonstration/hands-on trainings. Especially the demonstration/hands-on was considered more effective among participants. As to b) and c), the capacity development was mainly carried out through the on the job training in the implementation of activities. In the latter half of the project period, after determining the expected function and roles of each group of counterpart (including the City/Municipal LGU counterpart), some trainings/seminars on general skills, such as computer and photography, were also conducted.

(5) Revision of PDM

PDM version 1 was formulated at the time of the exchange of the R/D in July 2007, and the Project started based on this version. At the beginning of the 2nd Japanese Fiscal Year (JFY), the Project revised the PDM to the version 2 in June 2008, especially its Objectively Verifiable Indicators (OVI), in order to reflect the status at the time and incorporate numerical targets.

After the Mid-term Review, considering the sustainability of the project impact to achieve the Overall Goal after the completion of the project period, and at the same time, taking advantage of the

supplement budget provided by JICA in August 2009, the Project decided to extend its scope of outputs and activities. The PDM was revised to the version 3, to add an aspect of "small-watershed management" in the Output 4, and to incorporate the Output 5 "Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental".

(6) Follow-up of the recommendations made by the Mid-term Review

In the Mid-term Review, nine recommendations were presented by the Review Team. The Project has realized follow-up activities which are described in the following Table 10.

Table 10: Follow-up Activities for the Recommendations of Mid-term Review

Recommendations	Actual status of follow-up activities
1. The concept of "Micro-watershed Management" has to be refined and at the same time, more trainings and advocacy tools such as posters and an introduction DVD etc. have to be developed to create a common understanding among the project stakeholders.	The concept was refined among the stakeholders and it was reflected in the training and advocacy materials shown in the Annex 13. The materials have been presented in the training, meeting, workshop, and seminars to the people of barangays, LGUs' staff and other stakeholders.
2. For the 2nd half of the project period, the Project should consider the expansion mechanism of the beneficiaries to other members of the pilot barangays, as many as possible including people in vulnerable conditions.	Following trials have been carried out to increase the number of beneficiaries. 1) In Alubijid, existing "Farmers to Farmers Training" was utilized to repeat the training in "Soil and water conservation" to be able to provide the training to more beneficiaries. 2) In order to utilize limited fund in each barangay, the Project has been strengthening the system of revolving fund (or in-kind). In some activities such as vegetable production and vermi-composting, there are 2nd batch beneficiaries in some barangays.
3. Regarding the indicator of Output 2, actual result of the assessment should be analyzed and necessary actions need to be taken in order to achieve sufficiently this Output.	The contents of the trainings and post-tests were reviewed and analyzed to reflect real results of the capacity development in the measurement of level of achievement. And the Project conducted trainings based on the new masures.
4. The project should provide the counterpart members with trainings in accordance with their delineated roles and responsibilities to improve further their operational capacities in the 2nd half of the project period.	The expected functions of each stakeholder and areas of capacity development are defined and agreed in August 2009. In the 2nd half of the project period, the capacity development of counterpart members was realized based on the delineation of roles and functions.
5. It is expected that Provincial Government will secure for ENRO the necessary budget of the counterpart members and ENRO will allocate necessary time so that they can fully engage in the project activities.	In the 2nd half of the project period, staff members of ENRO have been participating in the project activities more active, coordinating their schedule with the other members of the Project in better manner.
6. The Project Management Committee (MANCOM) should be regularly held and more information should be shared among	In the 2nd half of the project period, MANCOM meeting has been held periodically (once a month).

the members.	
7. For the sustainability of the Project, the direction of Watershed Management in the Province of Misamis Oriental needs to be clarified among stakeholders under the leadership of the Provincial Government. At the same time, it is recommended to establish a support system from the Provincial Government to Municipalities and Cities, then to barangays in order to ensure the sustainable Micro-watershed Management.	In the "5-year Development and Physical Framework Plan (2009-2013)", the importance of watershed management was clearly stated. Also, a case of inter-barangays (municipal level) management has been established in Alubijid Municipality, and it became a showcase of the small-watershed management. However, it is considered that it still requires more discussions and demonstrations to determine the details of management structure and activities to expand it in the other areas.
8. Also the allocation of the budget on administration and implementation for the Watershed Management should be considered to make the established support system functional (above mentioned).	See "4-1-5. Sustainability"
9. It is recommended to review the PDM, especially on "Objectively Verifiable Indicators", if it is adequate to reflect the recommendations made by the Mid-term Review Team.	A small revision was made to the OVI 2.1. to be able to measure better the achievement of Output 2. In addition, Output 4 was revised and Output 5 was added as mentioned in "3-2. Implementation Process" (5) Revision of PDM.

4. Results of the Evaluation

4-1. Evaluation by Five Criteria

4-1-1. Relevance

It was identified that the Project has maintained its relevance to the needs of target areas, policy of the recipient government, as well as the Japanese assistance policy for the Philippines. Also the approach to contribute to the issues of micro-watershed management has been adequate. The details of each aspect are discussed in the following:

(1) Needs of the target areas and population

In the Province of Misamis Oriental, the deterioration of environment in the mountainous areas which caused by poverty and lack of knowledge and skills on micro-watershed management is still the prevailing concern which can result in the erosion of land, reduction of water supply for daily life and commercial/industry purpose, and deterioration of water quality. Witnessing the occurrence of natural disasters such as flash flood and landslide disaster happen frequently in recent years, the Province, City and Municipal Governments have growing interest in watershed management, and meanwhile the alternative livelihood measures remain important to reduce destructive activities in upstream areas. There are also idle lands in the pilot barangays which are potential for NRM based activities but cannot be utilized because farmers do not have the necessary knowledge, skills and capital for the farm inputs.

(2) Policy of the recipient government

The Project is consistent with Medium-Term Philippine Development Plan 2004-2010 (MTPDP), Region X Medium-Term Development Plan 2004-2010, in terms of their emphasis on the importance of appropriate environmental management and sustainable development, mitigation of the regional gaps and poverty alleviation, and conservation and restoration of natural resources through the coordination among LGUs (Province, City, Municipality and Barangay). In the case of Watershed Management, as mentioned earlier, LGUs are required to take responsibilities for management of watershed under 10,000ha, under the enactment of Local Government Code in 1991.

In mid-2009, the Government of the Philippines through the National Economic and Development Authority (NEDA) has started its implementation of the technical assistance on Integrating Disaster Risk Reduction – Climate Change Adaptation (DRR-CCA) in Local Development Planning and Decision-making Processes. Although the focus is different, the contents of disaster risk reduction and climate change adaptation is much to do with the watershed management.

The current provincial administration of Misamis Oriental has established "five-year Development and Physical Framework Plan (2009-2013)" which prioritizes watershed framework as an approach that will promote long-term management of natural resources with the geographical context of a watershed.

(3) Japanese ODA policy

In the Country Assistance Program for the Philippines revised in June 2008, the poverty reduction is recognized as one of the Priority Development Issues, considering that it is necessary to strive for a cross-sectoral approach in regions with high poverty rate to aid multiple sectors in an integrated manner, including enhancement of the capacity of LGUs, aid for agriculture, education, health, and protection of life from natural disasters, especially in Mindanao, which is the poorest area and where unstable situations prevail. The Program also mentions that assistance for LGUs and strengthening cooperation with LGUs, civil organizations and NGOs are one of the approaches to contribute to the issues. These approaches coincide with the design of the Project.

(4) Suitability as means

The sustainable micro-watershed management requires diverse components such as natural resource management, alternative livelihood activities, and formulation of adequate action plan which is incorporated in the development plan among the other existing issues. While in general these components are treated separately, the Project tried to combine them under the watershed

management framework to create a model of micro-watershed management. The stakeholders who involved in the Project consider it was quite relevant action, since the exploitation of natural resources such as illegal logging arises from a lack of alternative livelihood activities, and it should be managed by local government in sustainable manner.

4-1-2. Effectiveness

The Project has been effective, considering the achievement of the Project Purpose described in the followings. Although the MMAPs are implemented in all barangays, it remains some points of improvement in the micro-watershed management at barangay level, as it is described in the followings.

(1) Achievement of the Project Purpose

As it was described in the "3-1. Achievement of the Project", the MMAPs are implemented in collaboration with LGUs and NGO at all 8 pilot barangays, and therefore it is considered that the Project Purpose has been achieved.

Meanwhile, the level of achievement of each activity of MMAPs differs. However, it is premature to evaluate the achievement of each activity of MMAPs, since some of the activities have been started recently and some are still under preparation. In order to strengthen the sustainability of the activities determined in the MMAPs, the continuous support of City/Municipal LGUs to the pilot barangays are required during and after the project period, particularly on the IEC advocacy.

There are following contributing factors in the achievement of micro-watershed related activities.

- The involvement of BDC in the planning process provided official recognition of the project approach.
- The utilization and strengthening of POs in the different pilot barangays was a viable starting point to develop the community as a main actor of micro-watershed management, especially in the NRM-based enterprise activities. As such, the Project delivered interventions to assisted POs that helped them evolve into enterprise organizations. By assisting in the planning, development and management of NRM-based enterprise activities that will benefit their members, they become active agents of, and stewards of resources for sustainable local economic development within the framework of small and micro-watershed management;
- In Alubijid, the existing Farmers Training Team (FTT) was utilized for the Soil and Water Conservation Training, and it helped to increase the number of participants and people who apply the contour farming in their lands.

The issues arisen in the implementation of activities of MMAPs in the pilot barangays include followings;

- There are pilot barangays which have difficulties in inviting non-members of NRM-based enterprise activities for the other NRM activities, such as tree planting and contour farming, while there is a barangay which achieved the participation of majority of inhabitants in those NRM activities.
- In the barangays where the condition to receive revolving fund for the NRM-based enterprise activities is to become a member of PO, there are people who have difficulties to pay membership fee and/or capital share.
- There are NRM-based enterprise activities which people still have difficulties to adopt the farming technologies sufficiently, such as cut-flower production, and require more technical assistance. The Project is compiling the case study of each NRM-based activity and its lessons leant for the future planning.
- The Project had difficulty in persuading the POs to maintain high repayment ratio. It has been difficult for them so far, even though the Project spent much time to convince the beneficiaries to follow the POs' repayment policies and to modify and enforce the PO's policies. Meanwhile in the interview done by the Evaluation Study there were beneficiaries who considers the revolving system as effective to maximize the limited amount of money, and the repayment was not as difficult as they thought at first because they have gains from their products.
- For those who do not own land or engage in contracted agriculture labor work, it is difficult to apply NRM-based activities by themselves.
- Some inevitable incidents, such as the Caprine Arthritis Encephalitis (CAE) of goat and el niño, have caused delay in the implementation.
- There is still limited participation in decision making process in certain pilot barangays.
- In some barangays, only few women were included in the beneficiaries of livelihood activities and PO decision making,

(2) Causality between the Outputs and the Project Purpose

The Project Purpose was achieved by accomplishing three Outputs (the Output 1, 2, and 3) defined in the PDM, since the proper management of micro-watershed it is necessary to establish adequate plans (Output 1), trainings on the related activities for barangay inhabitants (Output 2), and capacity development of LGUs and NGOs for providing effective support to barangays (Output 3). As it is mentioned in PDM, Output 4 and 5 do not have direct causality with the Project Purpose. However, it is ideal that the small-watershed management is also taken place harmonizing with the micro-watershed management at barangay level, as it implemented in Alubijid Municipality. In this regard, the Output 4 also indirectly contributes to the achievement of Project Purpose.

Regarding the important assumption in the PDM to assure the achievement of the Project Purpose, which is "Staff of Local Government Units and BMFI who have participated in the trainings continue working in the same office/unit", there is no such case of resignation among the counterpart personnel so far, although there were some changes in the counterpart members of BMFI due to the relocation of staff.

4-1-3. Efficiency

While the Project managed large volume of activities in a short period, using the limited input efficiently in most of cases, some issues affected efficient implementation of the activities, as described in the followings. Also, it is necessary to make further effort in the rest of project period to achieve unaccomplished outputs as much as possible, especially in the Output 4 and 5.

(1) Level of achievement of the Outputs

As to the Output 1, the expected output was successfully produced. As to the Output 2, while in NRM activities the achievement is as high as expected, the acquirement of knowledge in some NRM-based enterprise is insufficient. As to the Output 3, although there was a difficulty in measurement of the level of achievement based on the defined indicators, in general it is considered that the counterpart members achieved to gain experiences and knowledge on micro-watershed management and participatory planning. Regarding the Output 4, while it is achieved in Alubijid, in Gingoog it may need more time to raise enough awareness to prepare small-watershed action plan. It is expected that the Output 5 will be achieved in the project period, by continuing the promotion of activities.

(2) Factors which affected the achievement of Output

[Contributing factors]

- There is a growing interest of stakeholders on the watershed management, as a result of natural disasters and climate change observed recently in the pilot areas.
- The limited amount of input in each barangay has been used efficiently by introducing the revolving system.
- Both Gingoog City Government and Alubijid Municipal Government are collaborative for the project activities throughout the project period.
- In Alubijid, the Municipal Government took its initiative in the formulation of BDP in 11 additional barangays besides 3 pilot barangays, and the preparation of small-watershed action plan.

[Issues and hindering factors in the implementation of activities]

- The attainment goal and means to measure the level of achievement in the capacity development were not clearly defined from the beginning of the Project, and the result of assessment was not fully used for follow-up activities.
- The repayment system of the inputs for the NRM-based enterprise activities was not decided from the beginning. Since it was introduced after the implementation of some activities, it caused confusion among the barangay inhabitants.
- Since there were many trainings/seminars and activities held in pilot barangays in the short period of time, for some inhabitants, it was difficult to manage their time to participate in the project activities.
- The City/Municipal LGU counterpart members have difficulties in the access and transportation to the pilot barangays, especially for monitoring which requires them to visit individual practitioners of NRM-based enterprise activities.

(3) Causality between the activities and the Outputs

The Project has performed large number and variety of activities, which directly contributed to the actual level of achievement of the Outputs.

In terms of the important assumption defined in PDM to assure the achievement of Outputs, which is "Barangay Government and people in the pilot barangays do not oppose to the project", there was no such opposition in the pilot barangays.

(4) Timing, quality and quantity of the Inputs

In the Mid-term review, some difficulties related to the input, such as delays in the registration of project vehicle and delays in the provision of materials for NRM-based enterprise activities due to the transfer of management responsibility in a pilot barangay and the spread of the CAE of goat, were reported. After the Review, most of the input was utilized efficiently in the project activities, however, following additional difficulties were experienced.

- Some seedlings purchased by the Project were ruined due to the combination of some reasons such as; the procurement was not in exact timing, the climate was not adequate for the planting due to the "el niño" effect, and the quality of seedlings was not good enough to last long.
- Some of the rain water tanks installed in selected barangays have a problem of leakage. Since they are still under warrantee, the provider is checking and repairing them.
- After the revision of the PDM in August 2009, variety and volume of activities were significantly increased. In order to deal with the increase, although the assignation period of the experts was reconsidered, the experts consider that it was not sufficient to deal with

the large volume of activities.

4-1-4. Impact

There is a moderate prospect of achieving the Overall goal, through the dissemination of each component of micro-watershed management developed by the Project. Also, the positive impacts have been observed in the pilot barangays, as they are described in the followings.

(1) Prospect of achieving the Overall Goal

As it was described in the "3-1. Achievement of the Project", there is no information available to measure the achievement so far of the Overall Goal. However, some degree of achievements of the overall goal is expected, considering the following.

- Importance of watershed management is clearly stated in the five year Provincial Development and Physical Framework Plan.
- PPDO and ENRO have included watershed management program in AIPs based on their basic mandates and are arranging for firmer allocations in the Provincial 2011 budget for the watershed related activities such as enforcement of the Conservation Farming Ordinance province-wide.
- PPDO conducted dissemination workshop and advocacies on BDP formulation (based on Project ELCEMM modified module) for Municipal and City planning officers and have arranged for trainers' training for other stakeholders.
- Gingoog City and Alubijid Municipal LGUs are already conducting several watershed related activities on their own initiatives. They are willing to continue those activities and are trying to secure budget for the activities.

(2) Causality between the Project Purpose and the Overall Goal

Although the package (or model) of micro-watershed management developed by the Project in Alubijid and Gingoog is not easy to replicate entirely, considering the limited budget of LGUs, and coordination capacity among the vertically divided divisions in LGUs. However, as mentioned above, each component will be introduced through the different approach such as the implementation of provincial ordinance in soil and water conservation farming, and the dissemination workshop and advocacies on BDP formulation. In terms of the small-watershed management, although the REPRAP in Alubijid became an example, it is considered that more discussion and demonstration are required to refine the management structure and possible activities.

Regarding the important assumption defined in the PDM to achieve the Overall Goal, which is "Development plans and annual investment plans for watershed management at the municipal and

provincial levels are not redirected to other sectors/concerns.," there is no such trend identified at this moment. Indeed, the budget for watershed management is not allocated sufficiently yet in majority of LGUs, and it is necessary to advocate LGUs allocating budget for it.

(3) Multiplied effects of the Project

[Positive impact]

- There is increasing number of people who are the practitioners of NRM-based enterprise activities consider their livelihood is actually improved, especially from savings in buying inorganic fertilizers and food crops (since they are now producing vermin-compost and/or grow their own vegetables) and profit from broiler growing and hogs dispersal.
- There are more farmers practicing soil and water conservation techniques such as contour farming and natural vegetative strip (NVS).
- More people of pilot barangays are conscious to the conservation of natural resource and watershed, although non-members of POs in some pilot barangays are less conscious.
- People, including women in some barangays, became more active for participating activities, inspired by the availability of fund to be utilized for individual NRM-based enterprise activities.
- It was observed by inhabitants that in some areas in pilot barangay the erosion has been alleviated as a result of three planting done in the earlier stage of the Project.
- Using the contour farming techniques, the idle land has been utilized for the productive activities.
- There is less cutting of trees and/or illegal logging observed in the pilot barangyas.

[Negative impact]

No negative effect was identified through the Evaluation Study.

4-1-5. Sustainability

It can be expected that each stakeholder will maintain their watershed management related practices, within their mandate and allowed budget, considering each aspect of sustainability discussed in the followings.

(1) Policy and institutional aspects

[Provincial Government]

As mentioned earlier, the Provincial Government finalized its five-year Development Plan which clearly states the importance of watershed management and environmental issues. Also, an Ordinance No. 1148-2009 "an ordinance requiring all farmers, farm workers and land plantation owners cultivating in hilly or slope areas within the province of Misamis Oriental to adopt

conservation farming, providing incentives and funds therefore" was established in August 2009.

[Municipal/City Government]

Both 2 city/municipal LGUs have been supportive to the implementation of watershed management.

- In Alubijid Municipality, the government took an initiative to formulate BDPs in other 12 barangays besides three pilot barangays, and expand the watershed management to the inter-barangay activities. Also besides the support to the Project, it has been producing seedlings to distribute them for tree planting in the Municipality.
- In Gingoog City, the government is quite aware of the watershed management, and promoting some watershed management practices apart from the support to the Project.

In addition, provincial, municipal and barangay ordinances and resolutions have been passed, which support the implementation of the project activities started in the pilot barangays. These policies increased the sustainability factor of the gains of Project.

(2) Organizational and financial aspects

[Continuity of the activities in the pilot barangays and selected LGUs and barangays]

- In Alubijid under actual administration, Office of Agricultural Services (OAS) has taken in charge of watershed management related activities. According to the Municipal Agricultural Officer, there is no problem in maintaining technical support to the pilot barangays, as well as in REPRAP activities. However, the budget is limited in the preparation of seedlings which are not enough for all barangays.
- In Gingoog, ENRU has played a role to coordinate the other technical offices such as City Agriculture Office, City Veterinary Office and City Planning and Development Office, to provide support to the pilot barangays. The coordination has been improved through the implementation of activities, and the technical support will be continued even after the project period based on the mandate of each office and unit, utilizing their limited budget allocated. Also, budget allocation for some NRM based activities in the City has been approved for implementation. These activities include the expansion of the Goat Dispersal Project in more barangays. The increased number of goats provides opportunity for farmers to plant fodder plants in more areas which is an effective soil and conservation technique. As to the additionally selected barangays, the future intervention to them has not been clearly determined yet as it was discussed in the achievement of Output 4 and 5.
- Laguindingan Municipality through the Municipal Agriculture Office is planning to establish additional demonstration farms in 2011, while maintaining its support to the demonstration farms established by the input of the Project.

- BMFI has not changed their policy which clearly expressed their commitment of maintaining interventions to the same areas even after the completion of the project. Therefore, support from BMFI in the five pilot barangays in Gingoog City will be continued, especially in the community empowerment and livelihood activities which are their main areas of intervention.

[Provincial level support to City/Municipal LGUs]

Although the introduction of micro and small watershed management activities in City/Municipal LGUs is highly depending on their initiative, PPDO and ENRO will take following approaches to advocate them.

- The counterpart members of PPDO have built their capacity to conduct training for planning officers at City and Municipal level on BDP formulation. It has already conducted information sharing workshop with all City/Municipal LGUs on BDP formulation, and will have another seminar/training workshop before the end the Project. Also it has been coordinating with Department of Interior & Local Government (DILG), which supports the strengthening of governance at barangay level, so that process of BDP formulation to incorporate the micro-watershed management (modified module) will be acknowledged and utilized generally in the province. In addition, PPDO has been trying to coordinate with other possible collaborators, for example, the Provincial Agriculture Office which is implementing Mindanao Rural Development Program funded by World Bank. Since one of the requirements in the program to select the beneficiary barangay is the formulation of BDP, PPDO has been promoting them to use the process of BDP formulation developed by the Project.
- ENRO, as one of the responsible offices to implement the above mentioned Provincial Ordinance No. 1148-2009, has prepared a plan and budget for 2011 to realize 1) IEC advocacy on the soil and water conservation, 2) training on the techniques of contour farming, and 3) provision of materials for contour farming. These activities are planned to be realized in 24 barangays. Also, the staff members of ENRO are planning to advocate City/Municipal LGUs securing budget to implement this ordinance, attending the meetings of all 24 municipalities of the Province. In these activities, they will utilize IEC materials prepared by the Project.
- As a difficulty for them to implement these activities, there is a limitation of travel allowance for provincial staff under the regulation of provincial government (150Php/day, and up to 600Php/month), which counterpart members also have to obey.

(3) Technical aspects

[Counterpart members]

The level of achievement in the capacity development of counterpart members is as mentioned in the achievement of Output 3. In order to facilitate the work of each counterpart member including the

City/Municipal LGU counterpart, some IEC materials and manuals were revised and/or prepared in the 2nd half of the project period.

[Barangay beneficiaries]

Most of the skills, knowledge and techniques introduced by the Project have been accepted by the barangay inhabitants, although there exists needs of additional assistance in some techniques. The concept and implementation of Farmer-to-Farmer Training in the pilot barangays in Alubijid increases the sustainability of the Project. Also the installation of demonstration farms in each barangay, which has been conducted in Ladinguingan, is another example to disseminate the NRM-based farming techniques to the neighboring farmers.

4-2. Conclusion

The Project achieved the implementation of large volume and variety of activities, owing to the efforts made by each stakeholder involved in the project activities. The Project Purpose, which is to improve the micro-watershed management in the pilot barangays by collaborating with LGUs, NGOs, and community, has been achieved by implementing MMAPs in all 8 pilot barangays, although the achievement so far of each action differs depending on the barangays. The relevance of the Project remains high even at the moment of Terminal Evaluation, and effectiveness is also high considering the achievement of Project Purpose. In terms of efficiency, the Project mostly utilized the limited input sufficiently, although there were some issues during the implementation which have affected the efficiency of the implementation. As to the impact, there is a moderate prospect of achieving the Overall goal, through the dissemination of each component of micro-watershed management developed by the Project. Also, the positive impacts have been observed in pilot barangays. Finally on the sustainability, it can be expected that each stakeholder will maintain their watershed management related practices, within their mandate and allowed budget. There is still lack of clear outlook of the management at small-watershed level, since the focus of the Project was on micro level and one example of small level at Alubijid was not sufficient to develop clear framework. Examining the all results of the Study, it is considered that the Project can be terminated as scheduled.

It is expected that the Project continues making efforts till the end of the project period to complete unaccomplished activities, and the partner LGUs maintain their activities to achieve the Overall Goal even after the project period, taking the following recommendations into consideration.

5. Recommendations

5-1. Recommendations

[For the rest of project period]

- It is recommendable to conduct some follow-up activities of the trainings in pilot barangays in some topics which the results of post-test were comparatively low, and demand of further assistance is high.
- In terms of the Outputs 4 and 5 which have not been sufficiently accomplished, the Project should make efforts to achieve the expected outputs as much as possible, working closely with LGU.
- The experiences of each pilot barangay and partner LGUs should be compiled and shared among the stakeholders.
- The IEC materials and manuals should be strategically distributed, with some orientation in how to utilize them effectively.

[For after the project period]

- Although each stakeholder will maintain their activities under their mandate, it is important to seek collaborative actions of stakeholders based on the experiences of the Project, which may be more effective and efficient in the dissemination of watershed management.
- To guarantee the sustainability of the activity, it is recommendable for each LGU to secure budget necessary (including the transportation and travel allowance) to facilitate their staff to conduct their activities.

5-2. Lessons Learned

- In the planning of capacity development, the attainment goal and means of measurement should be determined before conducting the capacity development activities. Also the results of test and/or assessment should be utilized for follow-up activities.
- Before entering the barangay level activities, the policy of the project activities which will be implemented in barangay should be clearly determined, in order to avoid confusion.
- In the dissemination of skills and knowledge at barangay level, the hands-on training, Farmers to Farmers Training, and demonstration farm were the good practices identified through the experiences of the Project.
- The social preparation, organizational strengthening, and awareness raising to enhance maturity of group and get socially vulnerable people involved, are keys to the successful implementation of the activities at community level. When these aspects are not prepared before the implementation, some trials and errors at community level are expected.
- In order to secure the sustainability of the activities, the organizational strengthening should be

taken into consideration, in addition to the capacity development of individual staff.

5-3. Future Directions

PPDO is currently proposing for *Project on Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Small Watersheds in Misamis Oriental*, as a succeeding project, which steps up the focus of the intervention from micro-watershed management to small-watershed management. The Team gathered initial information and carried out a series of discussion for consideration of the future direction of JICA's possible cooperation during the Terminal Evaluation. The findings are as follow;

- The relevance to enlarge the focus from micro to small-watershed was confirmed as a next step.
- The REPRAP in Alubijid has been initiated through the project activities and became an example of small-watershed management. However, it is considered that more discussion and demonstration are required to refine the management structure and possible activities to determine the framework of small-watershed management.
- Potentially effective areas of JICA's future interventions are such areas as institutional/structural set-ups to implement small watershed management, technical guidance on small watershed management skills
- Assistance as described above should not be such to meet the financial requirements of relevant agencies to continue activities which have been implemented successfully in this Project.

Based on these findings, it is recommended that the relevant agencies in the Philippines side and JICA continue discussions to refine the project concept and framework to develop an appropriate project design.

Annex 1: PROJECT DESIGN MATRIX (version 3)

Project Title: Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Micro-Watersheds in Misamis Oriental
Duration: January 2008-December 2010
Target Group: Local Government Units of Provincial, Municipal and Barangay Governments, Balay Mindanaw Foundation, Inc. and the people in the pilot areas
Target Area: Misamis Oriental Province, 8 barangays

August 19, 2009 Version 3

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
Overall Goal Management of micro and small-watersheds is improved in Misamis Oriental by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.	Micro and small-watershed management practices are sustained at barangay and small-watershed levels in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGOs) in Misamis Oriental	Barangay and Municipal Development Plans, Annual Investment Plans and Annual Accomplishment Reports	Policy, institutions, etc., pertinent to micro-watershed management are not changed dramatically.
Project Purpose Management of micro-watersheds is improved in the pilot barangays by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.	Micro-watershed management action plans are implemented in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGOs) at more than six pilot barangays.	Project reports	Development plans and annual investment plans for watershed management at the municipal and provincial levels are not redirected to other sectors/concerns.
Outputs			
1. Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices are formulated.	1.1 Eight barangay development plans incorporating micro-watershed management are formulated with community participation. 1.2 Eight micro-watershed management action plans are formulated with community participation.	Barangay development plans	Staff of Local Government Units and Balay Mindanaw Foundation, Inc. who have participated in the trainings continue working in the same office/unit.
2. Barangay beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.	2.1 More than 60% of participants in micro-watershed management trainings in the pilot barangays pass the post-test of those trainings.	Project reports Post test results	
3. Technical knowledge on micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.	3.1 According to self evaluation, more than 60% of the counterparts improve their capacity of micro-watershed management compared to the baseline assessment. 3.2 More than 60% of participants in micro-watershed management trainings for LGUs and NGO staff pass the post-test of those trainings.	Capacity assessment reports Post test results	
4. Experiences of the project are shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed. Likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental.	4.1 Inter-barangay small-watershed action plans are prepared in the pilot City and Municipality. 4.2 Project manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation are provided for all City and Municipal Governments in Misamis Oriental.	Project reports Project reports	
5. Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental.	5.1 More than 60% of the additionally selected Municipal Governments and Barangays adopt and maintain the watershed management related activities.	Project reports	
Activities			**Pre-Conditions**
1-1 Conduct social preparation and organize communities 1-2 Conduct participatory baseline survey and identify problems and causes on current situation of micro-watershed. 1-3 Formulate barangay development plans through (with) participation of community members. 1-4 Formulate micro-watershed management action plans through (with) participation of community members. 2-1 Conduct a training needs assessment and plan trainings and workshops for communities. 2-2 Conduct trainings for communities on conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative livelihoods) based on training needs. 2-3 Implement community action plans related to conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative 2-4 Conduct experience – sharing workshops among pilot barangays. 3-1 Conduct trainings and workshops on basic knowledge and methods for micro-watershed management for mutual understanding among support agencies. 3-2 Conduct support agency's staff training on participatory planning and conservation farming, micro-watershed management 4-1 Conduct inter-barangay small-watershed action planning workshops 4-2 Develop manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation 4-3 Conduct an experience – sharing workshop and seminar with other LGUs and introduce manuals to participants 5-1 Conduct watershed management related activities in selected LGUs in collaboration with the Provincial Government, LGUs, NGOs and communities in Misamis Oriental	Japanese Side Experts: Community Development/Local Governance, Natural Resources Management/Information Management, Livelihood/Small Enterprise Provision of necessary equipment	Philippine Side Provincial Government through PPDO, ENRO, Office space, facilities, equipment	Barangay Governments and people in the pilot barangays do not oppose to the project.

Note 1: Watershed management harmonizes the use of soil, water and vegetation in the watershed area in order to increase agricultural productivity and conserve natural resources.
Note 2: Micro-watershed Management Activities (MMA) at barangay level consists of Natural Resources Management (NRM) activities and Micro-watershed enterprises (MWEs). Although MWEs are mainly production oriented activities, some of them may have a NRM component. MWEs include activities both at people's organization/ cooperative levels (Micro-enterprises activities) and activities at household level (Livelihood activities).
Note 3: "Output 4 and 5" are actually not for "Project Purpose" but for "Overall Goal". However, it will be involved in the project framework in consideration for sustainability of the project impact.

Annex 2: Plan of Operation

Project on Enhancement of Local Governance and Community Empowerment in Micro-Watersheds in Misamis Oriental (ELCEMM)
Tentative APO (Annual Plan of Operation) from April 2010 to January 2011

August 26 2010

■ Planned □ Actual

Outputs		Activities	Expected Result	April	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	Jan	Remarks
				2010									2011	
Experts Dispatch from Japan	1	Chief Advisor/ Community Development/ Local Governance												
	2	Deputy Chief Advisor/ Natural Resources Management/ Information Management												
	3	Livelihood/ Small Enterprises												
	4	Local Governance 2/Project Coordinator												
1. Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices are formulated.	1-1.	Conduct social preparation and organize communities.	Completed											
	1-2.	Conduct participatory baseline survey and identify problems and causes on current situation of micro-watershed.	Completed											
	1-3.	Formulate barangay development plans through participation of community members.												
	1-3-1.	Review barangay development plans and formulate annual investment plan	Annual investment plan				(Gingoog)	(Alubijid)						
2.Barangy beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.	2-1.	Conduct a training needs assessment and plan trainings and workshops for communities.	Completed											
	2-2.	Conduct training courses for communities on conservation farming, agro-forestry and group enterprises based on training needs.												
	2-2-1.	Conduct soil and water conservation training in Alubijid	Trainings conducted											
	2-2-2.	Conduct soil and water conservation training in Gingoog	Trainings conducted											
	2-3.	Implement community action plans related to conservation farming, agro-forestry and group enterprises.	Action plan implemented		(Gingoog and Alubijid)									
	2-4.	Conduct experience-sharing workshops among pilot barangays.												
	2-4-1.	Sensitization on micro-watershed activities in Gingoog at handing over ceremony of rainwater tank	Video show made Lecture given											
	2-4-2.	Sensitization on micro-watershed activities in Alubijid at All Barangay Captains Meeting	Video show made Explanation of Project activities given											

■ Planned □ Actual

Outputs		Activities	Expected Result	2010 April	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	2011 Jan	Remarks
3. Technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.	3-1.	**Conduct trainings and workshops on basic knowledge and methods for micro-watershed management for mutual understanding among support agencies.**												
	3-1-1.	Conduct soil and water conservation training for Gingoog LGU	Training conducted				■ □							
	3-1-2.	Conduct review workshop on micro-watershed management activities	Workshop conducted								■			
	3-1-3.	Conduct capacity assessment meeting with the counterparts	Capacity profiles of CPs		■ □	■ □	■ □							
	3-2.	**Conduct support agency's staff training on participatory planning conservation farming and micro-watershed management.**												
	3-2-1.	Conduct BDP formulation workshop for planning officers of LGUs	Trainings conducted								■			
4. Experiences of the project are shared in other areas.	4-1.	**Conduct inter-barangay small-watershed action planning workshops**												
	4-1-1.	Formulate watershed action plan and implement it in Gingoog.	Planning workshop conducted Activities made						■	■	■	■	■	
	4-1-2.	Conduct REPRAP activities in Alubijid.	Activities continued	■ □	■ □	■ □	■ □	■ □	■	■	■	■	■	
	4-2.	**Conduct experience-sharing workshops and seminar with other LGUs and introduce manuals to participants.**												
	4-2-1.	Conduct experience sharing workshops on micro-watershed management	Workshop conducted								■			
	4-2-2.	Utilize IEC materials on micro-watershed management		■ □	■ □	■ □	■ □	■ □	■	■	■	■	■	
	4-3.	**Develop manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation**												
	4-3-1.	BDP formulation manual	Manual								■			
	4-3-2.	NRM training manual	Manual								■			
	4-3-3.	NRM-based enterprises (case study report)	Report								■			
5. Introduction of watershed management related activities in selected LGUs	5-1.	**Conduct watershed management related activities in selected LGUs in collaboration with the Provincial Government, LGUs, NGOs and communities in Misamis Oriental**												
	5-1-1.	Formulate watershed action plan and implement it in Gingoog.	Planning workshop conducted Activities made						■	■	■	■	■	
	5-1-2.	Conduct REPRAP activities in Alubijid.	Activities continued		■ □	■ □	■ □	■ □	■	■	■	■	■	

■ Planned □ Actual

Outputs	Activities		Expected Result	2010 April	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec	2011 Jan	Remarks
6. Activities on Project Administration/Management	6-1.	Project Documentation												
	6-1-1.	Periodic reporting	Final Report										■■	
	6-2.	Committee Meetings												
	6-2-1.	Management Committee Meeting	Meetings held	■ □		■ □		■ □		■	■			
	6-2-2.	Project implementers meeting in Gingoog	Meetings held bimonthly		■ □			■ □			■			
	6-2-3.	Project implementers meeting in Alubijid	Meetings held when necessary					■ □			■			
	6-2-4.	JCC	JCC conducted					■ □			■			

Annex 3: Evaluation Grid

1. ACHIEVEMENT

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION		SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Inputs	Japanese side	Experts (Community Development/Local Governance, Natural Resources Management/Information Management, Livelihood/Small Enterprise), Provision of necessary equipment		Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
	Philippine side	C/P (Provincial Government through PPDO, ENRO, Balay Mindanao Foundation, Inc.), Office space, facilities, equipment		Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
Progress of outputs	Outputs	Indicators of current PDM	Means of Verification		
	Output 1: Participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices are formulated.	1.1 Eight barangay development plans incorporating micro-watershed management are formulated through (by) community participation.	Barangay development plans	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
		1.2 Eight micro-watershed management action plans are formulated through community participation.		Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Output 2: Barangay beneficiaries obtain knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices.	2.1 More than 80% of participants in micro-watershed management trainings in the pilot barangays pass the post-test of those trainings.	Project reports Post test results	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Output 3: Technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff are enhanced.	3.1 According to self evaluation, more than 60% of the counterparts improve their capacity of micro-watershed management compared to the baseline assessment.	Capacity assessment reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
		3.2 More than 80% of participants in micro-watershed management trainings for LGUs and NGO staff pass the post-test of those trainings.	Post test results	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Output 4: Experiences of the project are shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed, likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental.	4.1 Inter-barangay small-watershed action plans are prepared in the pilot City and Municipality.	Project reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
		4.2 Project manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation are provided for all City and Municipal Governments in Misamis Oriental.	Project reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Output 5: Watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental.	5.1 More than 60% of the additionally selected Municipal Governments and Barangays adopt and maintain the watershed management related activities.	Project reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Progress of Project Purpose	Project Purpose	Indicators of current PDM	Means of Verification		
	Management of micro and small-watersheds is improved in Misamis Oriental by collaboration of Local Government Units, NGOs and communities.	Micro-watershed management action plans are implemented in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGOs) at more than six pilot barangays.	Project reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Achievement of Overall Goal (Perspective)	Overall Goal	Indicators of current PDM	Means of Verification		
	Management of micro-watersheds is improved in Misamis Oriental by collaboration of Local Government Units and communities.	Micro and small-watershed management practices are sustained at barangay and small-watershed levels in collaboration with supporting agencies (LGUs and NGOs) in Misamis Oriental.	Barangay and Municipal Development Plans, Annual Investment Plans and Annual Accomplishment Reports	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview

2. IMPLEMENTATION PROCESS

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Plan of activities	Have the activities of the Project been carried out as they were planned?	Progress and actual status of each activity	Progress report, annual report, C/Ps, experts	Document review, questionnaire, interview
	1-1 Conduct social preparation and organize communities			
	1-2 Conduct participatory baseline survey and identify problems and causes on current situation of micro-watershed.			
	1-3 Formulate barangay development plans through (with) participation of community members.			
	1-4 Formulate micro-watershed management action plans through (with) participation of community members.			
	2-1 Conduct a training needs assessment and plan trainings and workshops for communities.			
	2-2 Conduct trainings for communities on conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative livelihoods) based on training needs.			
	2-3 Implement community action plans related to conservation farming, agro-forestry and group/households enterprises (alternative livelihoods).			
	2-4 Conduct experience – sharing workshops among pilot barangays.			
	3-1 Conduct trainings and workshops on basic knowledge and methods for micro-watershed management for mutual understanding among support agencies.			
	3-2 Conduct support agency's staff training on participatory planning and conservation farming, micro-watershed management.			

	4-1 Conduct inter-barangay small-watershed action planning workshops			
	4-2 Develop manuals on micro-watershed management and participatory barangay development plan formulation			
	4-3 Conduct an experience – sharing workshop and seminar with other LGUs and introduce manuals to participants			
	5-1 Conduct watershed management related activities in selected LGUs in collaboration with the Provincial Government, LGUs, NGOs and communities in Misamis Oriental			
Technical transfer	Are there any issues or difficulties in the means of technical transfer?	The means and contents of technical transfer in each field, opinions from the participants of activities for technical transfer	Progress report, annual report, C/P, experts, LGUs, pilot barangays	Document review, questionnaire, interview
Management and Operation Structure	Are the management and operation structure (mechanism) of the Project functioning adequately?	Current Status of management and operation structure of the Project and issues (if any).	Progress report, annual report, C/P, experts, LGUs	Document review, interview
Monitoring	Who, how and how often has the monitoring of the Project been carried out? Have the results of the monitoring been utilized for the management of the Project?	Process of monitoring, details of the amended plan, review of the approach (strategy), way of feedbacks	Progress report, annual report, C/P, experts, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
Decision making process	How have the decisions been made when the Project needs to change activities, inputs, target areas, etc.	Process of decision making, and related issues	Progress report, annual report, C/P, experts	Document review, interview
Relationship among the actors involved (Communication)	Has the communication between JICA and the Project been effectively carried out (such as deliberation, frequency of the communication, contents, way of feedbacks) ?	Frequency of the communication, means, follow-ups for the change of plan, way of feedbacks, way of collaboration	Experts, JICA Philippine office	Questionnaire, interview
	Mechanism of communication in the project team —Among Japanese experts —Between Japanese experts and Philippine C/P members —Among Philippine C/P members	Frequency of the communication, means, follow-ups for the change of plan Time and frequency for collaborative work, way to solve issues in the teamwork	C/P, experts, JICA Philippine office	Questionnaire, interview
	Issues in the communication	Are there any problems in language, culture/custom, etc? Are there any actions taken to prevent such problems?	C/P, experts, JICA Philippine office	Questionnaire, interview
	Has the communication with other related institutions involved (such as LGUs, Communities, Barangay Councils, and other NGOs etc.) been carried out effectively?	Frequency of the communication, means, and contents	C/P, experts, LGUs, Pilot Barangays	Questionnaire, interview
Awareness (ownership)	Do the implementing organization and C/P members have high awareness toward the Project?	Expectation and contribution toward the Project	Progress report, annual report, C/P, experts	Document review, interview
	Is there sufficient participation and awareness of the related organizations and target groups?	Recognition of the contribution and effect of the Project	Progress report, annual report, C/P, experts, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
CP	Are those allocated C/P members adequate to carry out the Project? How have the C/P members been got involved in the project activities?	Status of C/P allocation, status of C/Ps' activities	Progress report, annual report, C/P, experts	Document review, interview
Follow-up activities realized on each recommendation of the Mid-term Review	Has the Project paid attention to the following recommendations made by the Mid-term Review, in the activities after the Review?	The activities realized for the follow-up of the recommendations. The results of the activities realized. The issues remain after the follow-up activities.	Progress report, annual report, C/P, experts	Document review, interview
	1. The concept of "Micro-watershed Management" has to be refined and at the same time, more trainings and advocacy tools such as posters and an introduction DVD etc. have to be developed to create a common understanding among the project stakeholders.			
	2. For the 2nd half of the project period, the Project should consider the expansion mechanism of the beneficiaries to other members of the pilot barangays, as many as possible including people in vulnerable conditions.			
	3. Regarding the indicator of Output 2, actual result of the assessment should be analyzed and necessary actions need to be taken in order to achieve sufficiently this Output.			
	4. The project should provide the counterpart members with trainings in accordance with their delineated roles and responsibilities to improve further their operational capacities in the 2nd half of the project period.			
	5. It is expected that Provincial Government will secure for ENRO the necessary budget of the counterpart members and ENRO will allocate necessary time so that they can fully engage in the project activities.			
	6. The Project Management Committee (MANCOM) should be regularly held and more information should be shared among the members.			
	7. For the sustainability of the Project, the direction of Watershed Management in the Province of Misamis Oriental needs to be clarified among stakeholders under the leadership of the Provincial Government. At the same time, it is recommended to establish a support system from the Provincial Government to Municipalities and Cities, then to barangays in order to ensure the sustainable Micro-watershed Management.			
	8. Also the allocation of the budget on administration and implementation for the Watershed Management should be considered to make the established support system functional (above mentioned).			
	9. It is recommended to review the PDM, especially on "Objectively Verifiable Indicators", if it is adequate to reflect the recommendations made by the Mid-term Review Team.			
Others	Apart from items mentioned above, are there any issues or difficulties happening through the implementation of the Project? What are the reasons of the problems?	Issues and factors	Progress report, C/P, experts, JICA Philippine office, LGUs, Pilot Barangays	Document review, interview

3. RELEVANCE

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Needs	Is the Project relevant with the needs of target area and society of Philippine? Is the Project relevant with the needs of target groups?	Issues in the Misamis Oriental Province, Actual situation of the local governance and community empowerment	Provincial Government, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Priority	Is the Project consistent with the development policy of the Philippine Government?	National development policy and plan of Philippine Government, Provincial development policy and plan	Provincial Government, experts, C/P, Medium-Term Philippine Development Plan 2004-2010, Region X Medium-Term Development Plan 2004-2010, Provincial Development and Physical Framework Plan	Document review, interview
	Is the Project consistent with the Japanese aid policy and the JICA's plan of assistance for the Philippine?	Japanese aid policy	Country Assistance Program (Philippine), JICA's Country Assistance Plan for the Philippine, JICA Philippine office	Document review, interview
Suitability as means	Is the Project appropriate as a strategy to contribute effectively to the issues of the local governance and community empowerment in Micro-watersheds in Misamis Oriental? (In terms of approach, selection of target area, collaboration with other donors, etc.)	Situation of the application of existing local and Japanese know-hows, design and mechanism of cooperation (if it is adequate to the local situation or not), flexibility of the means of cooperation	Ex-ante evaluation report, reports of related past projects, C/P, experts	Document review, questionnaire, interview
Others	Are the collaboration and demarcation with other donors and other JICA's projects defined clearly?	Situation of projects of the other donors and JICA	Ex-ante evaluation report, progress report, C/P, experts	Document review, interview
	Are there any changes of situation (political, economic, social, etc.) after the Mid-term Review?	Information related to the political, economic, and social changes	Progress report, annual report, C/P, experts, LGUs, Pilot Barangays	Document review, interview

4. EFFECTIVENESS

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Prospect of achieving the Project Purpose	Dose the Project Purpose have good prospects of accomplishing by the end of project period, reviewing actual achievement and the plan of activities ahead?	Level of actual achievement of the Project Purpose and its prospects of accomplishment	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Is there any constraint in the achievement of the Project Purpose?	Preventing or contributing factors	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
Causality between the Outputs and the Project Purpose	Has the Project been producing the outputs sufficiently to achieve the Project Purpose?	Results of the analysis in the progress of the Project	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
	Are the 5 Outputs sufficient to achieve the Project Purpose?	Actual situation in terms of the causality between the Project Purpose and Outputs	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
	Is the Important Assumption from Outputs to achieve the Project Purpose, which is "Development plans and annual investment plans for watershed management at the municipal and provincial levels are not redirected to other sectors/concerns" still adequate? Is it possible to satisfy the assumptions?	Influences from the important assumption	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, interview

5. EFFICIENCY

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Level of achievement of the Outputs	Is the level of achievement of each Output satisfactory so far?	Results of the analysis in the progress of the Project	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Is there any constraint in the achievement of the Outputs?	Progress of the achievement of each Output	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Causality between the activities and the Outputs	Are the activities sufficient for producing the Outputs of the Project?	Progress of activities, achievement of outputs	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
	Is the Important Assumption from Activities to achieve the Outputs, which is "Staff of Local Government Units and Balay Mindanao Foundation, Inc. who have participated in the trainings continue working in the same office/unit.." still adequate? Is it possible to satisfy the assumptions?	Record of the inputs, progress of the activities	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, interview
Timing, quality and quantity of the Inputs	Were the timing, quality and quantity in the provision of inputs adequate in order to carry out the activities as they were planned?	Record of the inputs, progress of the activities	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, questionnaire, interview
	How dose the Project deal with the problems related to the inputs, such as a delay of the procurement of equipments?	Countermeasures for the problems	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, interview

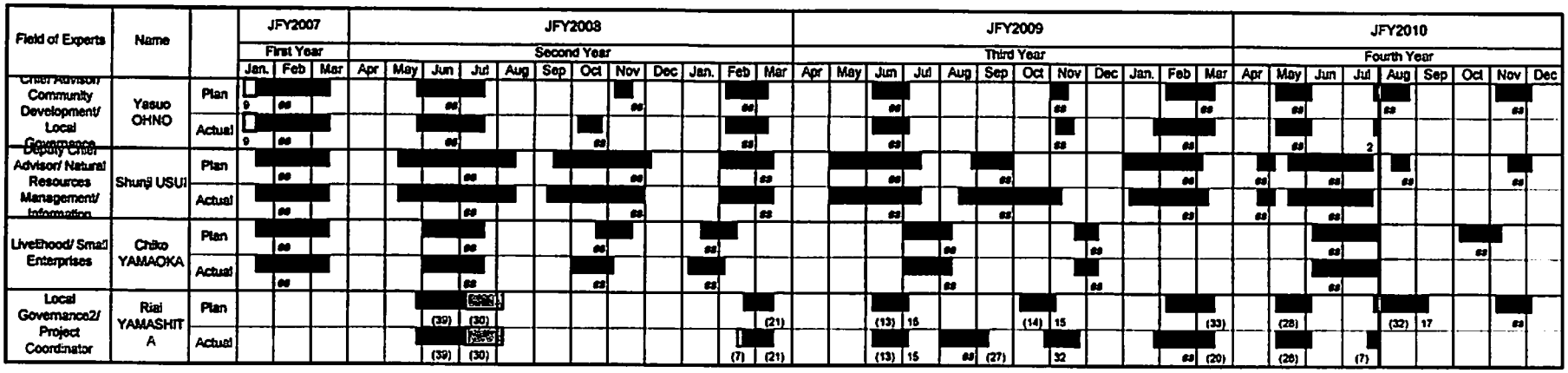
6. IMPACT (Perspective)

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Prospect of achieving the Overall Goal	Will the Overall Goal be accomplished as an effect of the Project? (Will it be possible to measure the level of accomplishment at the time of ex-post evaluation?)	Results of the analysis in the progress of the Project	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Is there any constraint in the achievement of the Overall Goal?	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Causality between the Project Purpose and the Overall Goal	Is there any deviation in the causality between the Overall Goal and the Project Purpose?	Logic of the Project, effects of the important assumptions, negative and/or positive factors	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
	Is the important Assumption from Activities to achieve the Outputs, which is "Policy, institutions, etc., pertinent to micro-watershed management are not changed dramatically" still adequate? Is it possible to satisfy the assumptions?	Actual situation of policy, institutions etc.	Progress report, annual report, experts, C/P	Document review, interview
Multiplied effects in social and economic situation	Effects on the Political aspects (system, law, regulation, etc.)	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, questionnaire, interview
	Effects on the economic aspects	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
	Effects on the gender, human right, poverty (socially vulnerable groups), and other socio-cultural aspects	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
	Effects on the environment	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview
	Effects on the innovations in the technical, political and/or institutional aspects in the watershed management, barangay governance, and community empowerment sector.	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs	Document review, questionnaire, interview
	Is there any negative impact of the Project? Has any measure to avoid or alleviate the negative impact been taken?	Actual situation of each case/concern	Progress report, annual report, experts, C/P, LGUs, Pilot Barangays	Document review, questionnaire, interview

7. SUSTAINABILITY (Perspective)

ITEMS	DETAILS	NECESSARY INFORMATION	SOURCE OF INFORMATION	MEANS OF INVESTIGATION
Policy and institutional aspects	Dose the governmental support in terms of policy continue after the Project?	Governmental policy of the Philippines and the Province	Provincial Government, experts, C/P	Document review, interview
	Are the regulations and laws related to the Watersheds management established?	Laws and regulations related to the Watersheds management	Provincial Government, LGUs, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Is a system to support the extension of the effects of the Project to the other areas secured?	Governmental policy of the Province and LGUs, action plan of the Project	Progress report, annual report, Provincial Government, LGUs, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Organizational and financial aspects	Dose the Misamis Oriental Province and LGUs have sufficient organizational capacity to continue the Project's activities after the Project (in terms of allocation of human resources, decision making process, and so on)?	Policy of Misamis Oriental Province and LGUs (positioning of the Project in the watersheds management and community empowerment, budget allocation, etc)	Progress report, annual report, LGUs, experts, C/P	Document review, interview
	Is the ownership of the target 8 barangays toward the Project activities secured sufficiently?	LGUs, policy and plan of each 8 barangays (positioning of the Project in the watersheds management and community empowerment, budget allocation, etc)	Progress report, annual report, Pilot Barangays, LGUs, experts, C/P	Document review, interview
	Is the budget from the Philippine side necessary for the Project is secured? How much possibility of increase of the budget is there in the future because of the implementation of the Project? Is the budget secured for it?	Budget allocation and Plan of the Provincial Government	Progress report, annual report, LGUs, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Technical aspects	Are the skills and/or techniques transferred by the Project accepted (in terms of technical level, social and conventional factors, and so on)?	Capacity and technical ability of C/Ps, progress of the activities	Progress report, annual report, LGUs, Pilot Barangays, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Are the equipments maintained adequately (Do C/P members have ability to maintain them)?	Capacity, technical ability of C/P members, progress of the activities, status of the maintenance of equipments	Progress report, annual report, LGUs, experts, C/P	Document review, interview
Social, cultural, and environmental aspects	Is there any possibility for the Project that a lack of consideration toward gender, poverty, and vulnerable groups hinders the sustainable efficacy of the Project? Is there any synergy in terms of gender, poverty and vulnerable groups to promote the sustainability of the Project?	Cases of constraints Cases of synergy effects	Progress report, annual report, LGUs, Pilot Barangays, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
	Is there any possibility for the Project that a lack of consideration toward environment hinders the sustainable efficacy of the Project?	Cases of constraints	Progress report, annual report, LGUs, Pilot Barangays, experts, C/P	Document review, questionnaire, interview
Others	Is there any other constraint which hinders the sustainability of the Project?	Cases of constraints	Progress report, annual report, LGUs, Pilot Barangays, experts, C/P	Document review, interview

Annex 4: List of Japanese Experts (Jan.2008-Jul. 2010)



Field of Experts	Name		M/M First Year Philippine	M/M First Year Japan	M/M Second Year Philippine	M/M Second Year Japan	M/M Third Year Philippine	M/M Third Year Japan	M/M Fourth Year Philippine	M/M Fourth Year Japan	M/M Total Philippine	M/M Total Japan
Chief Advisor/ Community Development/ Local Governance	Yasuo OHNO	Plan	2.00	0.30	3.60	0.00	2.50	0.00	3.00	0.00	11.10	0.30
		Actual	2.00	0.30	3.60	0.00	3.00	0.00	1.00	0.00	9.60	0.30
Deputy Chief Advisor/ Natural Resources Management/ Information	Shunji USUI	Plan	2.00	0.00	7.40	0.00	5.50	0.00	4.00	0.00	18.90	0.00
		Actual	2.00	0.00	7.40	0.00	7.50	0.00	2.80	0.00	19.70	0.00
Livelihood/ Small Enterprises	Chiko YAMAOKA	Plan	2.00	0.00	3.60	0.00	2.00	0.00	3.00	0.00	10.60	0.00
		Actual	2.00	0.00	3.60	0.00	2.00	0.00	1.83	0.00	9.43	0.00
Local Governance2/ Project Coordinator	Riai YAMASHITA	Plan	0.00	0.00	(3.00)	0.00	1.00 (2.00)	0.00	1.50 (2.00)	0.00	2.50 (7.00)	0.00
		Actual	0.00	0.00	(3.23)	0.00	3.00 (2.00)	0.00	0.00 (1.16)	0.00	3.00 (6.39)	0.00

In the Philippine In Japan IC Net ( ) Dispatched as a Project Coordinator

Note1: "Plan" is based on the proposal to JICA each year.
Note2: "Actual" means the actual performance until July 2010.
Note3: "Local Governance 2" has been dispatched since the third year. It was only "Project Coordinator" until the end of the second year.

Annex 5: List of Procured Equipment

Table 1: List of Equipment Provided by JICA Based on Request from the Philippine Government

No.	FY	Date	Equipment	Quantity	Place of Keeping	Utilization	Condition	Remarks
1	2007	2008/2/6	Motorcycle	2	Alubijid Municipality, BMFI	For daily work	Good	
2	2007	2008/3/3	4WD Car	2	PPDO, BMFI	For daily work	Good	
3	2007	2008/3/21	Desktop computer with UPS	4	Project Office(2), PPDO(2)	For daily work	Good	One UPS was broken (The fuse was cut). it was replaced by another UPS purchased by the project.
4	2007	2008/3/21	Laser printer	3	Project Office, PPDO	For daily work	Good	
5	2007	2008/3/21	Colour laser printer	1	Project Office	For daily work	Good	
6	2007	2008/3/21	Laptop computer	2	PPDO, BMFI	For daily work	Good	
7	2007	2008/3/21	Projector	2	Project Office, BMFI	For daily work and training	Good (1) Broken(1)	BMFI's Projector is under repair.
8	2007	2008/3/21	Screen	2	Project Office, BMFI	For daily work and training	Good	
9	2008	2008/6/25	GPS, Recharger, Rechargeable Battery	GPS(6), Recharger(5), Battery(24)	PPDO, ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid Municipality, spare	For field research	Good	
10	2008	2008/7/8	GIS software	1	PPDO	For GIS operator training and GIS data analysis	Good	
11	2008	2008/8/1	Risograph	1	BMFI	For daily work	Good	
12	2008	2008/8/20	Motorcycle	1	Gingoog City	Applying for registration	Good	
13	2008	2008/9/11	Desktop computer	1	PPDO(for GIS)	For daily work	Good	
14	2008	2008/9/11	Desktop computer	5	ENRO, PPDO, Gingoog City, Alubijid Municipality, BMFI	For daily work	Good	
15	2008	2008/9/11	Laptop computer	1	Project Office	For daily work	Broken	It is under repair.
16	2008	2008/9/11	Laser printer	6	Project Office, PPDO, ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid Municipality	For daily work	Good	
17	2008	2008/9/11	UPS	7	Project Office(2), PPDO, ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid Municipality	For daily work	Good	
18	2008	2008/9/11	AVR	6	Project Office, PPDO, ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid Municipality	For daily work	Good (5) Broken(1)	One AVR (for Alubijid) was broken. It was replaced by the stabilizer in UPS which was provided at the same time.
19	2008	2008/9/11	Compact Digital Camera	8	Project Office(3), PPDO, ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid	For daily work and training	Good	

					Municipality			
20	2008	2008/9/11	Single-lens reflex digital camera	2	Project Office, BMFI	For daily work and training	Good	
21	2008	2008/9/11	Video Camera	2	PPDO, BMFI	For training	Good	
22	2008	2008/10/15	Anti-virus software	7	Project Office, PPDO(2), ENRO, BMFI, Gingoog City, Alubijid Municipality	For computers (already installed)	Good	
23	2008	2008/10/24	Single-lens reflex digital camera, lens	2	PPDO, BMFI	For daily work and training	Good	

Table 2: List of Equipment additionally purchased for Project Use

No.	JFY	Date	Equipment	Quantity	Place of Keeping	Utilization	Condition	Remarks
1	2007	2008/1/9	Mobile printer	1	Project Office	For training	Good	
2	2007	2008/1/25	Printer	1	Project Office	For daily work	Good	
3	2007	2008/2/8	Stabilizer	3	Project Office	For a computer at PPDO and for emergency	Good	
4	2007	2008/2/11	GPS	1	Project Office	For daily work	Good	
5	2007	2008/2/18	Satellite phone	1	Project Office	For training	Good	
6	2007	2008/2/26	Copy machine	1	Project Office	For daily work	Good	
7	2007	2008/3/4	Office furniture (bookshelfs, cabinets)	1set	Project Office	For daily work	Good	
8	2007	2008/3/10	Office furniture (desks, chairs)	1set	Project Office	For daily work	Good	
9	2008	2008/5/23	Printing machine	1	Project Office	For daily work	Good	
10	2008	2008/7/24	Color printer (for GIS)	1	Project Office	For daily work	Good	
11	2008	2009/2/16	GIS digital map	1set	Project Office	For daily work	Good	
12	2008	2009/3/5	Office furniture (cabinets, drawer)	1set	PPDO	For daily work	Good	
13	2008	2009/3/10	Color printer	1	Project Office	For daily work	Good	
14	2009	2009/7/3	Printing machine	1	BMFI	For daily work	Good	
15	2009	2009/10/22	Shredder for vermiculture	1	Alubijid Municipality	For vermiculture	Good	
16	2009	2010/2/9	Shredder for vermiculture	1	Gingoog City	For vermiculture	Good	
17	2009	2010/2/19	Steel gate	1 set	Laguindingan Municipality	For nursery	Good	
18	2010	2010/7/6	LCD Projector	1	Project Office	For training	Good	

Annex 6: List of Project Local Cost Born by Japanese Side (Jan.2008 - Jul.2010)

Item	No	Article	Remarks	Jan.2008-Mar.2008	Apr.2008-Mar.2009	Apr.2009-Mar.2010	Apr.2010-Jul.2010	Total
①Personnel	①-1	Office secretary	Including basic salary, overtime, weekend allowance, field visit accommodation and allowance, transport, employment insurance	PHP 57,882.41	PHP 952,959.92	PHP 1,409,758.06	PHP 431,670.73	PHP 2,852,271.12
	①-2	Field coordinator①	Including basic salary, overtime, weekend allowance, field visit accommodation and allowance, transport, employment insurance					
	①-3	Field coordinator②	Including basic salary, overtime, weekend allowance, field visit accommodation and allowance, transport, employment insurance					
	①-4	Resource person	For WS. Including basic salary, field visit accommodation and allowance, transport					
	①-5	Research assistant	For WS. Including basic salary, field visit accommodation and allowance, transport					
	①-6	Driver	Monthly overtime, weekend allowance, field visit accommodation and allowance					
②Maintenance	②-1	Maintenance fee for printing machine	Ink cartridge, toner, drum for printer and copy machine	PHP 107,596.09	PHP 526,996.80	PHP 397,432.23	PHP 55,591.11	PHP 1,087,616.23
	②-2	Maintenance fee for Project vehicle	Spare tires, inspection and repair of vehicle, car wash					
	②-3	Maintenance fee for office, electronic appliances	Virus software, repair of office electronic appliances					
③Consumable goods	③-1	Stationary for office, trainings and WS	Stationary and training materials	PHP 185,015.84	PHP 1,237,223.55	PHP 5,764,546.29	PHP 162,469.81	PHP 7,349,255.50
	③-2	Copy paper	10 batches for a month.					
	③-3	Office equipment	Furniture, cleaning materials, tableware, lights, tools, CD, DVD, extension cable, battery, hard disk, etc.					
	③-4	Documents and books	Official documents, maps etc					
	③-5	Scanner	Including cable and accessories					
	③-6	UPS	For office					
	③-7	Mobile phone	Including SIM card, experts and coordinator					
	③-8	Telephone machine with FAX						
	③-9	Reference book for C/P	PC, GIS reference books					
	③-10	Field research equipment	Rubber boots, rain coats, sleeping bags, etc.					
	③-11	Materials for Barangay micro-watershed management activities						
	③-12	Car fuel						
	③-13	Construction materials for nursery establishment		PHP 0.00	PHP 0.00			
	③-14	Construction materials for vermiculture center						
	③-15	Materials and equipment for nursery	Seeds, plastic pot, fertilizer, seedling, net, sprinkler, wood, bamboo, plastic sheet, scissors, saw, pipe, plastic tank, bucket, etc.					
	③-16	Materials and equipment for vermiculture	Vermi, shredder, net, wood, bamboo, plastic sheet, etc.					
	③-17	Materials for improvement of the existing goat paddock (Dinatong)						
	③-18	Materials for expansion of the existing goat house (HMFI)						
	③-19	Goats (bucks)						
	③-20	Goats (does)						
	③-21	Materials and equipment for vegetable production	Seeds, plastic pot, fertilizer, net, sprinkler, wood, bamboo, plastic sheet, saw, etc.					
④Air fair Transport	④-1	Air fare (Manila-Cagayan)	Including fuel surcharge (return ticket) - for experts	PHP 46,575.33	PHP 159,766.04	PHP 217,968.80	PHP 79,763.45	PHP 504,073.62
⑤Communication	⑤-1	Introduction of telephone line	Monthly subscription	PHP 11,890.54	PHP 148,217.10	PHP 134,500.77	PHP 72,985.14	PHP 367,593.55
	⑤-2	Contract fee for internet provider						
	⑤-3	Monthly fee for internet and telephone						
	⑤-4	Mail and baggage charge	Domestic mail charge, excess fee of air flight, etc.					
	⑤-5	Prepaid card for satellite phone	10 months for each year					
⑥Documentation	⑥-1	Preparation of materials for training and meeting	Preparation of training materials, printing and binding of training materials, making poster, making video, printing photos, making CD, illustration, developing banner, etc	PHP 62,921.37	PHP 365,954.11	PHP 468,146.80	PHP 74,211.10	PHP 971,233.38
	⑥-2	Report printing and binding	Progress report, manuals					
	⑥-3	Translation (English - Visaya)	Translation of training materials and manuals					
⑦Rental car	⑦-1	Rental car (including driver)	In Manila and during training period	PHP 219,361.74	PHP 935,566.88	PHP 1,377,318.67	PHP 390,043.73	PHP 2,922,291.02
	⑦-2	Rental bus (including driver)	For field visit in pilot area					
⑧Training fee	⑧-1	Information management training (CP, Project stakeholder)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc	PHP 51,087.50	PHP 393,544.61	PHP 898,018.93	PHP 192,717.29	PHP 0.00
	⑧-2	Information management training (GIS operators)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-3	Local Governance Seminar	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-4	Participatory pilot Barangay Research WS (PRA)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-5	Barangay Development Plan WS	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-6	Micro-watershed management action plan WS	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-7	Training for Barangay (small enterprise activity)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-8	Training for Barangay (NRM)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-9	Information sharing workshop for Barangay stakeholders	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-10	Training for Alubijid staff (BDP formulation)	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-11	CO training for BDP formulation	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc	PHP 0.00	PHP 0.00			
	⑧-12	FGD / WS for tree planting	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					
	⑧-13	Trainings for LGU staff and barangay people	Venue rental, document copy, transport and allowance for participants, etc					

Item	No	Article	Remarks	Jan.2008-Mar.2008	Apr.2008-Mar.2009	Apr.2009-Mar.2010	Apr.2010-Jul.2010	Total
(8) Other equipment	(8)-1	Binding machine	Quotation, invoice, receipt is not necessary	PHP 415,688.03	PHP 64,012.95	PHP 124,296.68	PHP 26,578.56	PHP 630,576.23
	(8)-2	Copy machine						
	(8)-3	Office furniture	File cabinet, table, chair etc					
	(8)-4	Printer	Printer including cable and accessories					
	(8)-5	Stabilizer						
	(8)-6	Satellite Phone						
	(8)-7	GPS	Including accessories such as wrist wrap					
	(8)-8	Digital maps for GIS						
	(8)-9	Color printer	For GIS					
(10) Reporting	(10)-1	Inception report (English)	Preparation of training materials, printing and binding of training materials, making poster, making video, printing photos, making CD, illustration, developing banner, etc	PHP 22,000.00	PHP 0.00	PHP 0.00	PHP 0.00	PHP 22,000.00
	(10)-2	Inception Report (Japanese)						
	(10)-3	Progress report (English)	Progress report, manuals					
	(10)-4	Progress report (Japanese)	Translation of training materials and manuals					
(12) Sub-contract	(12)-1	Construction of rainwater tank		PHP 8,201.92	PHP 0.00	PHP 4,982,097.19	PHP 903,419.47	PHP 5,893,718.57
	(12)-2	Frame making of rainwater tank						
	(12)-3	Improvement of the existing well for goat raising						
	(12)-4	Video making						
(15) Meeting fee	(15)-1	JCC	Venue rental, food and drinks, etc	PHP 29,452.34	PHP 10,819.10	PHP 97,186.70	PHP 18,731.30	PHP 156,189.43
	(15)-2	Project Introductory Meeting	Venue rental, food and drinks, etc					
	(15)-3	Dalungy Introductory Meeting	Venue rental, food and drinks, etc					
	(15)-4	Project progress meeting	Venue rental, food and drinks, etc					
	(15)-5	Project coordination meeting	Venue rental, food and drinks, etc					
			Total	PHP 1,217,673.12	PHP 4,795,061.88	PHP 15,871,371.10	PHP 2,408,181.60	PHP 22,756,818.66

(Exchange rate of JICA)

Average during Jan-Mar 2008	1PHP=2.6423Yen
Average during Apr.2008-Mar.2009	1PHP=2.2183Yen
Average during Apr.2009-Mar.2010	1PHP=1.9330Yen
Average during Apr.2010-July.2010	1PHP=2.0123Yen

Annex 7: List of Counterpart Trainings in Japan

No.	Name	Organization	Training Title	Training Period	Organizer and Implementing Partner
1	Catherine C. Fonollera	Provincial Plannning and Development Office (PPDO)	Forest Management Policy in Asia -Sustainable Forest Management with Collaboration between Local Government and Community-	From Oct. 5 2008 to Oct. 26 2008	JICA Chubu Graduate School of International Development, Nagoya University (GSID)
2	Beny Cumatang	Balay Mindanaw Fundation, Inc. (BMFI)	Participatory Community Development For Practitioners Through JICA-NGO Partnership (A)	From Nov. 3 2008 to Dec. 19 2008	JICA Osaka Asia Volunteer Center (AVC)
3	Conrado T. Sescon	Provincial Environment and Natural Resources Office (ENRO)	Forest Management Policy in Asia -Sustainable Forest Management with Collaboration between Local Government and Community-	From Oct. 12 2009 to Oct. 28 2009	JICA Chubu Graduate School of International Development, Nagoya University (GSID)
4	Marlene V. Fuentes	Environment and Natural Resources Unit of Gingoog City	Forest Management Policy in Asia -Sustainable Forest Management with Collaboration between Local Government and Community-	From Oct. 12 2009 to Oct. 28 2009	JICA Chubu Graduate School of International Development, Nagoya University (GSID)
5	Wilfredo G. Uy	Municipal Cooperative Division Office of Alubijid Municipality	Forest Management Policy in Asia -Sustainable Forest Management with Collaboration between Local Government and Community-	From Oct. 12 2009 to Oct. 28 2009	JICA Chubu Graduate School of International Development, Nagoya University (GSID)
6	Richard Rejas	Balay Mindanaw Fundation, Inc. (BMFI)	Participatory Community Development For Practitioners Through JICA-NGO Partnership (A)	From Nov. 1 2009 to Dec. 19 2009	JICA Osaka Asia Volunteer Center (AVC)

Annex 8: List of Counterpart Personnel (Jan.2008-Jul. 2010)

1. Provincial Planning and Development Office (PPDO)

Name	Title	Assignment Period		Focal Person
		From	To	
Cynthia S. Viajar-Abanil	Project Manager, Officer in charge	Jan. 2008	Present	o
Catherine C. Fonollera	Consultant	Jan. 2008	Present	o
Judith N. Casiño	Project Development officer I	Jan. 2008	Present	
Melitona A. Abrea	Technical Assistant Economic/Environment	Jan. 2008	Present	
Rona D. Solde	Technical Assistant Economic/Environment	Jan. 2008	Aug. 2008	
Jonathan G. Mercado	Technical Assistant Economic/Environment	Jan. 2008	Present	

2. Provincial Environment and Natural Resources Office (ENRO)

Name	Title	Assignment Period		Focal Person
		From	To	
Conrado T. Sescon	Officer in charge	Jan. 2008	Present	o
Dionesia Lagbas	Forest Resources Management	Jan. 2008	Oct. 2008	
Arlene S. Porticos	Community Development Officer I	Jan. 2009	Present	
Arnold D. Cotapte	Agricultural Technician II	Jan. 2008	Present	
Erma R. Mabelin	Community Development Assistant I	Jan. 2008	Present	

3. Balay Mindanaw Foundation, Inc. (BMFI)

Name	Title	Assignment Period		Focal Person
		From	To	
Ariel Hernandez	Executive Director	Jan. 2008	Jul. 2009	
Richard Rejas	Team Leader/Supervisor	Jan. 2008	Present	o
Jayvi Romero	Community Organizer	Jan. 2008	Jun. 2008	
Sabrina Garcia	Community Organizer	Jan. 2008	Jun. 2008	
Cheryl Navegar	Community Organizer	Jan. 2008	Jul. 2009	
Lovella Pagaran	Community Organizer	Jan. 2008	Jun.2008	
Beny Cumatang	Community Organizer	Jan. 2008	Present	
Susano Balais III	Community Organizer	Jun. 2008	Present	
Fleurabelle Torres	Community Organizer	Jun. 2008	Present	o
George Castillon	Community Organizer	Jun. 2008	Present	
Jenette Hayahay	Community Organizer	Jul. 2009	Present	

4. City/Municipal LGU Counterparts

(1) City Government of Gingoog

Environment and Natural Resources Unit	
o	Richard Miraflores
	Marlene Fuentes
	Vesing Nanay

	Levie Gabia
	Avelino Sepnio
City Agricultural Office	
o	Eddie Sanchez
	Merlina Berdilao
	Gemma Reyes
City Veterinary Office	
o	Al Gonzales
	Cris Cruz
City Planning and Development Office	
o	Engr. Manuel Nambatac
	Chito Jao
	Stella King
	Engr. Lemuel Remegoso

(2) Municipal Government of Alubijid

Office of Agricultural Service	
o	Gerardo Uy
	Wilfredo Uy
	Nellie Dapanas
	Lonie Marikit
Municipal Planning and Development Office	
o	Edmundo Pacamalan (Former)
o	Jose Camensi (Present)
	Elna Cabrera
	Dindo Macalaguing (Former)
	Engr. Rey Mantaring
	Gecil Macalaguing

Note: o Head of department/office

Annex 9: List of Project Cost Born by Philippine Side (Jan. 2008 -Jul.2010)

Grand Total PHP 951,857.00

1.Travel Allowance for CPs

Total PHP 238,050.00

1) Provincial Plannning and Development Office (PPDO)

Name	Travel Allowance	No. of days	Total
Cynthia S. Viajar-Abanil	PHP 150.00	42	PHP 6,300.00
Catherine C. Fonollera	None	103	-
Judith N. Casiño	PHP 150.00	78	PHP 11,700.00
Melitona A. Abrea	PHP 150.00	71	PHP 10,650.00
Jonathan G. Mercado	PHP 150.00	5	PHP 750.00

PPDO Total PHP 29,400.00

2) Provincial Environment and Natural Resources Office (ENRO)

Name	Travel Allowance	No. of days	Total
Conrado T. Sescon	PHP 150.00	2	PHP 300.00
Dionesia lagbas	PHP 150.00	20	PHP 3,000.00
Arlene S. Porticos	PHP 150.00	16	PHP 2,400.00
Arnold D. Cotapte	PHP 150.00	51	PHP 7,650.00
Erma R. Mabelin	PHP 150.00	22	PHP 3,300.00

ENRO Total PHP 16,650.00

3) Balay Mindanaw Foundation Inc. (BMFI)

Fuel: PHP8,000 X 24 months= PHP192,000

BMFI Total PHP 192,000.00

2. Other facilities, building and land necessary for the Project

Total PHP 713,807.00

1) Office space for Japanese Expert and CP
Office renovation for Project ELCEMM: PHP199,207

2) Recurrent expenses such as electricity, water, telephone, etc.

a. PPDO
Electricity: PHP6,000 X 31months =PHP186,000
Water: PHP600 X 31months = PHP18,600
Telephone: PHP2,000 X 31months = PHP62,000

PPDO Total PHP 266,600.00

b. BMFI
Electricity: PHP3,000 X 31months =PHP93,000
Water: PHP2,000 X 31 months = PHP62,000
Telephone & Internet: PHP3,000 X 31 months = PHP93,000

BMFI Total PHP 248,000.00

Annex 10: Trainings, Seminars and Workshops Provided by the Project (Jan.2008 - Jul. 2010)

(1) BDP

Name of Training / WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Per day	Total
PRA Tools and Watershed Concept Review	To review PRA tools necessary for BDP formulation from the watershed point of view.	Counterparts, Gingoog City and Alubijid Municipality	PPDO, BMFI, JICA Counterparts	2009/9/7	17	17
BDP Training for Alubijid Community Organizers	To understand the Project concept and to acquire practical skills for BDP workshop.	COs in Alubijid Municipality, barangay COs, counterparts	PPDO, Japanease Experts	2009/9/8	40	40
			PPDO, Japanese Experts	2009/9/9	33	33
Local Governance Seminar (LGS)	To share a common understanding of the Project concept and approach, micro-watershed management, barangay governance and the process of making a barangay development plan in pilot barangays.	Tinulongan	BMFI	2008/2/13	26	52
			BMFI	2008/2/14	26	
		Murallon	BMFI	2008/6/11	41	82
			BMFI	2008/6/12	41	
		Bakid-Bakid	BMFI	2008/7/18	41	82
			BMFI	2008/7/19	41	
		Tula	CO in Alubijid	2008/10/7	37	37
		Sungay	CO in Alubijid	2008/10/8	42	42
		Tugasnon	CO in Alubijid	2008/10/9	39	39
		Talaba	CO in Alubijid & PPDO	2009/9/15	33	33
		Molocboloc	CO in Alubijid & PPDO	2009/9/16	31	31
		Lourdes	CO in Alubijid & PPDO	2009/9/17	33	33
		Benigwayan	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/14	35	35
		Poblacion	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/15	35	35
		Taparak	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/16	38	38
		Lumbo	CO in Alubijid & PPDO	2009/11/11	41	41
		Loguilo	CO in Alubijid & PPDO	2009/11/12	40	40
		Calatcat	CO in Alubijid & PPDO	2009/11/13	38	38
		Lanao	CO in Alubijid & PPDO	2010/1/6	28	28
		Baybay	CO in Alubijid & PPDO	2010/1/7	25	25
		Lagtang	CO in Alubijid & PPDO	2010/1/8	29	29
Participatory Rural Appraisal (PRA)	To understand concept of PRA, necessary attitude during PRA and implementation flow of PRA. To clarify socio-economic conditions and situations of natural resource use in the target barangay through PRA implementation. To identify some problems through analysis of tools established.	Tinulongan	BMFI	2008/2/20	41	119
			BMFI	2008/2/21	44	
			BMFI	2008/2/22	34	
		Murallon	BMFI	2008/6/30	30	78
			BMFI	2008/7/1	23	
			BMFI	2008/7/2	25	
		Bakid-Bakid	BMFI	2008/7/22	26	72
			BMFI	2008/7/23	26	
			BMFI	2008/7/24	20	
		Sungay	CO in Alubijid	2008/10/20	40	82
			CO in Alubijid	2008/10/21	42	
		Tugasnon	CO in Alubijid	2008/10/27	38	78
			CO in Alubijid	2008/10/28	40	
		Tula	CO in Alubijid	2008/11/5	39	70
			CO in Alubijid	2008/11/6	31	
Barangay Development Plan (BDP)	To understand the concept of development plan formulation in a participatory manner To formulate the barangay development plan and the annual investment plan based on the problem analysis and SWOT analysis	Tinulongan	BMFI	2008/2/27	46	137
			BMFI	2008/2/28	47	
			BMFI	2008/2/29	44	
		Murallon	BMFI	2008/7/9	41	82
			BMFI	2008/7/10	41	
		Bakid-Bakid	BMFI	2008/7/29	36	72
			BMFI	2008/7/30	36	
		Kipuntos	BMFI	2008/5/13	N/A	N/A
			BMFI	2008/5/14	N/A	
		Kalagonoy	BMFI	2008/4/24	N/A	N/A
			BMFI	2008/4/25	N/A	
		Tula	CO in Alubijid	2008/11/7	38	38
		Sungay	CO in Alubijid	2008/10/22	37	37
		Tugasnon	CO in Alubijid	2008/10/29	37	37
PRA/BDP Workshop	To understand concept of PRA, necessary attitude during PRA and implementation flow of PRA. To clarify socio-economic conditions and situations of natural resource use in the target barangay through PRA implementation. To identify some problems through	Talaba	CO in Alubijid & PPDO	2009/9/22	40	110
			CO in Alubijid & PPDO	2009/9/23	38	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/9/24	32	
		Molocboloc	CO in Alubijid & PPDO	2009/9/28	36	107
			CO in Alubijid & PPDO	2009/9/29	36	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/9/30	35	
		Lourdes	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/7	24	78
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/8	24	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/9	30	

	analysis of tools established. To understand the concept of development plan formulation in a participatory manner. To formulate the barangay development plan and the annual investment plan based on PRA results.	Poblacion	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/21	31	100
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/22	35	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/23	34	
		Benigwayan	CO in Alubijid & PPDO	2009/10/28	39	112
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/29	37	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/10/30	36	
		Taparak	CO in Alubijid & PPDO	2009/11/4	32	95
			CO in Alubijid & PPDO	2009/11/5	30	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/11/6	33	
		Lumbo	CO in Alubijid & PPDO	2009/11/18	45	130
			CO in Alubijid & PPDO	2009/11/19	36	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/11/20	49	
		Loguilo	CO in Alubijid & PPDO	2009/12/2	33	102
			CO in Alubijid & PPDO	2009/12/3	32	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/12/4	37	
		Calatcat	CO in Alubijid & PPDO	2009/12/9	32	108
			CO in Alubijid & PPDO	2009/12/10	38	
			CO in Alubijid & PPDO	2009/12/11	38	
		Lanao	CO in Alubijid & PPDO	2010/1/13	37	105
			CO in Alubijid & PPDO	2010/1/14	33	
			CO in Alubijid & PPDO	2010/1/15	35	
		Baybay	CO in Alubijid & PPDO	2010/1/20	34	109
			CO in Alubijid & PPDO	2010/1/21	37	
			CO in Alubijid & PPDO	2010/1/22	38	
		Lagtang	CO in Alubijid & PPDO	2010/7/27	25	72
			CO in Alubijid & PPDO	2010/7/28	22	
			CO in Alubijid & PPDO	2010/7/29	25	
BDP Formulation Feedback Seminar for Alubijid TWG and Barangay COs	To get feedback on LGS-PRA-BDP workshops in 11 Barangays from the participants.	Alubijid TWG, Barangay COs	JICA, PPDO	2010/3/8	19	19
BDP/ AIP Review	To review the role of the BDC in the barangay development plans To review the AIP/AOP and formulate new AIP/AOP.	Murallon	BMFI, JICA	2009/9/10	20	20
		Murallon	CPDO, BMFI, ENRU	2010/7/26	15	15
		Tinulongan	CPDO, BMFI, ENRU	2010/7/27	20	20
		Kipuntos	CPDO, BMFI, ENRU	2010/7/28	25	25
		Bakid-Bakid	CPDO, BMFI, ENRU	2010/7/29	25	25
		Kalagonoy	CPDO, BMFI, ENRU	2010/7/30	29	29

(2) NRM based Enterprise

Name of Training /WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants	
					Per day	Total
Proposal Writing Workshop	To help the barangay people to: Formulate Three year Plan Formulate Annual Plan of Operation Estimate costs and benefits of the activity and develop a financial plan	Tinulongan	BMFI	2009/2/19	15	15
		Murallon	BMFI	2008/10/6	12	12
		Bakid-Bakid	BMFI	2008/10/13	14	14
		Kipuntos	BMFI	2008/8/21	14	14
		Kalagonoy	BMFI	2008/8/21	14	14
Natural Resource Management (NRM) Training	To understand the importance of natural resources management, watershed management and NRM-based agriculture in pilot barangays. Besides lectures and discussions, the participants joined the field demonstration of soil erosion, and field visit to various farms including field demonstrations on NVS establishement and nursery propagation techniques they formulated individual farm development plan at the end.	Tinulongan	Landcare	2008/7/16	36	100
			Landcare	2008/7/17	39	
			Landcare	2008/7/18	25	
		Murallon	Landcare	2008/9/15	25	79
			Landcare	2008/9/16	26	
			Landcare	2008/9/17	28	
		Bakid-Bakid	Landcare	2008/10/1	23	85
			Landcare	2008/10/2	35	
			Landcare	2008/10/3	27	
		Kipuntos	Landcare	2008/9/3	41	93
			Landcare	2008/9/4	26	
			Landcare	2008/9/5	26	
		Kalagonoy	Landcare	2008/9/22	29	91
			Landcare	2008/9/23	36	
			Landcare	2008/9/24	26	
		Tula	CO in Alubijid	2009/2/25	31	84
			CO in Alubijid	2009/2/26	29	
			CO in Alubijid	2009/2/27	24	
		Sungay	CO in Alubijid	2009/3/11	28	79
			CO in Alubijid	2009/3/12	25	
			CO in Alubijid	2009/3/13	26	
		Tugasnon	CO in Alubijid	2009/2/18	32	102
			CO in Alubijid	2009/2/19	34	
			CO in Alubijid	2009/2/20	36	

NRM Plan Review Workshop	To present list of NRM-based enterprise options and identify enterprise / livelihoodTo make detail project proposal.	Murallon	BMFI	2009/5/14	9	9
		Bakidbakid	BMFI	2009/5/15	25	25
NRM-based Enterprise Proposal Validation Workshop	To revise the proposal based on review workshop.	Murallon	BMFI	2009/5/27	22	22
		Bakidbakid	BMFI	2009/5/28	29	29
Goat Raising Training	To learn goat raising techniques (Forage and pasture, establishment of goat house, nutrition and feeding), utilization of goat's manure and urine, and goat breeds and breeding.	Tinulongan	BMFI	2008/8/25	26	52
			BMFI	2008/8/26	26	
Fruit Tree & Rubber Tree Production Training	To learn fruit tree production, rubber tree propagation and market trend.	Kalagonoy	BMFI, Landcare	2009/2/3	16	16
Cut flower Pest and Diseases Management	To learn cut flower production techniques, pest and diseases management.	Kalagonoy	JICA	2009/7/29	29	29
Cut Flower Production	To learn cut flower production techniques, post harvest handling and marketing.	Kalagonoy	CAO (Gingoog)	2008/12/10	22	100
		Kipuntos	CAO (Gingoog)	2009/2/17	28	
		Sungay	JICA, MCDO	2009/9/3	28	
		Tula	JICA, MCDO	2009/9/10	22	
Cut flower Field Trip to Manolo Fortich Bukidnon	To observe cut flower production techniques, post harvest handling and marketing in the field.	Tugasnon & Sungay	JICA	2009/9/14	33	33
		Kalagonoy	JICA	2009/10/9	40	40
		Tula	JICA	2009/10/12	21	21
		Kipuntos	JICA	2009/10/16	55	55
Nature Farming Technology System (NFTS)	To learn the importance of NFTS and its technology.	Tula	LPFI, JICA,	2009/10/16	17	17
		Sungay	LPFI, JICA,	2009/10/19	27	27
Vegetable Production	To preserve the land and make the land fertile. To identify the culture and management of vegetables in general. To gain new knowledge and improve techniques on vegetable production. To understand the culture and management of bitter gourd, okra, eggplant, squash, and string beans. To identify the different pest and the methods to control them. To learn how to make organic insecticide and fungicide.	Sungay	ATI	2009/6/23	27	67
		Tugasnon	ATI	2009/7/29	22	
		Tula	ATI	2009/6/24	18	
Vegetable Production and Natural Farming Technology System (NFTS)	To learn vegetable production techniques, and NFTS to produce organic fertilizers and pesticides.	Bakid-Bakid	CAO (Gingoog)	2009/6/4	31	31
NRM Enterprise Field Coaching	To learn vermiculture and cut flower production and to formulate draft monitoring table.	Project Counterparts	JICA	2009/8/5	21	42
		Project Counterparts	JICA	2009/8/6	21	
Vegetable Production Refresher Course and Basic Rubber Technology	To update their knowledge on vegetable production techniques, and to learn rubber production techniques.	Bakid-Bakid	CAO (Gingoog), LPFI, ENRU, JICA	2009/9/23	38	38
Banana and Vegetable Production	To learn banana and Vegetable planting, pest and diseases management and fertilization.	Murallon	BMFI, ENRU, JICA	2009/9/9	22	22
Basic Coffee Technology	To learn coffee production techniques.	Bakid-Bakid	ENRU, JICA, Landcare	2009/9/24	26	26
Rubber and Coffee Exposure Trip	To observe and learn coffee and rubber production techniques.	Bakid-Bakid	ENRU, JICA, Landcare	2009/10/2	24	24
Banana Production and Technology/ Pest, Disease Management	To learn banana production techniques, and its pest and disease management.	Sungay	MCDO, JICA	2010/2/1	30	30
		Tula	MCDO, JICA	2010/2/8	21	21

(3) Natural Resources Management Activities

Name of training/WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Perday	Total
Micro-watershed Management Action Plan (MMAP) Training	To help the barangay people to: Develop an envisioned land-use map (localized). Select NRM and enterprise plans, and persons in charge; Develop a draft Plan of Operation Estimate costs and benefits of the activity and develop a financial plan:	Tinulongan	BMFI	2008/6/18	42	76
			BMFI	2008/6/19	34	
		Murallon	BMFI	2008/9/30	27	54
			BMFI	2008/10/1	27	
		Bakid-Bakid	BMFI	2008/10/6	37	74
			BMFI	2008/10/7	37	
		Kipuntos	BMFI	2008/8/13	27	49
			BMFI	2008/8/14	22	

	Understand methods of proposal writing.	Kalagonoy	BMFI	2008/8/13	23	43
			BMFI	2008/8/14	20	
		Tula	CO in Alubijid	2009/3/2	44	78
			CO in Alubijid	2009/3/3	34	
		Sungay	CO in Alubijid	2009/3/15	32	61
			CO in Alubijid	2009/3/16	29	
		Tugasnon	CO in Alubijid	2009/2/23	56	97
			CO in Alubijid	2009/2/24	41	
NRM Implementation Planning	To visit sites and discuss or share information pertaining to microwatershed management practices and initiatives, issues and concerns, and recommendations. To formulate NRM Plan.	Tinulongan	BMFI	2009/6/11	18	18
Nursery Establishment and Maintenance Training	To learn the treatment of seeds, soil preparationm nursery establishment and maintenance	Kipuntos	BMFI, Landcare	2009/2/4	34	34
Vermiculture and Vermi Tea Production Training	To learn vermiculture technique (preparation of vermi bed and maintenance) and vermi tea processing	Murallon	CAO (Gingoog)	2009/3/9	27	27
		Kalagonoy	CAO (Gingoog)	2009/1/9	20	20
		Kipuntos	CAO (Gingoog)	2009/1/8	39	39
Vermicomposting	To learn vermiculture and application of the products.	Sungay	ATI	2009/9/2	31	31
		Tugasnon	ATI	2009/9/4	26	26
		Tula	ATI	2009/9/11	18	18
Micro-watershed Management Action Plan (MMAP) Training	To formulate a basic methodology of reviewing MMAP (Micro-watershed Walk).	Gingoog	JICA, PPDO, BMFI, ENRU-Gingoog,	2009/10/14	27	54
				2009/10/15	27	
Microwatershed Management Training and Turn-over of Nursery Materials	To understand the importance of the micro-watershed management, to conduct turn-over event of nursery materials and to plant trees in their micro-watershed.	Kipuntos	ENRO, ENRU, BMFI, JICA	2009/10/21	37	37
Micro-Watershed Training Follow-up	To share the idea of the methodology of reviewing MMAP.	Gingoog	PPDO, ENRU, JICA, CITY VET	2009/11/6	20	20
Micro-watershed Walk and MMAP Review	To conduct Micro-watershed Walk in each barangay in Gingoog.	Bakid-Bakid	JICA	2009/10/15	28	28
		Kalagonoy	PPDO, BMFI, JICA Counterparts	2009/11/18	27	27
		Kipuntos	PPDO, BMFI, JICA Counterparts	2009/11/19	27	27
		Murallon	PPDO, BMFI, JICA Counterparts	2009/11/20	22	22
Tree Growing and Micro-watershed Management	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Sungay	ENRO, JICA	2009/10/23	208	208
Barangay Tula Tree Growing/Planting	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Tula	ENRO, JICA	2009/11/11	167	167
Barangay Tula Elementary School Tree Growing/Planting	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Tula Elementary Students	MCDO, PPDO, JICA	2009/11/13	56	56
Barangay Tugasnon Elementary Tree Growing/Planting	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Tugasnon	ENRO,JICA, PPDO, MCDO	2009/11/24	144	144
Barangay Tugasnon Tree Growing/Planting	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Tugasnon	ENRO,JICA, PPDO, MCDO	2009/11/27	126	126
Community Tree Growing/Planting	To conduct tree growing activity in barangay especially along river and streams.	Murallon	JICA,, ENRU	2009/12/22	27	27
Nursery Training (Sexual Propagation and Nursery Establishment)	To learn nursery techniques.	Murallon	CAO, JICA	2009/11/24	22	22
		Sungay	Landcare, MCDO, JICA	2009/12/1	40	40
		Tula	Landcare, MCDO, JICA	2009/12/1	11	11
		Tugasnon	Landcare, MCDO, JICA	2009/12/1	33	33
Riverbank Walk Planning Workshop for Alubijid River	1) Project ELCEMM Counterparts are able to come up with sustainable strategies and plans in the implementation of the Rehabilitation and Protection of the Alubijid River Project (REPRAP). 2) Project ELCEMM Counterparts appreciate the importance of social preparation as key to sustainable implementation of REPRAP.	Project Counterparts	PPDO, BMFI, JICA Counterparts	2010/5/27	21	21
IEC on Watershed Management	To learn the importance of watershed management. Vermi Culture was introduced by the Project in Laguindingan,	Laguindingan	PPDO, JICA, ENRO, MAO	2010/6/11	90	90

	and the actual activities by the leading farmers were shown. All participants were encouraged to implement these activities.					
FTT Refresher Course on Soil and Water Conservation Training	To learn the importance of watershed managemen and the project ELCEMM approach, and to practice the lecture of the training	Alubijid	JICA, ENRO, MCDO	2010/6/8	22	22
Soil and Water Conservation Training	To learn the importance of Soil and Erosion Control and their techniques, and conduct hands-on training.	Sungay	Landcare, JICA, MACD	2010/2/9	32	32
		Tula	Landcare, JICA, MACD	2010/2/18	17	17
		Tugasnon	Landcare, JICA, MACD	2010/2/26	34	34
		Tula	Landcare, JICA, FTT	2010/7/5	27	108
				2010/7/6	26	
				2010/7/7	23	
				2010/7/8	32	
		Sungay	Landcare, JICA, FTT	2010/7/12	25	77
				2010/7/13	27	
				2010/7/14	25	
		Gingoog	ENRU, JICA,	2010/7/16	25	25
		Tugasnon	Landcare, JICA, FTT	2010/7/19	32	100
				2010/7/20	21	
				2010/7/21	25	
				2010/7/22	22	
		Benigwayan	Landcare, JICA, FTT	2010/7/26	24	73
				2010/7/27	24	
				2010/7/28	25	

(4) PO Strengthening

Name of Training / WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Per day	Total
PO Assessment (9S) and Strategic Planning	To assess the organizational status and formulate Three Year development plan.	Tugasnon	BMFI	2009/6/1	48	48
		Sungay	BMFI	2009/6/2	36	36
		Tula	BMFI	2009/6/3	24	24
		Kipuntos	BMFI	2009/6/13	28	28
NRM-based Enterprise Training (Validation of PO's Constitution and By-Laws & Hog Raising)	To validate the PO's constitution and by-laws and hog-rasing component of the project.	Murallon	JICA, BMFI, CVO	2009/6/11	20	20
NRM Internal Policy Formulation	To formulate PO's policy such as membership and repayment scheme on their proposal.	Tinulongan	JICA	2009/6/17	19	19
Formulation of Constitution and by-laws for PO	To review vision, mission and goal of PO. To formulate constitution and by-law of PO.	Murallon	BMFI	2009/5/30	28	33
		Kipuntos	BMFI, JICA	2010/2/9	40	40
PO Policy Formulation	To formulate PO's policy such as membership and repayment scheme on their proposal.	Tugasnon	JICA, MCDO	2009/6/5	41	41
		Sungay	JICA, MCDO	2009/6/10	33	33
		Tula Lourdes Taparak Sungay Loguilo Baybay, Sampatulog Benigwayan Poblacion	JICA PPDO ENRO	2010/3/10	28	28
PO's Policy Review	To review and revise PO's policy such as membership and repayment scheme based on the present conditions.	Sungay	JICA, MCDO	2010/2/15	36	36
		Tugasnon	JICA, MCDO	2010/2/23	49	49
Basic Organization Training/Seminar	To identify the most effective leadership style to be observed in managing an organization.	Kipuntos	JICA	2009/12/14	35	35
Social Enterprise Training and Consultation	To generate ideas on potential community sustainable enterprise.	Murallon	BMFI, ENRU, JICA	2009/12/15	20	20
Leadership Training	To understand and apply the basic ingredients of a good leader. To grasp and learn the different strategies in decision making process.	Kalagonoy	BMFI, PPDO, JICA,	2010/2/23	42	42
		Tinulongan	BMFI, PPDO, JICA,	2010/2/26	29	29
		Bakid-Bakid	BMFI, PPDO, JICA,	2010/3/1	30	30
Financial System Training	To be able to orient on Roles & Functions of Bookkeeper, Treasurer & Auditor. To be able for to familiarize Financial terminologies and make a list of financial checklist. To be able for the participants to formulate re-entry plans.	Tinulongan Bakid-Bakid Kalagunoy Murallon	ENRU, JICA, BMFI	2010/3/3	28	53
				2010/3/4	25	

Financial System Training (Follow-up)	To get deep underding on financial management in PO.To address the actual problems on accounting through individual consultation and hands-on-training.	Gingoog	BMFI, JICA	2010/7/1	27	27

(5) Monitoring

Name of Training / WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Per Day	Total
Project Monitoring Team Seminar	To make monitoring team from each PO in Alubijid understand monitoring their project and to formulate basic monitoring table.	Taparak	MCDO, PPDO, JICA	2010/1/11	19	19
Project Monitoring Committee Briefing	To make monitoring team from each PO in Gingoog understand monitoring their project and to formulate basic monitoring table.	Gingoog	JICA, BMFI, CITY VET	2010/1/14	35	35
Project ELCEMM Livelihood Monitoring	To update the current status of the project and to prepare proposal for the second release of the materials.	Sungay	MCDO, JICA	2010/1/27	26	26
		Tugasnon	MCDO, JICA	2010/1/28	26	26
		Tula	MCDO, JICA	2010/1/29	26	26

(6) Capacity Development of CPs

Name of Training / WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Per day	Total
Computer Training	To understand the computer application software: MS Word, Ms Excel and MS Power Point, and to use them as their basic skill.	Gingoog LGU	STI, JICA	2009/12/2	19	56
		Gingoog LGU	STI, JICA	2009/12/3	19	
		Gingoog LGU	STI, JICA	2009/12/4	18	
		Counterparts and Alubijid Municipality	STI, JICA	2010/2/10	14	56
		Counterparts and Alubijid Municipality	STI, JICA	2010/2/11	14	
		Counterparts and Alubijid Municipality	STI, JICA	2010/2/12	14	
GIS Operator Training	To understand the GIS software provided by JICA and to operate it.	Counterparts	Xavier University, JICA	2010/2/17	7	28
		Counterparts	Xavier University, JICA	2010/2/18	7	
		Counterparts	Xavier University, JICA	2010/2/19	7	
Project Cycle Management Training	To understand the methods of problem analysis and objective analysis.	Counterparts	PPDO, JICA	2009/11/16	44	44
Introduction to Videography & Photography	To learn basic function of digital camera and video camera. To learn basic shooting techniques through practice.	Counterparts	JICA, Wolfram VirtualWorks Videography	2010/3/9	20	20

(7) Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project

Name of Training / WS	Objectives and Contents	Target People / Barangay	Facilitator	Date	No. of Participants Per day	Total
Facilitation skill for FGD	To prepare the contents of FGD. To acquire skills for FGD.	Counterparts	JICA, PPDO	2010/2/5	17	17
Focus Group Discussion (FGD)	To inculcate among landowners and tenants, and other stakeholders (i.e. sand and gravel extractors and local officials) the importance of rehabilitating the Alubijid River and of riverbank management.To mobilize landowners and gain commitment of the barangay local government unit to undertake riverbank rehabilitation and management in their immediate area of concern.	Taparak	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/15	32	32
		Tula	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/16	21	21
		Lourdes	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/17	63	63
		Benigwayan	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/18	14	14
		Poblacion	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/23	8	8
		Lanao	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/24	32	32
		Tula	PPDO, ENRO, MCDO, JICA	2010/2/25	58	58
		Sampatulog	PPDO, JICA	2010/2/26	15	15
Rehabilitation and Protection of Alubijid River Project (REPRAP) Pre-implementation Workshop	To discuss tree planting mobilization plan and tree growing monitoring plan.	Tula	ENRO, PPDO	2010/6/22	23	23
		Sungay	ENRO, PPDO	2010/6/23	25	25
		Taparak	ENRO, PPDO	2010/6/24	26	26
		Lourdes	ENRO, PPDO	2010/6/25	41	41
		Benigwayan	ENRO, PPDO	2010/6/28	25	25
		Loguilo	ENRO, PPDO	2010/7/2	29	29
		Poblacion	ENRO, PPDO	2010/7/6	52	52
		Lanao	ENRO, PPDO	2010/7/7	20	20

CO: Community Organizer
CAO: City Agricultural Office
Landcare: Landcare Foundation (NGO)

Annex 11: NRM Activities and NRM-based Enterprises in Pilot Barangays

(1) Gingoog City

Barangay	NRM Activities	NRM-Based Enterprises
Tinulongan	• The Project conducted the NRM training for inhabitants, and some of them planted fodder plants along contour lines in their lands.	• Inhabitants have been implementing poultry business and depositing part of the profits for micro-watershed activities for other beneficiaries. • Each beneficiary planted fruit trees and takes care of them. • Using the exchange gains from the strong yen, inhabitants plan to grow corns in their farms. They will implement soil erosion control measures in their farms.
Murallon	• Tree plantings were conducted twice. Inhabitants planted bamboo seedlings and tree seedlings along rivers (streams) and around their water sources. • They plan to invite inhabitants of the downstream barangay to plant trees in Murallon.	• Some of the beneficiaries planted banana, sweet potatoes, and ginger in their farmland with soil erosion control measures. • In their agro-forestry areas, they planted fruit trees along contour lines to promote soil erosion control. • Hog raising: Inhabitants used the manure to produce organic fertilizer through vermi-culture. Some beneficiaries directly applied the manure to their farmlands.
Bakid-Bakid	• No NRM activities such as tree planting by inhabitants have been implemented.	• Inhabitants planted rubber and coffee tress along contour lines in their farmland. • They grew vegetables between above-mentioned rubber or coffee trees, or with simple soil erosion control measures. • Hog raising: Inhabitants used the manure to produce organic fertilizer through vermi-culture.
Kipuntos	• Tree plantings were conducted twice. Inhabitants planted bamboo seedlings along rivers (streams) and around their water sources, and fruit and useful trees in their farmlands.	• Cut-flower enterprises have been implemented. However, many of the beneficiaries have not applied soil conservation methods yet. • Vermi composts were produced as organic fertilizer for flowers and other agricultural products.
Kalagonoy	• No NRM activities such as tree planting by the barangay inhabitants have been implemented. • The Project conducted the NRM training for them. Some of them have applied contour farming in their farmlands.	• Cut-flower enterprises have been implemented. However, some of the beneficiaries have not applied soil conservation methods yet. • Some beneficiaries planted fruit trees along the borders of their farmlands as windbreaker.

(2) Alubijid Municipality

Barangay	NRM Activities	NRM-Based Enterprises
Tula Sungay Tugasnon	• The barangays, the municipality, ENRO and the Project worked together to protect river banks by planting bamboo seedlings along the river and streams. Taking the opportunity, the barangay inhabitants planted fruit trees in their lands. • The Project and the municipality worked with elementary school teachers and PTAs to encourage pupils to plant tree seedlings in their sites. • Paritipation in REPRAP	• Beneficiaries are mainly producing vegetable, corn, banana, ginger, and peanut. • Beneficiaries are also planting and growing coconut and fruit trees. • Beneficiaries are required to establish contour line with natural vegetative strips or barriers their farmland. • Beneficiaries are obligated to plant 100 tree seedlings (in case of Sungay, 50 seedlings)

Note: REPRAP is a project targeting all barangays along the Alubijid River to promote tree planting along the river to protect river banks. It also aims to promote soil and water conservation in the Alubijid watershed.

Annex 12: Micro-watershed Management Activities in the Other Selected Barangays, Cities and Municipalities

Items	Place	Activities
1. Small-watershed enhancement activities		
BDP formulation	Alubijid Municipality	Alubijid Municipality formulated BDPs in the remaining 11 barangays in the municipality. The plan was to formulate BDPs in 12 barangays, but one of the barangay captains did not agree to hold the training.
Training for BDP formulation facilitator	Alubijid Municipality	Community Organizers who help the barangays formulate the BDPs in Alubijid was trained and they helped staff members of Alubijid Municipality during the BDP Formulation Training Sessions.
Consensus making workshop for riverine protection	Alubijid Municipality	Workshops to formulate a consensus on riverine protection activities with stakeholders including concerned residents were conducted in 11 barangays.
IEC material production		IEC materials such as poster and video to promote NRM activities and NRM-based enterprises were produced. The poster was used during handover ceremonies of the rain water tanks in three LGUs.
Nursery construction	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	Nurseries to produce seedlings of trees to protect river banks and prevent accelerated soil erosion in hilly areas were constructed.
Vermiculture center	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	Vermiculture centers to promote the production of bio-fertilizer were constructed. The plan was to provide vermi-worms from the center for barangay inhabitants to produce vermi compost, but it has not been realized yet due to delay in construction.
Necessary equipment and materials for nurseries and vermiculture center	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	Necessary equipment and materials for nurseries and a vermiculture center such as plastic bags for seedlings, tree seeds, and water supply materials were provided.
Vegetable production promotion	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	Vegetable production as livelihood by utilizing vermi compost produced by the above-mentioned vermiculture scheme has not been started yet. An integrated farming system including contour farming has been promoted.
2. Establishment of Goat Bank		
Improvement of the existing paddock	Gingoog City	The existing paddock was improved for controlled grazing for goats by fencing it to make the fodder grass grow adequately for consumption by goats.
Improvement of the existing well for goat raising	Gingoog City	The deep well is under construction to provide the goats with high-quality (clean) water.
Expansion of existing goat house and paddock	BMFI	The existing goat house and paddock was expanded to increase production capacity.
Introduction of high-quality goat bucks and does	Alubijid Municipality, Gingoog City, BMFI	High-quality goat bucks and does were introduced to produce a large number of high-quality goats.
3. Rain water tank construction		
Rain water tank construction and sensitization of micro- and small-watershed management	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	63 rain water tanks were constructed in public buildings such as elementary schools and daycare centers to fully utilize rain water for daily use and backyard gardening. IEC to promote the importance of watershed management in barangays in downstream areas is conducted at handover ceremonies.
4. Training sessions for LGU staff members and barangay inhabitants		
Training sessions for LGU staff members and barangay inhabitants	Alubijid and Laguindingan Municipalities, Gingoog City	Community organizers who help the barangays formulate the BDPs in Alubijid were trained. The Project met the barangay representatives in each LGU to explain outlines of the activities.

Annex 13: Reports and Outputs prepared by the Project

1. Project Reports

JFY	Name of Reports
First Year	Inception Report
	First Progress Report
Second Year	Second Progress Report
	Third Progress Report
Third Year	Fourth Progress Report
	Fifth Progress Report
Fourth Year	Project Completion Report (to be prepared)

2. Outputs on Technical Cooperation

i. Barangay Development Plan in the eight pilot barangays
ii. Barangay Development Plan in eleven other barangays in Alubijid
iii. Facilitators' manual for Participatory Barangay Development Plan Formulation
iv. Trainers' manual: Soil and Water Conservation Training
v. Trainers' manual: Vermi Composting Training
vi. Trainers' manual: Tree Growing Training
vii. Micro-watershed Management Activities: The case studies and implementation reports

3. Other Outputs

i. Report on the survey of technical aspects and market of micro-watershed management activities
ii. Micro-watershed Management Action Plan in the eight pilot barangays
iii. Monitoring reports (first, second, and end line) for the Project ELCEMM
iv. Documentation reports on trainings (Natural Resource Management, Micro-watershed Management Action Plan, proposal making of NRM based enterprise, cut flower propagation and production, anthurium production, vermi composting, fruits and rubber tree propagation and management, tree growing)
v. Power-point materials for training courses
vi. Tarpaulin for Barangay Development Plan formulation workshops
vii. Tarpaulin for Soil and Water Conservation training
viii. Video on Watershed Management
ix. Poster on Micro-watershed Management, watershed management (up stream and down stream collaboration), and tree growing (to be prepared)
x. Project leaflet, and small watershed management leaflet

1. 実績の検証（ACHIEVEMENT）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ		情報源	調査手法
投入の実施状況	日本側投入は計画通り実施されたか。	専門家(村落開発/地方行政、自然資源管理/情報管理、生計向上/小規模事業)派遣実績、機材供与実績		事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	フィリピン側投入は計画通り実施されたか。	カウンターパート(C/P)配置(PPDO、ENRO、BMFI)実績、執務スペース、施設・機材		事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
アウトプットの達成状況	アウトプット(仮訳)	PDM上の指標(仮訳)	指標の入手手段	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	アウトプット1：住民参加により、持続的な小流域管理活動を組み込んだバランガイ開発計画が策定される。	1.1 小流域管理計画を組み込んだ8つのバランガイ開発計画が住民参加型で策定される。	バランガイ開発計画		
		1.2 8つの小流域管理アクション・プランが住民参加型で策定される。		事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	アウトプット2：バランガイ住民が持続的な小流域管理活動のための知識と技術を習得する。	2.1 パイロットバランガイにおける小流域管理研修の参加者のうち80%以上が、終了時のテストに合格する。	プロジェクト報告書 終了時テスト結果	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	アウトプット3：州・町・NGO職員の小流域管理に関する専門的な知識や参加型計画に関する技術が向上する。	3.1 自己評価の結果、80%以上のC/Pの小流域管理に関する能力がベースライン時と比較して向上する。	キャパシティアセスメント報告書	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
		3.2 自治体職員・NGO向けの小流域管理研修で、終了時テストの合格率が80%以上となる。	終了時テスト結果	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	アウトプット4：プロジェクトの経験がパイロットバランガイ間や周辺の同じ小規模流域内のバランガイで共有され、同様に対象市町の経験がミサミス・オリエンタル州の他の市町に共有される。	4.1 対象市町において、バランガイ間の小規模流域活動計画が作成される。	プロジェクト報告書	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
		4.2 小流域管理や住民参加型バランガイ開発の計画策定のマニュアルをミサミス・オリエンタル州のすべての市町に配布する。	プロジェクト報告書	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	アウトプット5：流域管理に関連する活動がミサミス・オリエンタル州内の選択された市町に導入される。	5.1 新たに選択された市町及びバランガイの80%以上が流域管理に関連する活動を適用し、維持する。	プロジェクト報告書	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
プロジェクト目標の達成状況	プロジェクト目標(仮訳)	PDM上の指標(仮訳)	指標の入手手段	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、質問票聞き取り
	地方自治体、NGO、住民の連携により、パイロットバランガイにおける小流域管理が向上する。	小流域管理アクション・プランが支援機関(LGU、NGO)との連携により、6つ以上のパイロットバランガイにおいて実行される。	プロジェクト報告書		
上位目標の達成状況	上位目標(仮訳)	PDM上の指標(仮訳)	指標の入手手段	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	地方自治体、NGO、住民の連携により、ミサミス・オリエンタル州の小流域・小規模流域管理が改善する。	小流域・小規模流域管理の活動がバランガイで継続され、小規模流域レベルにおいては地方自治体・NGOの支援が維持される。	バランガイ及び自治体開発計画、年間投資計画、年間報告書		

2.実施プロセス（IMPLEMENTATION PROCESS）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
活動実施状況	活動は計画通り実施されているか。	活動の実施状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家	資料レビュー 質問票、聞き取り
	1-1 プロジェクト環境を整え、住民を組織化する。			
	1-2 住民参加によるベースライン調査を実施し、小流域の現状における問題点・原因を把握する。			
	1-3 住民参加によりバランガイ開発計画を策定する。			
	1-4 住民参加により小流域管理アクション・プランを策定する。			
	2-1 研修ニーズアセスメントを行い、住民向け研修・ワークショップの計画を作成する。			
	2-2 保全型農業やアグロフォレストリー、グループ／個人事業(代替生計手段)に関する住民向け研修をニーズに基づいて実施する。			
	2-3 保全型農業やアグロフォレストリー、グループ／個人事業(代替生計手段)に関する住民のアクション・プランを実施する。			
	2-4 パイロットバランガイ間で活動経験共有のためのワークショップを開催する。			
	3-1 小流域管理に関する基礎知識や方法を支援機関が共通理解するための研修やワークショップを開催する。			
	3-2 支援機関職員向けの参加型計画、保全型農業、小流域管理に関する研修を実施する。			
	4-1 バランガイ間の小規模流域活動計画のワークショップが実施される。			
	4-2 小規模流域管理や住民参加型バランガイ開発計画策定についてのマニュアルを作成する。			
	4-3 プロジェクトの経験を他の地方自治体と共有するためのワークショップ・セミナーを開催し、参加者にマニュアルを紹介する。			
	5-1 ミサミス・オリエンタル州内の州政府、地方自治体、NGO、住民の支援の下、選択された地方自治体において流域管理に関連する活動を実施する。			

技術移転	技術移転の方法に問題はないか。	各分野における技術移転の方法やその内容	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、質問票、聞き取り
マネジメント・実施体制	プロジェクトのマネジメント、実施体制は適切に機能しているか。	マネジメント及び実施体制と課題（あれば）	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り
モニタリング	プロジェクトの進捗モニタリングは誰が、どのように、どのような頻度で実施、その結果がプロジェクト運営に反映されているか。	モニタリングの仕組み、計画の修正内容、手法（戦略）の見直し、フィードバックの体制	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体, 対象バランガイ	資料レビュー、質問票、聞き取り
意思決定プロセス	活動の変更、人員・地域の選定等にかかる決定はどのようなプロセスでなされているのか。	意思決定のプロセス、それに起因する問題点	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り
関係者との関わり方（コミュニケーション）	JICA事務所とプロジェクトのコミュニケーション（協議、連絡の頻度、内容、フィードバックの方法）は効果的に行われているか。	コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、フィードバックの体制、協力内容	JICA事務所、専門家	質問票、聞き取り
	プロジェクト内のコミュニケーションの仕組み —日本人専門家間 —日本人専門家とフィリピン側C/P —フィリピン側C/P間	コミュニケーションの頻度、方法、計画変更時の対応状況、 共同作業時間、頻度 共同で取り組む課題の解決方法	C/P、専門家、JICA事務所	質問票、聞き取り
	コミュニケーションの問題	語学、習慣等に関する問題はないか。その対策はとっているか。	C/P、専門家、JICA事務所	質問票、聞き取り
	その他の関係機関とのコミュニケーションは効果的に行われているか（対象地域の自治体、コミュニティ、バランガイ評議会、NGOなど）。	コミュニケーションの頻度、方法、協力内容	C/P、専門家、対象の自治体、対象バランガイ	質問票、聞き取り
プロジェクトに対する意識（オーナーシップ）	実施機関やC/Pのプロジェクトに対する認識は高いか。	プロジェクトに対する期待、プロジェクトへの貢献度合い	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家	資料レビュー、聞き取り
	関係機関やターゲットグループのプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか。	プロジェクトの効果に対する認識	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、質問票、聞き取り
C/Pの適切性、参加状況	適切なC/Pが配置されているか。C/Pがプロジェクト活動にどのように関わっているか。	C/Pの配置状況、C/Pのプロジェクト活動参加状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家	資料レビュー、聞き取り
中間レビューの提言に対するフォローアップ状況	中間レビュー後、下記の提言に配慮した活動が行われてきたか。	提言のフォローアップのために実施した活動の内容。それらの活動の結果。残された課題。	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家	資料レビュー、聞き取り
	1. プロジェクトのステークホルダーの間で共通の理解を形成するために、「小流域管理」の概念を再確認すると同時に、ポスター、紹介DVDなどの研修やアドボカシーのためのツールを作成し、概念を広く普及させる。			
	2. パイロットバランガイ内において、弱い立場の住民も含めより多くの住民にプロジェクト活動が普及させるためのメカニズムを検討する必要がある。			
	3. 成果2の指標について、成果を十分に達成するために、アセスメントの結果が期待よりも低かった原因を十分に分析し、必要な対処を行う。			
	4. プロジェクトはプロジェクト期間の後半に、C/Pに対し各役割や責任を実行するために必要な技術の研修を行う。			
	5. 州政府はENROのC/Pに対して必要な予算の配置を保障し、ENROはC/Pがプロジェクト活動に十分に従事するために必要な時間を確保することが望まれる。			
	6. プロジェクト・マネジメント会合（MANCOM）は定期的に実施し、メンバーの間でより多くの情報を共有することが望まれる。			
	7. プロジェクトの自立発展性を確保するために、州政府の主導によりミサミス・オリエンタル州の流域管理に関する方向性が関係者間で明確にされる必要がある。同時に、持続可能な小規模流域管理のためには、州政府から市・町へ、そしてバランガイへの支援体制を構築することが望まれる。			
	8 上述の支援体制が機能するためには、流域管理のために必要な運営・実施予算を配分することが望まれる。			
	9. 本中間レビューの提言について検討し、必要に応じて現行のPDM、特に指標について見直すことを提言する。			
その他	その他、プロジェクトの実施過程で生じている問題はあるか。その原因は何か。	これまで提示された問題点と原因	事業進捗報告書、C/P、専門家、JICA事務所、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り

3.妥当性 （RELEVANCE）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
必要性	フィリピン国対象地域・社会のニーズに合致しているか。ターゲットグループのニーズに合致しているか。	ミサミス・オリエンタル州における課題、地方自治体の行政やバランガイのエンパワーメントにおける状況	州政府、C/P、専門家	資料レビュー、質問票、聞き取り
優先度	フィリピンやミサミス・オリエンタル州の開発計画との整合性はあるか。	フィリピンやミサミス・オリエンタル州の開発政策、計画	州政府、専門家、C/P、国家中期開発計画（2004-2010）、第10地域中期開発計画（2004-2010）、州開発計画	資料レビュー、聞き取り
	日本の援助政策・JICA国別事業実施計画との整合性はあるか。	日本の援助政策	対フィリピン国別援助計画 JICA国別事業実施計画 JICA事務所	資料レビュー、聞き取り
手段としての適切性	プロジェクトはミサミス・オリエンタル州の流域管理において地方自治体やコミュニティの強化に効果的に貢献する手段として適切か（アプローチ、対象地域の選定、他ドナーとの援助協調による相乗効果等）。	現地の既存の知識・日本のノウハウの活用状況、協力のデザインやメカニズムの適切性（地域の現状にあっているか）、協力手段の柔軟性	事前調査報告書、事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家	資料レビュー、質問票、聞き取り
その他	他ドナーや他のJICA事業との連携・デマケは明確に示されているか。	他ドナー事業の状況、関連JICA事業の状況	事前評価報告書、事業進捗報告書 C/P、専門家	資料レビュー、聞き取り
	中間評価以降、プロジェクトを取り巻く環境（政治、経済、社会）の変化はないか。	政策、経済、社会などの変化を示す情報	事業進捗報告書、業務実施報告書、C/P、専門家、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り

4.有効性 （EFFECTIVENESS）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
プロジェクト目標の達成予測	現状の達成状況をかんがみて、プロジェクト目標の達成の見込みはあるか。	プロジェク目標の達成度合い及び、達成見込み	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り、質問票
	プロジェクト目標の達成を阻害・貢献する要因はあるか。	阻害・貢献要因の事例	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り、質問票
因果関係	プロジェクト目標達成に向けて十分なアウトプットを産出しているか。	プロジェクト目標とアウトプットの関連	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	5つのアウトプットは、プロジェクト目標を達成するために十分であるか。	プロジェクト目標とアウトプットの関連	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件「地方政府における小流域管理に関する開発計画、年間投資計画が他の分野に転用されない」は現時点で満たされているか。現時点でも外部条件として正しいか。	外部条件の影響	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り

5.効率性（EFFICIENCY）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
アウトプットの達成度	アウトプットの達成度は適切か。	各アウトプットの達成状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー 質問票、聞き取り
	アウトプット達成を阻害・貢献している要因はあるか。	アウトプットの達成状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー 質問票、聞き取り
因果関係	アウトプットを産出するために十分な活動であったか。	活動実績、アウトプットの達成状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	活動からアウトプットに至るまでの外部条件「研修に参加したLGUとBMFIの職員が同じ部署で勤務し続ける」は現時点で満たされているか。現時点でも外部条件として正しいか。	アウトプットの達成状況、活動実績、投入実績	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り
投入の質・量・タイミング	計画に沿って活動を行うために、過不足ない量・質の投入がタイミングよく実施されたか。	投入実績 プロジェクトの実施状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー 質問票、聞き取り
	投入に関する問題（機材の調達の遅れ等）が生じた際に、どのように対処しているか。	問題発生時の対応、解決策	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り

6.インパクト （IMPACT）

調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
上位目標の達成予測	上位目標は、プロジェクトの効果として発現が見込まれるか。事後評価時点での検証が可能か。	実績の検証結果	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー 質問票、聞き取り
	上位目標の達成を阻害する要因はあるか。	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー 質問票、聞き取り
因果関係	上位目標とプロジェクト目標は乖離していないか。	プロジェクトのロジック、外部条件の影響、貢献・阻害要因	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
	プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件「小流域管理に関する政策・制度等が劇的に変化しない」は、満たされる可能性は高いか。現時点でも外部条件として正しいか。	現状の政策・制度の整備状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
社会経済状況への波及効果	政策レベル（制度、法律、基準等）の整備への影響	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り、質問票
	経済面への影響	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り、質問票
	ジェンダー・人権、貧富（社会的弱者層）など社会・文化的側面への影響	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り、質問票
	環境保護への影響	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り、質問票
	流域管理・コミュニティエンパワーメント・バランガイガバナンスの分野における技術面、政策・制度面での変革（革新）への影響	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り、質問票
	本プロジェクト実施によるマイナスの影響はあるか。それを軽減する対策はとられているか。	該当する事例の確認	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り、質問票

7.自立発展性（SUSTAINABILITY）

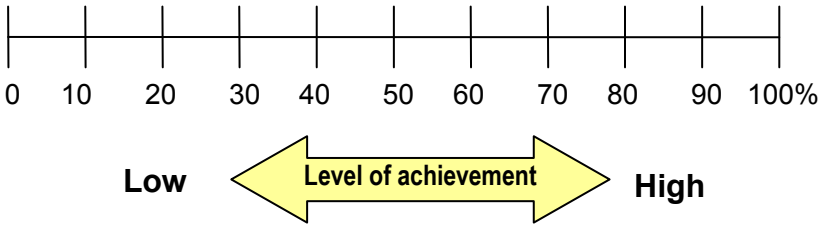
調査小項目	調査の視点/調査事項	必要なデータ	情報源	調査手法
政策・制度面	流域管理・自治体のガバナンス支援・コミュニティエンパワーメンターにおけるフィリピン政府・州政府の政策支援は協力終了後も継続するか。	フィリピン政府・州政府の政策	州政府、専門家、C/P、JICA事務所	資料レビュー、聞き取り
	流域管理の関連規制、法制度は整備されつつあるか。	関連法案、規制の整備状況	州政府、対象の自治体、専門家、C/P、JICA事務所	資料レビュー 質問票、聞き取り
	本プロジェクトの効果が対象地域以外に普及する取り組みが確保されているか。	州政府・地方自治体の方針、実施機関の今後の方針	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、州政府、対象の自治体	資料レビュー 質問票、聞き取り
組織・財政面	協力終了後も効果をあげていく活動を実施するにために、州政府や対象自治体の組織能力は十分か（人材配置、意思決定プロセス等）。	実施機関の今後の方針 （他業務の中でプロジェクト関連業務の位置づけ、予算割り当て等）	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー、聞き取り
	対象の8バランガイの活動維持のためのオーナーシップは十分に確保されているか。	各バランガイにおける今後の方針 （他活動の中でプロジェクト関連活動の位置づけ、予算割り当て等）	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り
	フィリピン側の活動に必要な予算は十分に確保されているか。また今後、プロジェクト活動の継続・実施のための予算が増える可能性はどの程度あるか。	予算割り当て、関連活動の普及に関する方針	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体	資料レビュー 質問票、聞き取り
技術面	プロジェクトで移転された技術は受け入れられつつあるか（技術レベル、社会・慣習面での適切性）。	C/Pの能力、技術力 これまでの活動状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象自治体、対象バランガイ	資料レビュー 質問票、聞き取り
	資機材の維持管理は適切におこなわれているか（C/Pが単独で維持管理できるか）。	C/Pの能力、技術力 これまでの活動状況、機材整備状況	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P	資料レビュー、聞き取り
社会・文化・環境面	社会的弱者層（貧困、女性等）への配慮不足により、本プロジェクト実施による効果を妨げる可能性はないか。 または、本プロジェクト実施による相乗効果の可能性は。	阻害要因の事例 促進要因の事例	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー 質問票、聞き取り
	環境への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか。	阻害要因の事例	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー 質問票、聞き取り
その他	プロジェクトの効果の継続発展を阻害するその他の要因はあるか。	阻害要因の事例	事業進捗報告書、業務実施報告書、専門家、C/P、対象の自治体、対象バランガイ	資料レビュー、聞き取り

【カウンターパート対象質問票】

Name:
Position:
Organization: (please click the appropriate check box below.) ☐ ENRO, Provincial Government of Misamis Oriental ☐ PPDO, Provincial Government of Misamis Oriental ☐ Balay Mindanaw Foundation. Inc. ☐ Other (please specify:)
Period of working for your organization: _____years_

LEVEL OF ACHIEVEMENT OF THE PROJECT

To what extent do you assess the project has achieved the following outputs? Please select the appropriate number (in %) below. 100% means the output of the Project has been achieved completely.



1. **To what degree, do you assess, the participatory barangay development plans incorporating sustainable micro-watershed management practices have been formulated in the target barangays so far?**
   **** Select the number from drop-down form below.***

   Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements up to the moment?

-- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implementation?

2. **To what degree, do you assess, the barangay beneficiaries have obtained knowledge and skills on sustainable micro-watershed management practices in the target barangays so far?**

   Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements up to the moment?

-- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implantation?

3. **To what degree, do you assess, the technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills of provincial and municipal LGUs and NGO staff have been enhanced so far?**

   Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements so far?

--- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implantation?

4. To what degree, do you assess, the experiences of the project have been shared among the pilot barangays as well as with adjoining barangays in the same small watershed, and likewise the pilot city and municipality's experiences are shared with other City and Municipal Governments in Misamis Oriental so far?

Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements so far?

--- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implantation?

5. To what degree, do you assess, the watershed management related activities are introduced in selected LGUs in Misamis Oriental so far?

Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements so far?

--- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implantation?

IMPLEMENTATION PROCESS

6. Are there any activities of the Project which are not carried out as planned? Please specify the activities which are not as planned and the reasons why the activities were not carried out as planned.

7. How do you assess the methods of technical transfer for counterparts and beneficiaries?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

8. What do you think about the monitoring process of the Project's progress?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

9. What do you think about the communication with Japanese experts?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

10. How is the communication and/or coordination between each actor of the Project such as ENRO, PPDO, BMFI, municipals and barangay councils?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

11. How do you assess the participation of the LGUs in the project activities?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

12. How do you assess the participation of people at barangay level in the project activities?

- ☐ 4. Very good
- ☐ 3. Good
- ☐ 2. Not so good
- ☐ 1. Need improvement
- ☐ 0. Do not know

--If your answer is "2," or "1," please specify the reasons.

13. If there are any other issues in the implementation process of the Project activities, please describe.

RELEVANCE

14. Do you think the Project is consistent to the needs of target groups of the Project?

☐ Yes ☐ No ☐ Do not know

--Please describe the reason of your answer above.

15. Do you think the approach of the Project is appropriate to contribute to the above mentioned needs of target groups?

☐ Yes ☐ No ☐ Do not know

-- Please describe the reason of your answer above.

EFFECTIVENESS

16. To what degree, do you assess, the management of micro-watersheds has been improved in the pilot barangays by collaboration with LGUs, NGOs and communities so far?

Answer: 0%

-- In your opinion, what are the main achievements so far?

-- In your opinion, what areas have to be strengthened by the end of project implementation?

17. In your opinion, are there any factors which interfere with the enhancement of these management capacities in the pilot barangays? If there are any, please describe them.

18. In your opinion, are there any factors which contribute to the enhancement of these management capacities in the pilot barangays? If there are any, please describe them.

EFFICIENCY

19. Are there any inputs (human resource, budget, equipment, etc.) which were not delivered timely?

☐ Yes ☐ No ☐ Do not know

-- If "YES," please specify the inputs and describe the problem encountered.

20. How was the quality and/or quantity of the inputs of the Project?

☐ 4. Sufficient
☐ 3. Satisfactory to some extent
☐ 2. Not so sufficient
☐ 1. Not sufficient at all
☐ 0. Do not know

--If there was any insufficiency, please specify the inputs and describe the problem encountered.

IMPACT

21. After the project is completed, it is expected that "Management of Micro-watersheds is improved in Misamis Oriental in collaboration with LGUs, NGOs and communities". Do you think are there any factors which interfere with the improvement of management of Micro-watershed in the other areas of Misamis Oriental? If there are any, please describe them.

22. Have you noticed any positive and/or negative impacts of the Project apart from the expected outputs of the Project (in terms of policy and institutional aspects, social and cultural aspects, environmental aspects, etc…)? If there are any, please describe them.

SUSTAINABILITY

23. Is there any lack of laws and/or regulations related to the micro-watersheds management to practice adequately the related activities and conserve the watershed?

☐ Yes ☐ No ☐ Do not know

-- Please describe the reasons of your answer above.

24. To what extent, do you think, the activities related to the Project will be prioritized and continued by your organization, even after the completion of the Project in December 2010?

☐ 4. Will be continued with highly priority
☐ 3. Will be continued with some priority
☐ 2. Will be continued but priority will be not as high as the other activities of your organization.
☐ 1. Will not be continued.
☐ 0. Do not know

25. Do you think the skills and methods provided by the Project (such as technical knowledge of micro-watershed management and participatory planning skills, etc.) are accepted by the LGUs and barangays?

☐ 4. They are accepted very well.
☐ 3. Accepted to some extent.
☐ 2. Some of them are accepted.
☐ 1. Not accepted at all
☐ 0. Do not know

26. Do you find any difficulties for you or your organization to maintain the skills and knowledge gained though the Project after the completion of the Project? If there is any, please describe it.

OTHER ISSUES, SUGGESTIONS AND COMMENTS

27. Please feel free to give other suggestions and comments on the Project that have not been addressed yet.

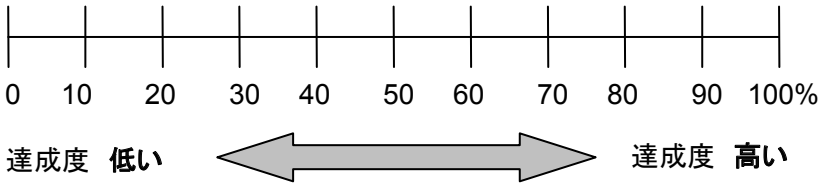
Thank you very much for your cooperation.

【専門家対象質問票】

お名前:	
担当分野:	

プロジェクトの進捗・達成度について

現時点でプロジェクトの達成度をお聞きするのは時期尚早かと思いますが、進捗を把握するためにお答えください。以下の各項目について、現時点での達成度は何パーセント程度でしょうか。100%は完全に達成された状態とします。



1. アウトプット 1 の達成度について、現時点で、住民参加による小流域管理計画を盛り込んだバランガイ開発計画の策定はどの程度達成しましたか。

＊ *回答欄はドロップボックスになっていますので、該当するものを選択してください。*

回答: 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答:

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答:

2. アウトプット 2 の達成度について、現在までに、バランガイ住民が持続的な小流域管理の知識と技術の習得はどの程度達成しましたか。

回答: 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答:

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答:

3. アウトプット 3 の達成度について、現在までに、州、町、NGO のスタッフの小流域管理の専門的な知識や住民参加型計画作成の技術がどの程度向上しましたか。

回答: 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答:

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答:

4. アウトプット 4 の達成度について

(ア) 現在までに、プロジェクトの経験のパイロットバランガイ間での共有について、どの程度達成しましたか。

回答： 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答：

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答：

(イ) 現在までに、プロジェクトの経験の同じ小規模流域内のバランガイでの共有について、どの程度達成しましたか。

回答： 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答：

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答：

(ウ) 現在までに、対象市町の経験のミサミス・オリエンタル州の他の自治体との共有について、どの程度達成しましたか。

回答： 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答：

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答：

5. アウトプット 5 の達成度について、現在までに、流域管理に関連する活動をミサミス・オリエンタル州内の選択された市町に導入する成果はどの程度達成しましたか。

回答： 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答：

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答：

実施プロセス

6. 担当されている活動は計画どおりに進んでいますか。進捗が遅れている活動があれば教えてください。またどの程度遅れているのか、なぜ遅れが生じたのか、プロジェクトの全体計画にどの程度影響を及ぼしたのかも教えてください。

回答：

7. プロジェクトの管理・実施体制について、当てはまるものを選んでください。
＊ *該当するチェックボックスをクリックしてください。*

- ☐ 4. とてもうまくいっている
- ☐ 3. ある程度うまくいっている
- ☐ 2. あまりうまくいっていない
- ☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

8. プロジェクトの進捗・達成状況のモニタリング・プロセスについて当てはまるものを選んでください。

- ☐ 4. とてもうまくいっている
- ☐ 3. ある程度うまくいっている
- ☐ 2. あまりうまくいっていない
- ☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

9. 日本側関係者(JICA 事務所・専門家間、専門家同士)のコミュニケーションについて、当てはまるものを選んでください。

- ☐ 4. 非常によい
- ☐ 3. まあよい
- ☐ 2. あまりよくない
- ☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

10. カウンターパートとのコミュニケーションについて当てはまるものを選んでください。

- ☐ 4. 非常によい
- ☐ 3. まあよい
- ☐ 2. あまりよくない
- ☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

11. 対象の市・町・バランガイとのコミュニケーションについて当てはまるものを選んでください。

- ☐ 4. 非常によい
- ☐ 3. まあよい
- ☐ 2. あまりよくない
- ☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

12. フィリピン側関係者(カウンターパート、対象の自治体・バランガイ)のコミュニケーションについて、当てはまるものを選んでください。

- ☐ 4. 非常によい
- ☐ 3. まあよい

☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

--その理由を教えてください。

回答:

13. 実施機関及びカウンターパートのプロジェクトに対するオーナーシップ、参加度、貢献度について当てはまるものを選んでください。

(ア) PPDO について
☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

(イ) ENRO について
☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

(ウ) BMFI について
☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

14. 実施している技術移転の方法について、当てはまるものを選んでください。

(ア) カウンターパートに対する技術移転
☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

(イ) LGUsの職員に対する技術移転
☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

(ウ) パイロットバランガイに対する技術移転

☐ 4. 非常によい
☐ 3. まあよい
☐ 2. あまりよくない
☐ 1 わからない

—その理由を教えてください。

回答:

15. その他、プロジェクトの実施プロセスにおいて何らかの課題があればご記述してください。

回答:

妥当性

16. 本プロジェクトは現在の対象地域の住民のニーズとどのような点で一致していますか。

回答:

17. 本プロジェクトは現在の国・州政府などの政策にどのような点で一致していますか。

回答:

18. 本プロジェクトのアプローチについて、上記のニーズや政策に応えるために特に適切であった点があれば記述してください。

回答:

19. 本プロジェクトのアプローチについて、上記のニーズや政策に応えるためにあまり適切でなかった点がありますか。あれば記述してください。

回答:

有効性

20. プロジェクト目標の達成度について、現時点で、地方自治体や NGO と住民によるパイロット地域における小流域管理はどの程度強化されましたか。

回答: 0%

-- これまでの主な成果は何ですか。

回答:

-- 今後プロジェクトの終了までに強化すべきことは何ですか。

回答:

21. プロジェクト目標の達成に貢献している要因は何ですか。

回答:

22. プロジェクト目標の達成を阻害するような要因がありますか。

回答:

23. 現在までに、州・市・町の小流域管理に関する開発計画や年間投資計画が他の分野に転用されるなど、何らかの変更がありましたか。

回答:

効率性

24. これまで投入に関して計画と異なることがありましたか。

回答:

25. これまで、プロジェクトのそれぞれの投入の量、質はどうでしたか。

- ☐ 4. 十分だった
- ☐ 3. あまり十分ではなかった
- ☐ 2. とても不足していた
- ☐ 1. わからない

--「あまり十分ではない」「とても不足していた」の場合、何の投入がなぜ十分でなかったのか記述して下さい。

回答:

26. 投入に何らかの問題があった場合、どのように対処しましたか。

回答:

27. プロジェクトの研修を受けた州政府、地方自治体およびバライミンダナオ財団の職員は継続して同じ事務所や部署で働いていますか。離職など何らかの問題がありますか。

回答:

インパクト

28. プロジェクト終了後、「地方自治体と住民によるミサミス・オリエンタル州の小流域管理が向上する」ことが期待されています。この上位目標の達成を阻害する何らかの要因がありますか。また、プロジェクトが終了するまでに、取るべき対策はありますか。

回答:

29. 現在までにプロジェクトによる何らかの正・負の波及効果が見られますか(政策・制度面、社会文化面、ジェンダー、環境、その他)。あれば記述してください。

回答:

自立発展性

30. プロジェクト終了後も、州政府、市・町の流域管理およびバランガイの貧困削減の活動が維持され、プロジェクト活動の継続を担保するための政策・制度はどの程度整備されていますか。

- ☐ 4. 十分整備されている
- ☐ 3. 現時点では十分ではないが、今後整備される予定である
- ☐ 2. あまり整備されていない
- ☐ 1. わからない

-- 十分整備されていない場合、今後整備が必要な政策や制度を具体的に記述してください。

回答:

31. プロジェクト終了後、州政府が地方自治体と住民の小流域管理を推進するための予算措置は検討されていますか。

☐ 4. 十分検討されている
☐ 3. 現時点では十分ではないが、今後検討される予定である
☐ 2. あまり検討されていない
☐ 1. わからない

-- 十分検討されていない場合、予算面で問題となりうる課題を記述してください。

回答:

32. プロジェクトにより移転された技術は、以下の関係者にどの程度受け入れられていますか。

(ア) カウンターパート

☐ 4. 十分に受け入れられ、活用されている
☐ 3. 受け入れられているが、まだ十分には活用されていない
☐ 2. あまり受け入れられていない
☐ 1. わからない

(イ) 対象市町の職員

☐ 4. 十分に受け入れられ、活用されている
☐ 3. 受け入れられているが、まだ十分には活用されていない
☐ 2. あまり受け入れられていない
☐ 1. わからない

(ウ) バランガイの受益者

☐ 4. 十分に受け入れられ、活用されている
☐ 3. 受け入れられているが、まだ十分には活用されていない
☐ 2. あまり受け入れられていない
☐ 1. わからない

33. 本プロジェクトの自立発展性を阻害するその他の要因があれば、記述してください。

回答:

その他の問題、提言、コメントなど

34. プロジェクトに関して、これまで触れていないことでコメント等があればお書きください。

回答:

以上です。ご協力ありがとうございました。

***

ジャイカ
JICA